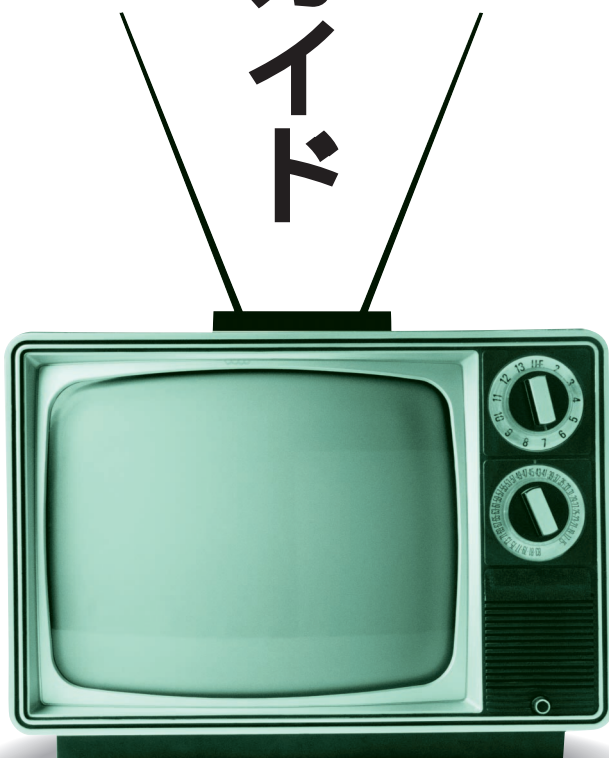




NEC

TVモデル専用の
機能を使うときの必読書！

TV モデル ガイド



パソコンでテレビを楽しもう

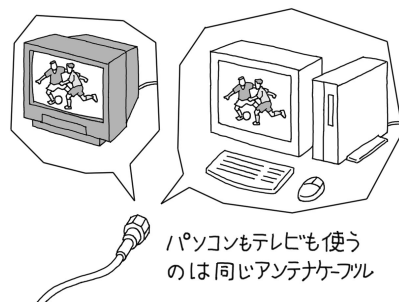
簡単にテレビを見ることから、
パソコンならではの便利な機能、録画や再生、映像編集まで。
パソコンでテレビの楽しみ方がわかります！

パソコンがテレビになる！

●使うケーブルは、テレビと同じ

「パソコンでテレビを見る」と言っても、基本はふつうのテレビと同じ。使うケーブルも、テレビと同じアンテナケーブルです。パソコンにアンテナケーブルを接続して、ソフトの設定をすればパソコンならではの方法でテレビを楽しめます。

アンテナ端子がひとつしかない部屋で、パソコンとテレビ（またはTVチューナ内蔵液晶ディスプレイ）の両方にアンテナを接続したいときは、PART1の「こんなときは」(p.7)をご覧ください。

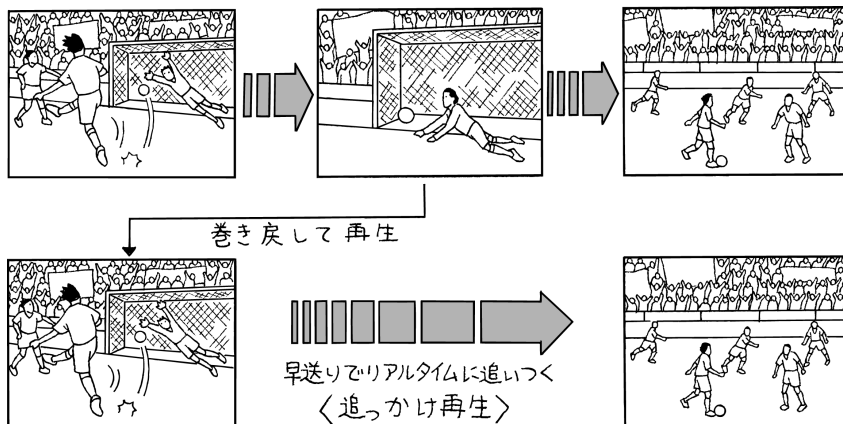


パソコンならではの！便利な機能

●タイムシフトモードとライブモード

テレビを見ているときに、決定的な瞬間を見逃してしまった！そんな経験は、誰でもあるもの。もし番組をビデオに録っていれば、後で見ることができるけれど、そうでなければあきらめるしかありませんでした。

でも、パソコンでテレビを見ていれば、テレビを見ながらビデオのように巻き戻しや一時停止をすることができます。



生放送のサッカー観戦。決定的瞬間のゴールシーン。もう一度見たいと思ったら、すかさず巻き戻して見てしまいましょう。見た後は、再生スピードを少し速めればリアルタイムに追いつけます。

この機能を、「タイムシフト」、タイムシフトが使えるモードを「タイムシフトモード」と言います。

タイムシフトを使えば、決定的な瞬間を見逃してももう大丈夫。

一方、タイムシフトを使わずにテレビを見るモードを「ライブモード」と言います。

ライブモードでは、巻き戻しや一時停止は使えませんが、パソコンの負担が軽くなります。また、ライブモードでは字幕放送を楽しめます。

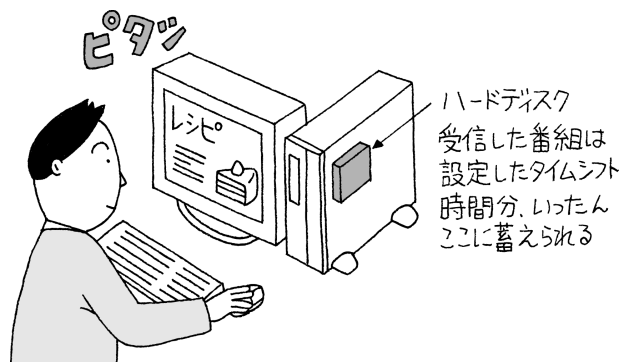
二つのモードの特長を活かして使い分けることで、テレビをもっと楽しめます。

●タイムシフトモードの特長

タイムシフトモードで番組を受信すると、番組データは、いったんパソコンのハードディスクに保存されます。それをパソコンの画面に表示しているのので、「一時停止」「再生」「巻き戻し」「早送り」ができるというわけです。

そうして、見ている番組を後戻りして「録画」することもできます。

また、書き込みと再生が同時にできるハードディスクの特長をいかして、録画しながら、すでに録画したシーンを再生したり、巻き戻したり、早送りできます。早送りしてリアルタイムに追いつくこともできます。



●一時停止(→ p.37)

ふつうのテレビでは、そのとき放送されている番組を受信して見るだけですが、パソコンのテレビでは、一時停止可能。もちろん、停止している間に放送されているシーンもハードディスクにちゃんと書き込まれているから、そのつづきからすべて見られます。

●巻き戻し(→ p.37、p.47)

録画していなくても、見ていたシーンをもう一度見たい、というときは巻き戻せます。巻き戻している間に放送されていたシーンも含めて、そのまま続きを見たり、巻き戻したところからの録画も可能です。

●早送り / 追っかけ再生

見ている番組を巻き戻して、そのシーンを見た後は、早送りしてリアルタイムの放送に追いつくことも可能です。たとえば、ニュース番組などを録画中に、放送の途中で番組の残り分を録画し続けながら、番組の冒頭に巻き戻し、早送り再生で必要なシーンだけを見て、リアルタイムに追いつくという見方もできます。これからのテレビの使い方に加えてみてはいかがでしょうか。

いろんな機能で録画も簡単、便利に！

● 番組表で簡単予約



ソフトの設定が終わってれば、録画予約も簡単。このパソコンでは、テレビ放送からテレビの番組表を受信して、表示できます。また、番組表で録画したい番組をダブルクリックすれば、その番組を予約する画面が表示されるので、録画予約も簡単。

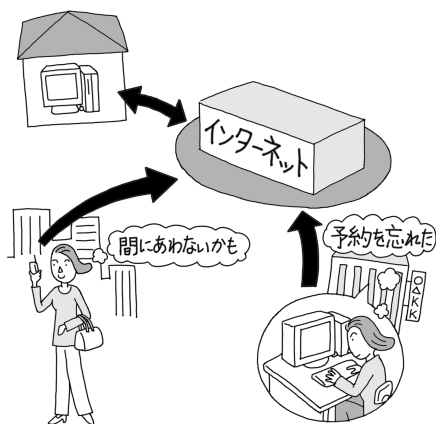
他にも、見たいジャンルの番組を探したり、好きなタレントの出ている番組を探して録画予約できます。録画予約について詳しくは、「PART4 録画予約をする」をご覧ください。

外出先から録画予約

外出先で、ビデオの予約を忘れたことに気がついた。急な用事で家に帰るのが遅れて、見たい番組が見られなかった。そんな経験はありませんか？

このパソコンと、他のサービスを組み合わせれば、外出先のパソコンや携帯電話から家のパソコンの録画予約ができます。

詳しくは、PART4の「外出先から録画予約する」をご覧ください。



録った番組を編集、保存



VideoStudio



DVDIt!



DVD MovieWriter



DVD-MovieAlbum

普通のビデオに録画した番組を、自分好みに編集するのは大変。でも、このパソコンで録画したテレビ番組は、このパソコンに入っているソフトで、長さをかえたり、いろいろな効果をつけたり、自由に編集ができます。

編集した番組は、「DVD MovieWriter」や「DVDIt!」(VALUESTAR Tシリーズのみ)で、CD-RやDVD-Rに保存することもできます。

自分だけのビデオライブラリを作ってみましょう。

✓チェック!!

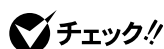
あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

このマニュアルの表記について

本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なる場合があります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】

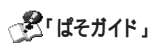
【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

CD/DVDドライブ

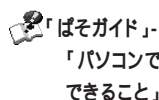
CD-R/RWモデルでは、CD-R/RWDドライブのことを指します。
CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。
DVD-R/RWモデルでは、DVD-R/RWDドライブのことを指します。
DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RWDドライブのことを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。



電子マニュアル「ばそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ばそガイド」はデスクトップのをダブルクリックして起動します。「ばそガイド」の操作方法是、『はじめにお読みください』をご覧ください。



「ばそガイド」を起動して、アプリケーションの操作方法などを参照することを示します。アプリケーションの名称がわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています
表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	表の各モデル（機種）を指します。
TVモデル	テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載したモデルのことです。
Officeモデル	Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
ワイヤレスLANモデル	ワイヤレスLAN機能が内蔵されているモデルです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ヘッドフォンマイク 添付モデル	ヘッドフォンマイクがセットになっているモデルのことです。
USBカメラ 添付モデル	USBカメラがセットになっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW モデル	DVD-RAM/R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-R/RWモデル	DVD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分				
		CD/DVDドライブ	ディスプレイ	キーボード・マウス	ヘッドフォンマイク・USBカメラ	シリーズ
VT950/3D	PC-VT9503D	DVD-RAM/R/RWモデル	液晶ディスプレイセットモデル（TVチューナ内蔵17.5型ワイド液晶）	ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウス	ヘッドフォンマイク添付モデル・USBカメラ添付モデル	VALUESTER Tシリーズ
VT930/3D	PC-VT9303D					
VT900/3D	PC-VT9003D		液晶ディスプレイセットモデル（17.5型ワイド液晶）			
VT550/3D	PC-VT5503D	DVD-R/RW モデル	液晶ディスプレイセットモデル（15型アナログ液晶）	PS/2キーボード・PS/2マウス	ヘッドフォンマイク添付モデル	VALUESTER Lシリーズ
VL550/3D	PC-VL5503D	CD-R/RW with DVD-ROMモデル			ヘッドフォンマイク添付モデル・USBカメラ添付モデル	
VL500/3D	PC-VL5003D				ヘッドフォンマイク添付モデル	

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 または Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 5 SE Basic
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC
DVD-MovieAlbum	DVD-MovieAlbumSE Ver2.7
DVDIt!	DVDIt!® LE 2.5
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
bitcast browser	bitcast browser 3.0

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® XP Home Edition および本機に添付の CD-ROM は、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、Office ロゴおよび Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

bitcast および ビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。

ADAMS (TV-Asahi Data And Multimedia Service) は、テレビ朝日データ株式会社によるデータ多重放送サービスです。

ADAMS-EPG は、テレビ朝日系列 24 局のデータ放送によるテレビ番組の情報配信サービスです。

Ulead、VideoStudio、DVD MovieWriter は、Ulead Systems, Inc. の登録商標または商標です。

DVDIt!、Sonic、Sonic Solutions は、Sonic Solutions 社の商標または登録商標です。

Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Celeron は、Intel Corporation の商標です。

i-mode/ アイモードは、(株)NTT ドコモの登録商標です。

VERITAS RecordNow DX は、米国 VERITAS Software Corp. の米国における登録商標です。

DVD- MovieAlbum は、松下電器産業株式会社の商標です。

SmartGallery、SmartVision、BIGLOBE は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社、NEC カスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

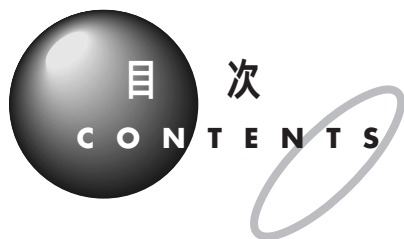
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC^{*1} does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.



PART

1

PART

2

パソコンでテレビを楽しもう (巻頭)

このマニュアルの表記について iv

接続しよう 1

接続の流れ 2

リモコンの準備をする 3

リモコンに乾電池を入れる 4

リモコン用受信ユニットを接続する (PS/2 キーボードの場合のみ) 4

アンテナ線を準備する 7

用意するもの 7

アンテナ線の種類を確認する 9

ケーブルに F 型コネクタプラグを取り付ける 11

アンテナ線を本体につなぐ 12

テレビを見よう 13

チャンネルと番組表の設定をする 14

SmartVision/EPG で設定する 14

チャンネル設定ユーティリティで設定する 21

設定する 21

正しくチャンネルの設定ができたか確認する 24

テレビ番組を見る 25

SmartVision/TV でテレビを見る 25

SmartVision/TV を終了する 26

基本的な操作 27

画面の説明 27

コントロールバーを使って操作する 28

キーボードを使って操作する 29

リモコンを使って操作する 30

音量を調節する 31

画面の大きさを変える 34

PART

3

シンプルな画面でテレビを見る	35
便利な機能を使う	36
タイムシフトモードとライブモードを切り替える	36
見ている番組を一時停止する	37
見ている番組を巻き戻して見る	37
音声を切り替える	38
字幕放送を見る	39
字幕放送を見る	39
字幕表示の設定をする	41
録画と再生をしよう	43
テレビ番組を録画する	44
録画について	44
見ている番組を録画する	46
巻き戻して録画する	47
録画しながら再生する	48
一時停止の代わりに録画する	48
ブックマーク(頭出しの印)を使う	49
録画を中断する	50
録画予約する	50
録画したテレビ番組を再生する	51
タイトルを一覧から選んで再生する	51
サムネイルから見たいシーンを再生する	54
特殊再生モードを使う	58
録画データを保存する	60
他のメディアに保存する	61
SmartVision/TV の設定について	65
SmartGallery で簡易再生する	66
録画した番組を別の部屋のパソコンで見る	67

PART

4

録画予約をする 69

録画予約のための設定をする 70

Windows のパスワードの設定をする 70

番組表を使う 73

番組表を見る 73

番組表を自動受信できるようにする 74

番組お知らせ機能を使う 75

SmartVision/EPG ご利用時の注意 76

SmartVision/EPG の番組表を終了する 76

録画予約についての設定をする 77

パソコンの時計を合わせる 78

予約する 80

SmartVision/EPG を起動する 80

番組表を使って予約する 81

番組表を使わないで予約する 84

番組を検索して予約する 85

予約の確認や変更をする 89

予約時の注意事項 91

実行中の予約録画を中断する 92

実行中の予約録画の終了時間を変更する 93

予約した録画が成功したか確認する 94

SmartVision/EPG を終了する 95

SmartVision/TV の EPG モードで録画予約する 96

外出先から録画予約する 97

SmartVision TV 録画予約サービス 98

PART

5

映像を編集しよう 101

動画編集の流れ 102

SmartVision/TV で録画したデータを編集する 102

デジタルビデオカメラの映像を編集する 103

録画したデータを編集する準備 104

ビデオクリップをエクスポートする	108
DVD 形式のビデオデータ作成機能	109
DVDIt!でタイトルやメニューをつけて仕上げる (VALUESTAR T シリーズのみ)	110
DVD タイトルを保存する	112
DVD タイトルを再生する	113
ハードディスクに保存した DVD タイトルを再生する	113
CD-R に保存した DVD タイトルを再生する	115
ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する	116
用意するもの	116
接続する	116
ビデオの映像を SmartVision/TV で録画する	119
ビデオデッキで SmartVision/TV の映像を録画する (VALUESTAR T シリーズのみ)	120
TV モデル Q & A	121
テレビがうまく見られないときには	122
テレビが映らない	122
音が出ない、音が大きすぎる	123
テレビを見ていると、テレビ以外の音がする	124
テレビの画面が白っぽい	125
輝度やカラー強度、コントラストが調整できない	125
SmartVision/TV、bitcast browser (VALUESTAR T シリーズのみ) などが起動できない	125
テレビを表示中やデータ放送の受信中に省電力状態に しようとしたら画面が表示されなくなった	125
Windows ムービーメーカーでチャンネルの変更ができない	125
リモコンを使っていたら	126
リモコンを使って電源を入れられない、または 省電力状態から復帰できない	126
リモコンを操作しても、反応しない、動きが悪い	126
リモコンに飲み物をこぼしてしまった	128
視聴予約や録画予約ができないときには	129



録画予約した番組が録画されていない	129
SmartVision/TV のバインダーモードで録画した番組が見あたらない	130
動画や静止画をうまく取り込めないときには	131
キャプチャできない	131
動画キャプチャでテレビや VTR の音声キャプチャされない、 SmartVision/TV で音が出ない	132
取り込んだ動画の画質が悪い	133
ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない	134
SmartGallery がうまく動かないときには	135
SmartGallery で動画の簡易再生ができない	135
保存したマルチメディアデータが SmartGallery の一覧に 見あたらない、SmartVision/TV で録画したはずのデータが SmartGallery の一覧に見あたらない	135
番組表などの受信がうまくいかないときには	136
受信できない、または、データの取りこぼし起きる	136
番組表が受信できない	138
番組表が 2 日分しか表示されない	138
テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない	138
受信したビットキャスト放送 (Web ページ) が自動的に 表示されない (VALUESTAR T シリーズのみ)	138
「 bitcast browser 」に表示されているリンクから、 インターネット上の Web ページにアクセスできない (VALUESTAR T シリーズのみ)	139
「 ADAMS 」の内容が更新されない	139
付 録	141
地上波データ放送	142
リモコンの各部の名称	144
録画データを LAN 接続した他のパソコンから見る (VALUESTAR T シリーズのみ)	148
索 引	153

P A R T

1

接続しよう

リモコンの準備とアンテナの接続をしましょう。
ご家庭のアンテナ線の形状に合わせて取り付け
方が異なります。このPARTをご覧になりなが
ら、パソコンでテレビを見る準備をしてくださ
い。

接続の流れ

テレビを見るために、パソコン本体とアンテナの接続など、次の手順で行います。接続をはじめる前によく確認しておいてください。

リモコンの準備をする (p.3)



アンテナ線を準備する (p.7)

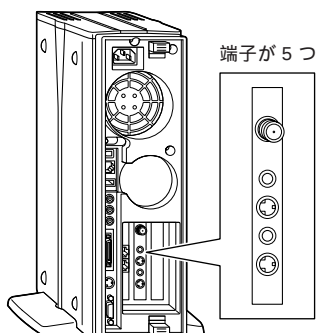
アンテナ線の接続を確認して必要なものを準備します。



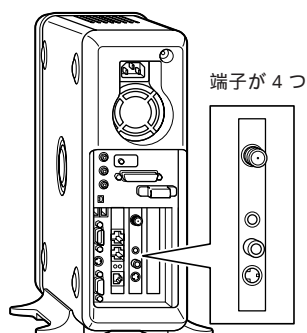
アンテナ線を接続する (p.12)

お使いのシリーズ名を確認してからアンテナを接続してください。

● VALUESTAR T シリーズ



● VALUESTAR L シリーズ



準備完了

リモコンの準備をする

リモコンに添付の乾電池を入れてリモコンを使えるようにします。

⚠ 警告



毒物注意

乾電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。乾電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意



毒物注意

乾電池を分解しないでください。

有害物質が出て人体に悪影響を及ぼすことがあります。



けが注意

乾電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。

やけどのおそれがあります。万一、液に触れた場合は水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。



破裂注意

乾電池をショートさせないでください。

乾電池が破裂して、けがや火災の原因になります。



けが注意

乾電池を火の中へ入れないでください。

破裂して、けがや火災の原因になります。



発火注意

乾電池は必ず「アルカリ乾電池」を使用し、+ (プラス) - (マイナス) を正しく入れてください。

アルカリ乾電池以外の乾電池を使用したり、乾電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。

乾電池を充電したり、直接ハンダ付けしたりしないでください。

破裂して、けがや火災の原因になります。

✓ チェック!!

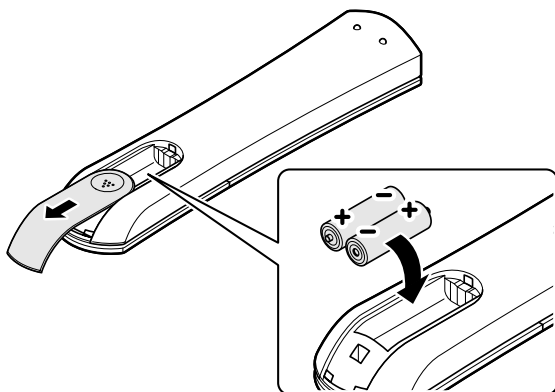
乾電池は誤った使い方をすると破裂するおそれがあります。次のことに注意してください。

- ・必ず「アルカリ乾電池」を使用してください。充電電池（ニカド電池、ニッケル水素電池など）、マンガン乾電池は使わないでください。
- ・長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・+ (プラス) と - (マイナス) の向きを、それぞれの電池ボックス内の表示通りに入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・乾電池を交換するときは、2 本とも新しい乾電池に交換してください。
- ・古い乾電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

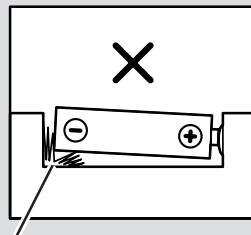
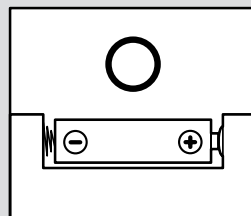
リモコンに乾電池を入れる

1

リモコンに、添付の単4形アルカリ乾電池を2本入れます



乾電池は-(マイナス)側から正しく入れてください



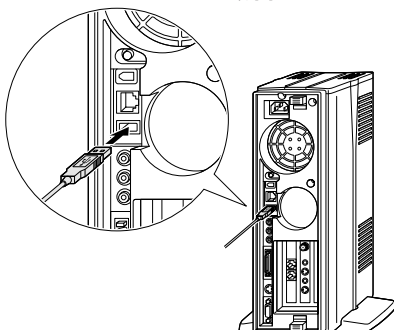
-(マイナス)側のパネを横に曲げないようにしてください。

リモコン用受信ユニットを接続する(PS/2 キーボードの場合のみ)

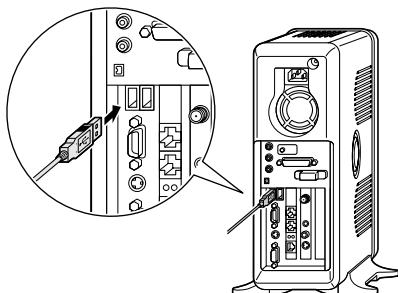
1

リモコン用受信ユニットのUSB プラグを本体背面のUSB コネクタに差し込む

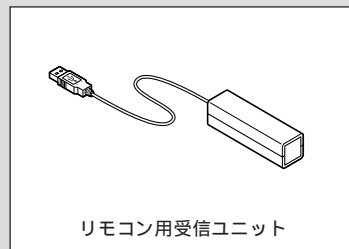
● VALUESTAR T シリーズの場合



● VALUESTAR L シリーズの場合



ワイヤレスキーボードが添付されているモデルでは、液晶ディスプレイでリモコンの信号を受信します。このため、受信ユニットを接続する必要はありません。

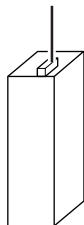


リモコン用受信ユニット

2

リモコン用受信ユニットを置く

本体の上に置く

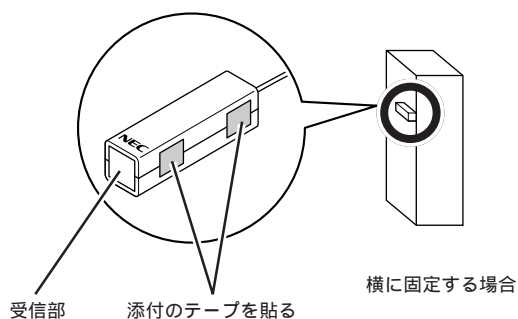


添付のテープを利用して、リモコン用受信ユニットを固定することもできます。このとき、「NEC」の文字が上になるように取り付けてください。

●添付のテープで固定する場合



上に固定する場合



横に固定する場合

リモコン用受信ユニットは、本体やディスプレイの上など、赤外線さえぎるものがない場所に置くことをおすすめします。

✓チェック!!

リモコン用受信ユニットを置くときは、通風孔をふさがないようにしてください。

✓チェック!!

取り付けるときは、リモコン用受信ユニットの向きに注意してください。どの位置に置く場合でも、「NEC」の文字が必ず上になるように取り付けてください。

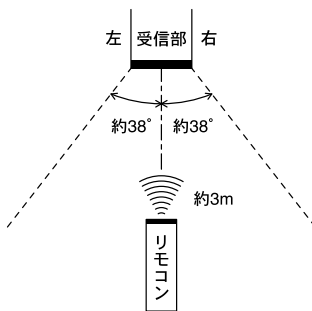
● リモコンの使える範囲

・ ワイヤレスキーボードの場合

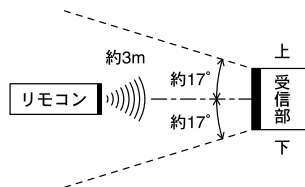
リモコンの信号を受信する受信部は、ディスプレイに内蔵されています。リモコンは受信部に対して、左右約 38 度、上下約 17 度の範囲内で、受信部に向けて操作してください。また、リモコンの通信距離は約 3m ですが、直射日光や蛍光灯などの光の影響で通信距離が短くなる場合があります。リモコンの動作が不安定な場合は、直射日光の当たらない場所などで操作してください。また、リモコンと受信部の間に遮断物があると、操作ができないので、物を置かないようにしてください。

・ リモコン用受信ユニットの場合

PS/2 キーボードがセットのモデルでは、リモコン用受信ユニットをパソコン本体の USB コネクタに接続します。リモコンは受信部に対して、左右約 38 度、上下約 17 度の範囲内で、リモコン用受信ユニットに向けて操作してください。また、リモコンの通信距離は約 3m ですが、直射日光や蛍光灯などの光の影響で通信距離が短くなる場合があります。リモコンの動作が不安定な場合は、直射日光の当たらない場所で操作してください。また、リモコンと受信部の間に遮断物があると、操作ができないので、物を置かないようにしてください。



上から見た図



横から見た図

● リモコンの電池寿命

リモコンの電池寿命はご使用の環境や方法にもよりますが、アルカリ乾電池で最大 190 時間です。

● 乾電池を長持ちさせるには

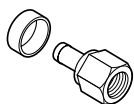
- ・ リモコンには、操作をしていないと自動的に省電力モードになり、乾電池の消耗を節約する機能がついています。
- ・ リモコンのボタンが押し続けられた状態が続くと、省電力モードにならず、乾電池が短時間で消費します。リモコンの上には物を置かないようにしてください。また、リモコンを持ち運んだり長期保管するときは、必ず乾電池を取り出してください。

アンテナ線を準備する

テレビや地上波データ放送を見る準備をします。アンテナに接続されているケーブルにF型コネクタプラグ(別売)を取り付けます。

用意するもの

いまお使いのアンテナ線の形状によって必要なものが異なります。市販のF型コネクタプラグ、または市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルでパソコン本体と接続します。



F型コネクタプラグ



F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

このほか、アンテナ線の状態によっては、U/V混合器や分配器が必要になります。

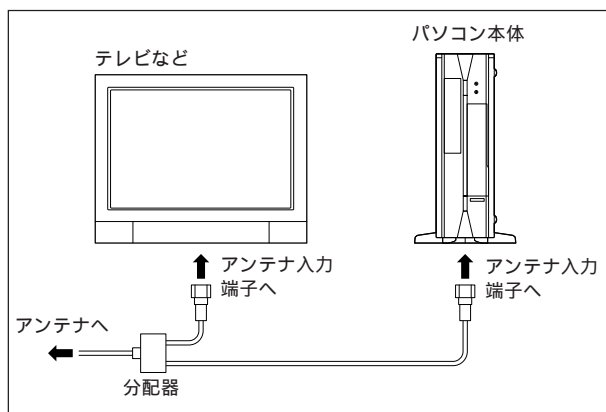
お使いのアンテナ線の状態に合わせて、適したものをお買い求めください。

こんなときは



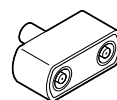
アンテナ線をパソコン本体とテレビ(またはビデオ)の両方に接続したい

市販の分配器を使えば、アンテナ線を2つにできます。分配したあとで、市販のF型コネクタプラグの付いた同軸ケーブルで、パソコンと接続してください。



✓チェック!!

F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、このパソコンには添付されていません。



分配器

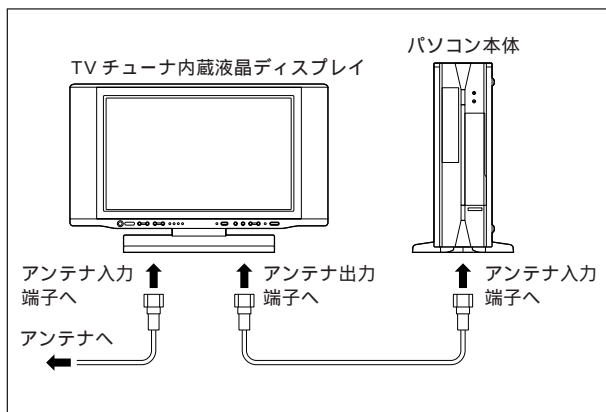
✓チェック!!

テレビやTVチューナ内蔵液晶ディスプレイをつなぐなど、アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、ディスプレイの画面がちらついたり、きれいに映らないことがあります。この場合は、市販のアンテナブースターを接続してください。詳しくはお近くの電器店などにご相談ください。



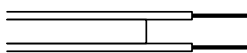
アンテナ線をパソコン本体とTVチューナ内蔵液晶ディスプレイの両方に接続したい

TVチューナ内蔵液晶ディスプレイセットモデルでは、液晶ディスプレイを普通のテレビとして使うこともできます。その場合、液晶ディスプレイのアンテナ出力端子とパソコン本体のアンテナ入力端子をディスプレイに添付のアンテナケーブルで接続します。

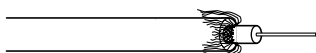


アンテナ線に平行フィーダを使っている

アンテナ線が平行フィーダの場合は、市販の整合器を使用して、同軸ケーブルに変更してください。
詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。



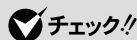
平行フィーダ線



同軸ケーブル



液晶ディスプレイ側のアンテナ接続については、液晶ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



テレビやTVチューナ内蔵液晶ディスプレイをつなぐなど、アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、ディスプレイの画面がちらついたり、きれいに映らないことがあります。この場合は、市販のアンテナブースターを接続してください。詳しくはお近くの電器店などにご相談ください。

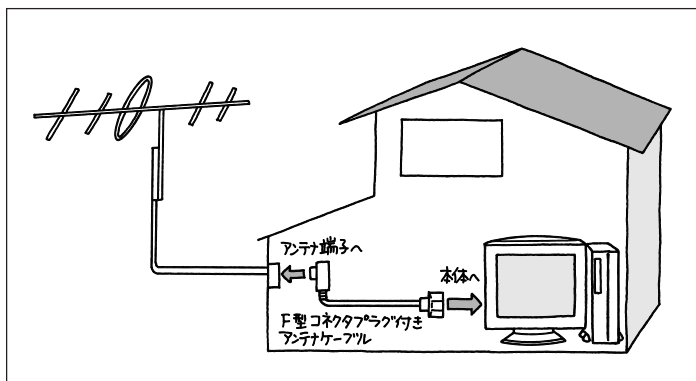
アンテナ線の種類を確認する

いまお使いのアンテナ線はどうなっていますか？

● 壁面などにアンテナ端子があるとき F型コネクタプラグ付アンテナケーブル

マンションなどで、壁面にアンテナ端子だけがある場合は、別にアンテナケーブルをお買い求めいただくことになります。ケーブルにF型コネクタプラグのついた同軸ケーブルをお買い求めください。本体側にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。

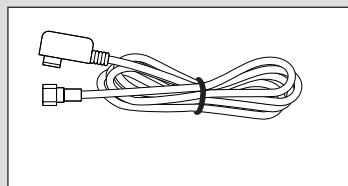
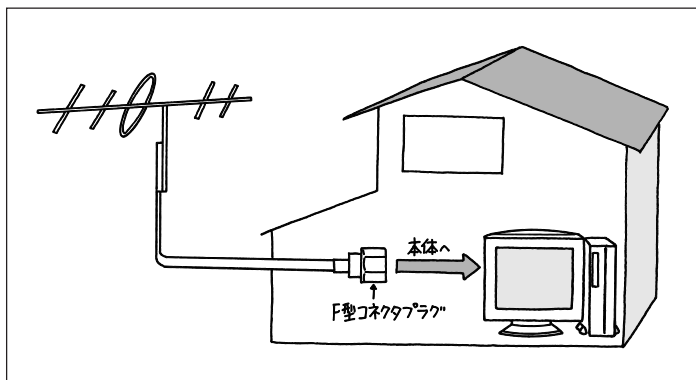
壁側の端子とそれに適合するプラグの形状にはいくつかのタイプがありますので、お近くの電器店などにご相談ください。



● アンテナ線が1本(UHFのみまたはVHFのみか、UHF/VHF混合)のとき F型コネクタプラグ

アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。

(F型コネクタプラグの取り付け方について→ 11 ページ)

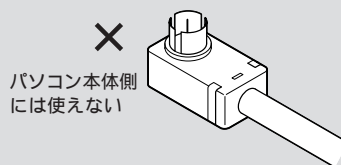


✓ チェック!!

アンテナケーブルには左図のように一方のプラグの形状が箱型になっているものもあります。その場合は、次のように接続してください。

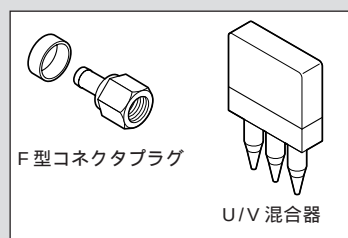
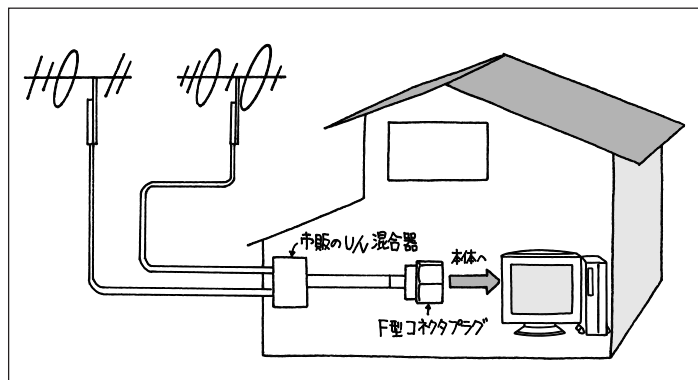
- ・ 箱型→壁の端子
- ・ F型→パソコン本体

箱型をしたプラグをパソコン側のコネクタに使用すると、ノイズの影響を受けやすくなり、データ放送を正常に受信できないことがあります。



●アンテナ線が2本(UHFとVHF)のとき F型コネクタプラグ、U/V 混合器

市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを1本にします。そしてケーブルの先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。
(F型コネクタプラグの取り付け方について→次ページ)

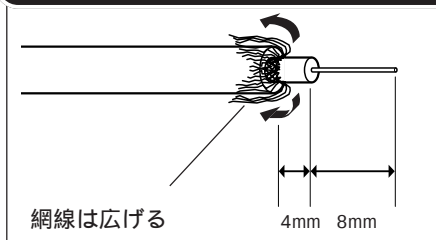


U/V混合器とその取り付け方についてはお近くの電器店などにご相談ください。

ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける

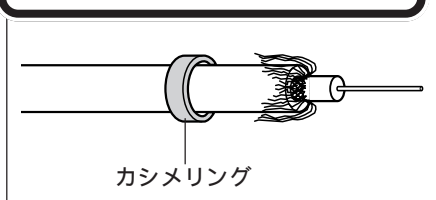
1

アンテナ線の先を持ち、カッターを使って、およそ次のような寸法にケーブルを加工する



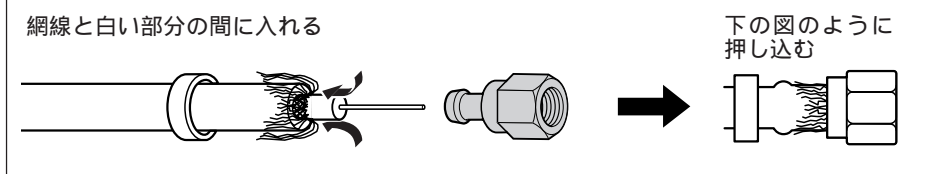
2

カシメリングをケーブルに通す



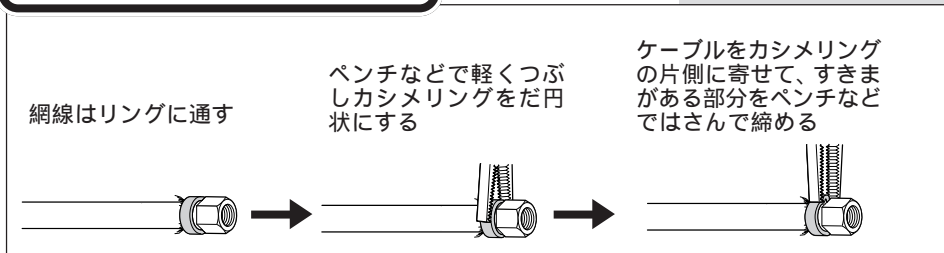
3

F型コネクタプラグを図のようにケーブルに押し込む



4

カシメリングをF型コネクタプラグの付け根に固定する



5

カシメリングからはみ出した網線を、カッターなどで切り取る

あらかじめ、市販のF型コネクタプラグと、お手持ちのカッター、ペンチを用意してください。

F型コネクタプラグは、ケーブルの太さにあったものをお買い求めください。

網線の端を少し切っておくと、あとでケーブルにカシメリングを通す際に作業しやすくなります。

金属線は折れやすいので、カッターで傷つけたり、曲げないように注意してください。

カシメリングは、F型コネクタプラグが抜けないう締めるためのものです。

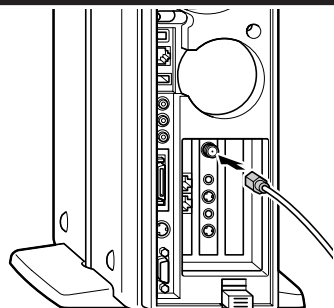
アンテナ線を本体につなぐ

アンテナ線をパソコン本体に接続します。

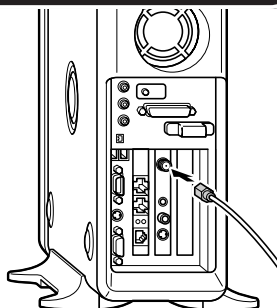
お使いのモデルによって、本体の形状が異なります。

1

本体背面の「V VHF/UHF」と書かれているコネクタにアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む



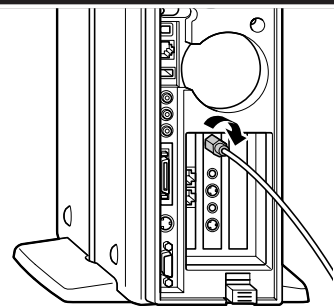
VALUESTAR Tシリーズ



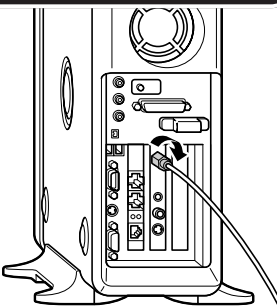
VALUESTAR Lシリーズ

2

F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する。



VALUESTAR Tシリーズ

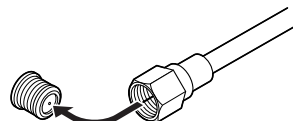


VALUESTAR Lシリーズ

✓チェック!!

- ・ アンテナ線を接続する前にパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
- ・ TVチューナ内蔵液晶ディスプレイをセットでご購入の場合、液晶ディスプレイを普通のテレビとして使うこともできます。液晶ディスプレイのアンテナ接続については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。



金属線が曲がっているときは、まっすぐに直してください。

金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

P A R T

2

テレビを見よう

チャンネルを設定して、さっそくこのパソコンでテレビを見ましょう。テレビを見る時は、「SmartVision/TV」というアプリケーションを使います。放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりもできます。

チャンネルと番組表の設定をする

テレビを見る前に、お住まいの地域のチャンネルを設定して、番組表を受信できるようにします。

はじめて SmartVision/EPG を起動すると、SmartVision を使うために必要な設定をする SmartVision 初期設定ウィザードが表示されます。画面に表示される質問に答えながら、受信するチャンネルの設定をしたり、地上波からの時刻情報を受信してこのパソコンの時刻を調整したり、番組表を定期的に受信する設定を行います。

✓チェック!!

引越し等で、お住まいの地域の放送局が変わったときは、次の手順でチャンネル等を設定しなおしてください。

1. SmartVision/EPG の  (設定) をクリックする
2. 「EPG 放送時刻の取得」をクリックする
3. 次のページの手順 4 から設定をはじめ

✓チェック!!

次のようなときにもチャンネル等の設定が必要です。

- ・ SmartVision/EPG を再インストールした後
- ・ パソコンを再セットアップした後

SmartVision/EPG で設定する

●設定をはじめ

1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「SmartVision」→「SmartVision-EPG」をクリックする

SmartVision 初期設定
ステップ 1/8 の画面が表示される



2

画面を読んで「次へ」をクリックする

ステップ 2/8 の画面が表示される

一度設定した後、チャンネルの設定や番組表の受信時刻を変更したいときは、SmartVision/EPG の「設定」で行います→ PART 3 の「SmartVision/TV の設定について」(p.65)

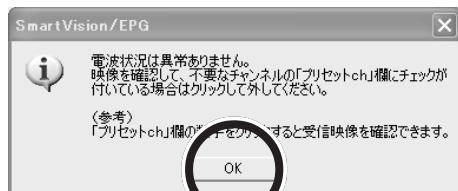
モデルによって画面が異なることがあります。



3
▼をクリックして、
ご利用になる地域名
をクリックする

4
「次へ」をクリックする

オートチューニングが完了すると、次の画面が表示される



5
「OK」をクリックする

次の「地上波の設定をする」に進んでください。

✓チェック!!

はじめて起動したときは、「オート
チューニングを行う」のは変更で
きません。

●地上波の設定をする



- 1 放送局名が表示されていない場合は、放送局名を選択する
- 2 ADAMS放送のチャンネルが選択されていない場合は、クリックして選択する

✓チェック!!

ADAMS 放送のチャンネルはお住まいの地域によって異なります。各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2002年3月現在)。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日

ここで受信できるチャンネルがすべて設定されていて、CATV(ケーブルテレビ)の設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」(p.18)に進んでください。

チャンネルの設定がうまくいかなかったときは手でチャンネルを設定します。

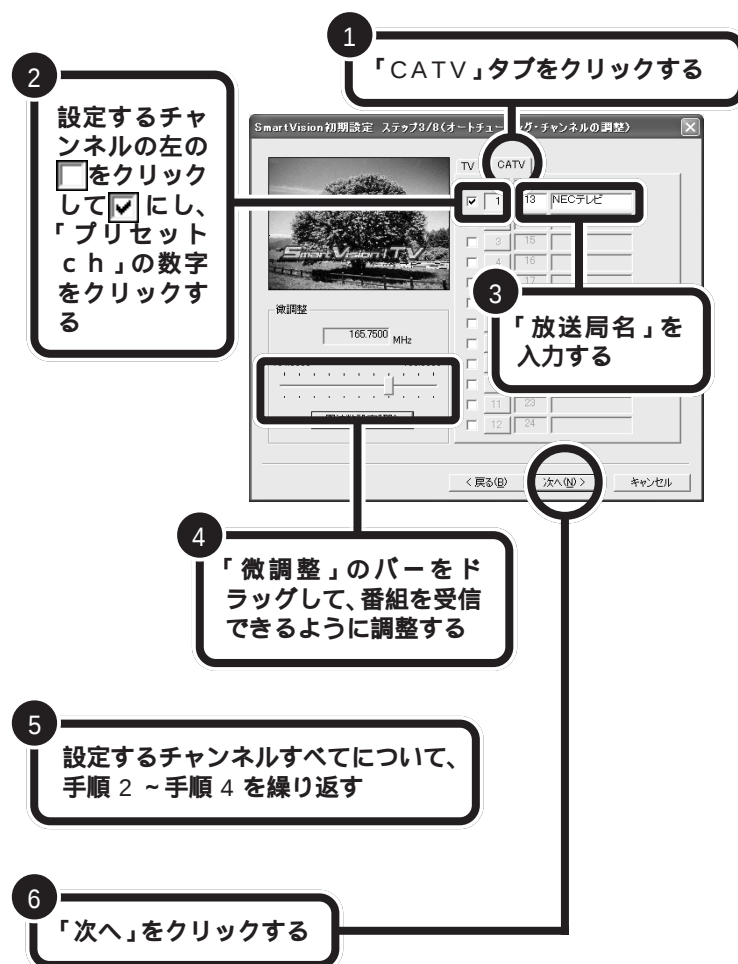
●地上波のチャンネルを手動で設定する

- 1 設定するチャンネルの左の☐をクリックして☒にし、「プリセットch」の数字をクリックする
- 2 「放送局名」の▼をクリックして、放送局名を選ばないときは、キーボードから入力することもできます。
- 3 「微調整」のバーをドラッグして、番組を受信できるように調整する
- 4 設定するチャンネルすべてについて、手順1～手順3を繰り返す
- 5 ADAMS放送のチャンネルを選択する

これで、地上波の設定は終了です。
次にCATV(ケーブルテレビ)のチャンネルを設定します。CATVの設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」(p.18)に進んでください。

CATV(ケーブルテレビ)の設定をする

CATVをお使いの場合、CATVのチャンネルを設定します。



これで、設定は終了です。

ステップ4/8の画面が表示されます。次の「番組表受信の設定をする」に進んでください。

✓チェック!!

- CATV番組の視聴方法は、各CATV会社によって異なります。視聴に、別途ホームターミナル等の装置が必要となる場合があります。ホームターミナル等の装置がなくても受信できるチャンネルがあるかどうかなど詳しくは、各CATV会社にお問い合わせください。
- CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表等をご覧ください。

● 番組表受信の設定をする

しばらくすると、次の画面が表示されます。



ステップ 5/8 の画面が表示される



ステップ 6/8 の画面が表示される

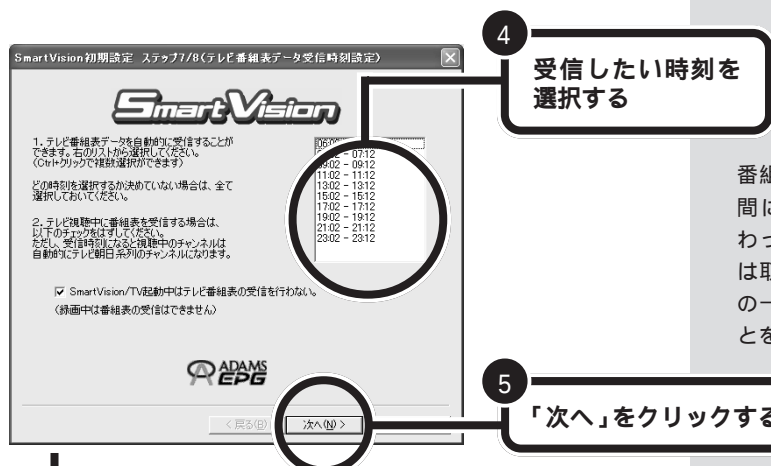


受信が完了すると、ステップ 7/8 の画面が表示される

時刻の調整に失敗したときは、SmartVision/EPGの (設定) ボタンをクリックして表示される画面の「受信設定」タブで「タイムアジャストの実行」ボタンをクリックすると、後からでも調整できます。

番組表は、約 2 時間おき(夜間除く)に放送されます。ここでは、その放送予定時刻を受信します。

ここで受信時刻の取得に失敗した場合は、SmartVision/EPGの (設定) ボタンをクリックして「EPG 放送時刻の取得」ボタンをクリックすると、次ページの手順 4 の画面が表示されるので、後からでも同じ方法で設定できます。



ステップ 8/8 の画面が表示される

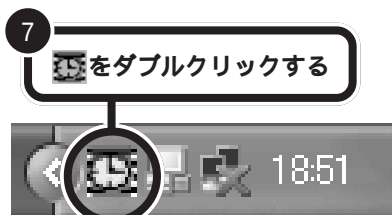


✓チェック!!

このパソコンを複数のユーザーでご利用の場合には、設定した時刻の5分前までには、この設定を行ったユーザーでログオンしてください。設定時刻まで、パソコンを省電力状態にしておくときもこの設定を行ったユーザーでログオンしている状態で省電力状態にしてください。

SmartVision/EPG が起動します。
はじめて起動したときは、空の番組表が表示されます。

設定した時刻になると、自動的に番組表の情報を受信します。受信を開始すると画面右下のタスクトレイの が に変わります。受信が終了すると元のアイコンに戻ります。
初回起動時など番組表の情報を受信する前のときは、番組表を開くときに注意のウィンドウが表示されます。



↓
SmartVision/EPG が起動し、
テレビ番組表が表示される

「スタート」「終了オプション」で「スタンバイ」または「休止状態」を選択して、パソコンを省電力状態にしても受信時刻になると自動的に番組表を受信します。



以上で、SmartVision の初期設定が終わりました。

✓チェック!!

テレビ番組表の受信開始 2 分前から終了 1 分後の間に他の予約(録画予約、視聴予約、データ放送予約)が重なった場合は、他の予約が優先され、テレビ番組表は受信されません。

SmartVision/EPG は、 を右クリックして表示されるメニューから「テレビ番組表」をクリックしても表示されます。

✓チェック!!

チャンネルがうまく合っていない場合は、番組表は空のままです。次の「チャンネル設定ユーティリティで設定する」をご覧になり、チャンネルの設定を行ってください。

EPGに表示するチャンネルのみ設定したいときは、 (設定) ボタンをクリックして表示される「設定」ウィンドウの「放送局(1)」タブで設定してください。

チャンネル設定ユーティリティで設定する

「SmartVision/EPGで設定する」の手順で、チャンネルの設定ができなかったときや、引っ越しをしてチャンネルの設定を変える必要があるときは、「チャンネル設定ユーティリティ」で設定します。

チャンネル設定ユーティリティでは、SmartVision/TVでテレビを見るためのチャンネルを設定します。

引っ越しなどで、チャンネルを再設定する必要がある方は、次の「設定する」に進んでください。

設定する

1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「SmartVision」→「チャンネル設定ユーティリティ」をクリックする

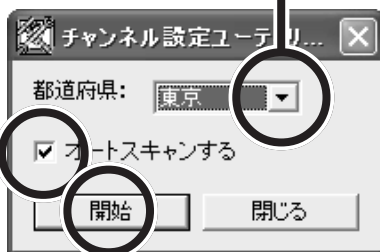
チャンネル設定ユーティリティが起動する

2

☐をクリックして、ご利用になる地域名をクリックする

3

「オートスキャンする」の左が☒になっていることを確認して



4

「開始」をクリックする

オートスキャンがうまくいかないときは、手順3の☒をクリックして☐にして手順4へ進んでください。

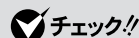
チャンネルのオートスキャンが始まります。電波状態に異常がないことを確認する画面が表示されたら「OK」をクリックします。次の「地上波の設定をする」に進んでください。

● 地上波の設定をする



1 放送局名が表示されていない場合は、放送局名を選択する

2 ADAMS 放送のチャンネルが選択されていない場合は、クリックして選択する



ADAMS 放送のチャンネルはお住まいの地域によって異なります。
各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2002年3月現在)。

ここで受信できるチャンネルがすべて設定されていて、CATV(ケーブルテレビ)の設定が必要ない場合は、「OK」をクリックして設定を終了します。

チャンネルの設定がうまくいかなかったときは手でチャンネルを設定します。

● 地上波のチャンネルを手動で設定する

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日



1 設定するチャンネルの左の☐をクリックして☒にし、「プリセットch」の数字をクリックする

2 「放送局名」の▼をクリックして、放送局名を選ぶ
一覧にないときは、キーボードから入力することもできます。

3 「微調整」のバーをドラッグして、番組を受信できるように調整する

4 設定するチャンネルすべてについて、手順1～手順3を繰り返す

5 ADAMS放送のチャンネルを選択する

これで、地上波の設定は終了です。

- ・CATV(ケーブルテレビ)をお使いの場合は、次の「CATV(ケーブルテレビ)の設定をする」に進んでください
- ・地上波のチャンネルが正しく設定されていて、CATVの設定が必要ないときは、「OK」をクリックして、チャンネル設定ユーティリティを終了してください。これで設定は終了です

・CATV(ケーブルテレビ)の設定をする

1 「CATV」タブをクリックする

2 設定するチャンネルの左の ☐ をクリックして ☒ にし、「プリセットch」の数字をクリックする

3 「放送局名」を入力する

4 「微調整」のバーをドラッグして、番組を受信できるように調整する

5 設定するチャンネルすべてについて、手順2～手順4を繰り返す

6 「OK」をクリックする

受信できるチャンネルがすべて設定されていれば、設定は終了です。

✓チェック!!

- ・CATV番組の視聴方法は、各CATV会社によって異なります。視聴に、別途ホームターミナル等の装置が必要となる場合もあります。ホームターミナル等の装置がなくても受信できるチャンネルがあるかどうかなど詳しくは、各CATV会社にお問い合わせください。
- ・CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているCATV番組表等をご覧ください。

正しくチャンネルの設定ができたか確認する

テレビ番組表の受信が完了していると、「SmartVision/TV」で番組を視聴しているときに番組名が表示されます。また、その時間に放送されている他の番組と放送局名の一覧を表示し、一覧から見たい番組をクリックして、チャンネルを変えることもできます。

をクリックすると、番組と放送局名の一覧が表示され、
クリックするとチャンネルが変わる



テレビ番組表が受信されていないときは、放送局名のみ表示されます。

テレビ番組を見る

テレビを見るための準備が終了したら、テレビを見てみましょう。

⚠ 注意



けが注意

- ・ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。
- ・VISUAL モード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。

ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、VISUAL モードをOFF にしてご使用ください。また、VISUAL モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。DVD 再生あるいはTV、VIDEO-CD 等をご覧いただく以外の場合はVISUAL モードOFFでのご使用をおすすめします。

VISUAL ボタンについて

VISUAL ボタンのついているディスプレイでは、ディスプレイ前面のVISUAL ボタンを押して、VISUAL モードにできます。VISUAL モードは、テレビやDVD をより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。VISUAL モードについて詳しくは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

SmartVision/TV を利用できる解像度と表示色は、「800 × 600 ピクセル、65,536 色 (High Color)」以上です。



解像度と表示色の設定について → 「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「ディスプレイの設定」

SmartVision/TV でテレビを見る

このパソコンでテレビを見るときは、「SmartVision/TV」というアプリケーションを使います。

1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「SmartVision」→「SmartVision-TV」をクリックする



SmartVision/TV が表示される



✓ チェック!!

- ・テレビを視聴中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。
- ・SmartVision/TV を起動中は、ビットキャストブラウザや Jet-Audio Player (映像再生) などを起動できません。

SmartVision/TV を終了する



基本的な操作

SmartVision/TVの基本的な使い方を説明します。基本的な使い方は、ふつうのテレビとよく似ています。

画面の説明

テレビモード



チャンネルバー

現在のチャンネル、放送局名・番組名が表示されます。また、裏番組の選択もできます。

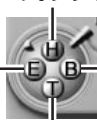
テレビ表示部
テレビの画面を表示します。

コントロールバー
録画・再生をしたり、チャンネルを切り替えます。

モード切替ベゼル

SmartVision/TVのオンラインヘルプを起動する

EPGモードに切り替える

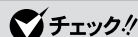


バインダーモードに切り替える

テレビモードに切り替える
(通常、テレビモードで起動します)

ステータスバー

エラーなどの各種メッセージ、再生速度、日時を表示します。



チャンネルバーの情報の更新は、1分に1度行われます。

EPGモード



番組表を表示します。
SmartVision/TVのEPGモードで番組表を開いて予約したり、SmartVision/EPGを起動したりすることができます。

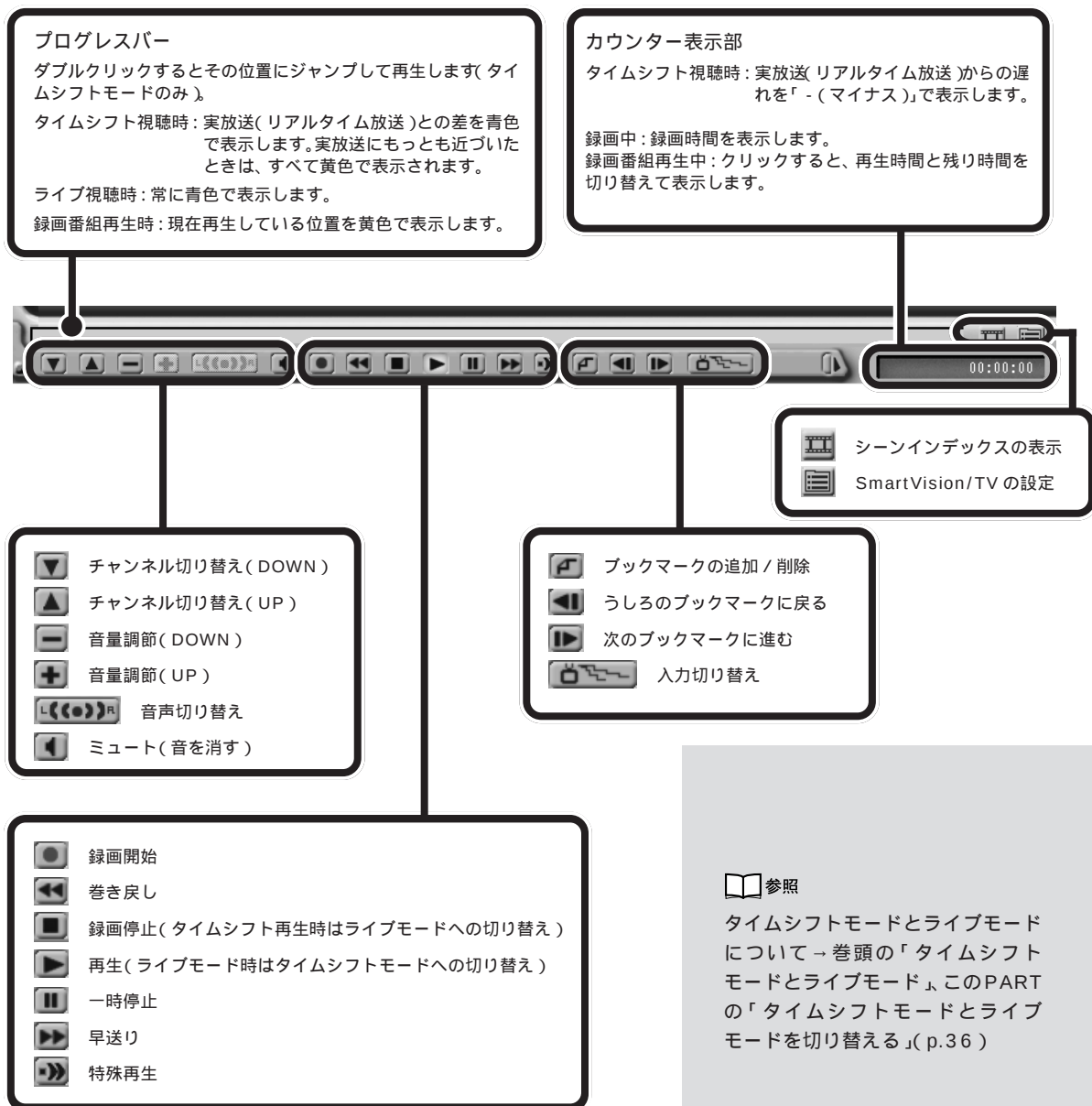
バインダーモード



録画した番組一覧を表示します。

コントロールバーを使って操作する

チャンネルを替えたり、音声を切り替えるときは、コントロールバーを使います。



: タイムシフトモード時のみ操作できます。ライブモードでは操作できません。

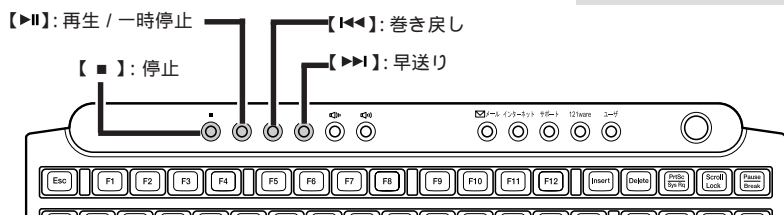
参照

タイムシフトモードとライブモードについて→巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」このPARTの「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」(p.36)

ライブモード時の音量調節はキーボードやリモコンの音量ボタン、ディスプレイ内蔵のスピーカなどで行ってください。

キーボードを使って操作する

SmartVision/TVの一部の操作は、キーボードでも行えます。キーボードが対応している操作は次の通りです。



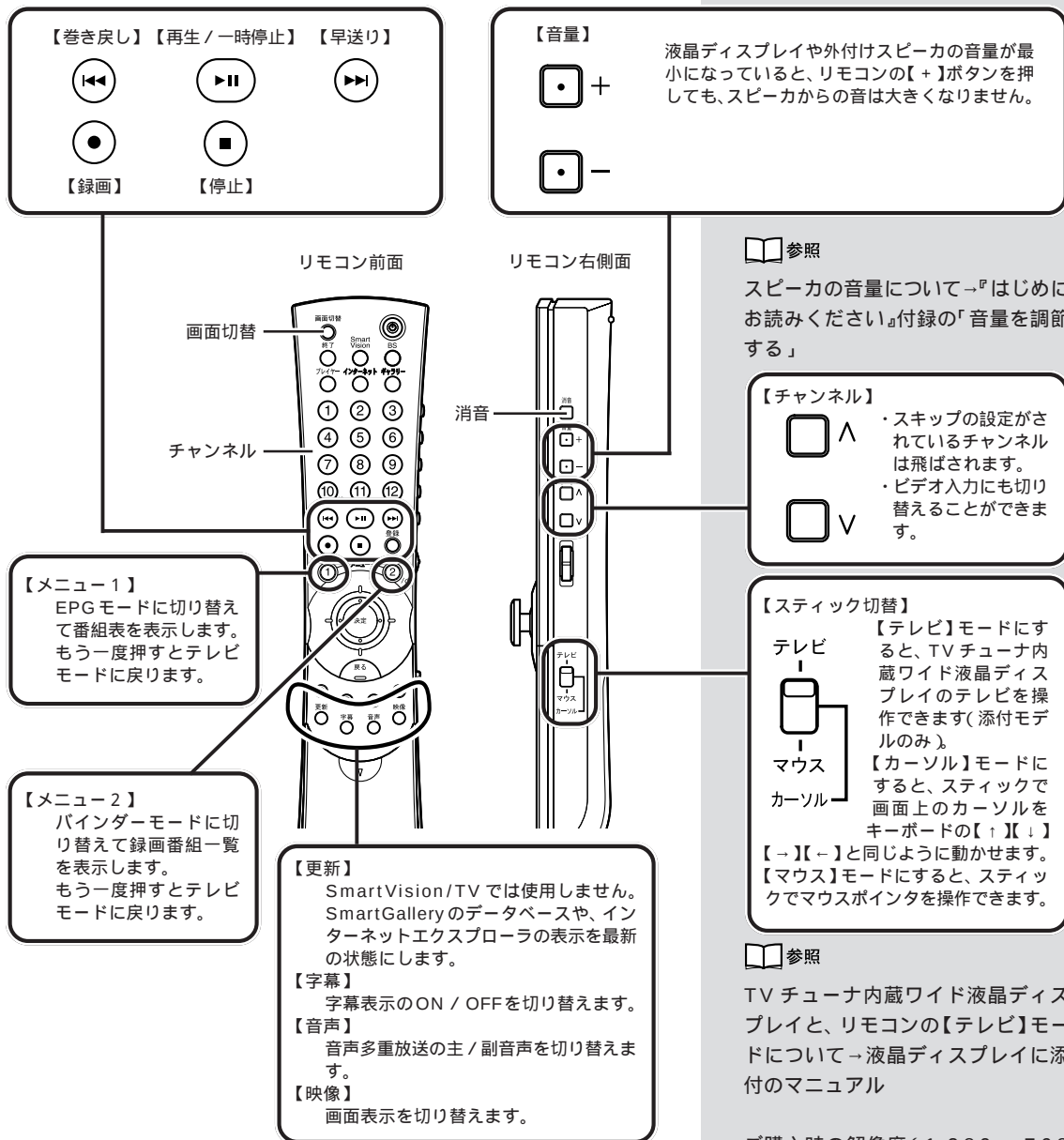
他にも、キーボードで次の操作ができます。

- 【F】: 早送り
- 【R】: 巻き戻し
- 【B】: バインダーモードへの切り替え
- 【T】: テレビモードへの切り替え
- 【E】: EPG モードへの切り替え
- 【I】: 入力切り替え
- 【スペース】: 再生 / 一時停止
- 【Alt】+【Enter】: 全画面表示にする / 元に戻す
- 【Alt】+【S】: スリムモードにする / 元に戻す
- 【Ctrl】+【↑】、【Ctrl】+【↓】: チャンネルの切り替え

モデルにより、キーボードの形状は異なります。

リモコンを使って操作する

SmartVision/TV の主な操作はリモコンで行えます。



リモコンについて詳しくは付録の「リモコンの各部の名称」をご覧ください。

ご購入時の解像度(1,280 × 768 ドット)で全画面表示したときに、リモコンの【映像】ボタンを押すと「ズーム」→「ワイド」→「ノーマル」の順番で画面表示を切り替えることができます(ワイド液晶ディスプレイセットモデルのみ)。

参照

リモコンユーティリティについて→『ばそガイド』-「パソコンでできること」

音量を調節する

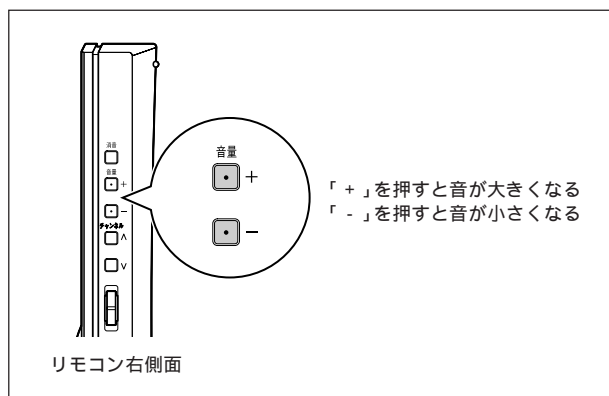
パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。

● 音量調節のポイント

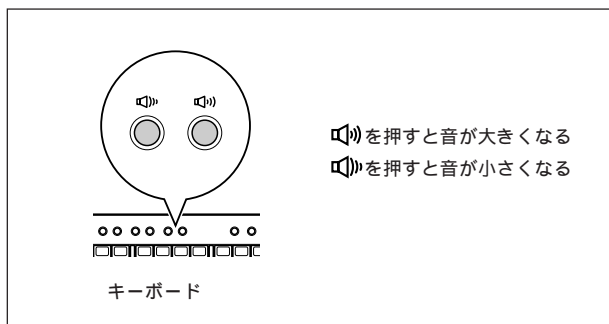
音量を調節するには、いくつかの方法があります。

・リモコンやキーボードで音量を調節する

- リモコンで音量を調節する



- キーボードで音量を調節する



📖 参照

キーボードのボリュームボタンで調節する→『はじめにお読みください』の付録

✔ チェック!!

- ・スピーカの音量が最小になっていると、「+」を押してもスピーカからの音は大きくなりません。
- ・リモコンの【音量】ボタンやキーボードのボリュームボタンは、Windows の「ボリュームコントロール」の「Volume Control」と連動しています。



ボリュームコントロール

📖 参照

ボリュームコントロールについて→『ばそガイド』-「パソコンでできること」-「50 音別目次」-「サウンドの設定」

・スピーカの音量を調節する

このパソコンのスピーカは、液晶ディスプレイに内蔵されています。コントロールバーやキーボードで操作しても音が大きくなるときは、スピーカの音量が最小になっているかもしれません。ディスプレイや外付けスピーカを確認してください。

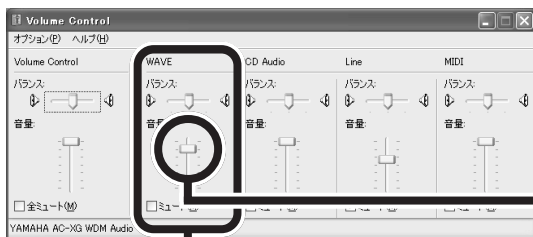
・ SmartVision/TV で音量を調節する

コントロールバーで音量を調節する(タイムシフトモードのみ)



・ Windows のボリュームコントロールで音量を調節する (タイムシフトモード時)

「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテインメント」-「ボリュームコントロール」をクリックすると表示される「ボリュームコントロール」ウィンドウでも、音量を調節できます。



上下にドラッグ
して音量を調節
します

SmartVision/TV の音量調節ボタンと連動しています

📖 参照

スピーカの音量の調節 → 『はじめに
お読みください』

✔ チェック!!

コントロールバーで音量調節ができるのは、タイムシフトモードのときだけです。ライブモードのときは他の方法で調節してください。

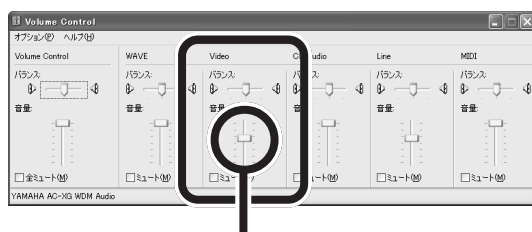
✔ チェック!!

- ・「ボリュームコントロール」ウィンドウで音量を調節すると、他のアプリケーションや機能でも音量が変わってしまう場合がありますので注意してください。
- ・「ボリュームコントロール」の画面はモデルによって異なります。

Windows のボリュームコントロールで音量を調節する (ライブモード時)

ライブモード時に「ボリュームコントロール」ウィンドウで音量を調節するには、次の手順で行います。

- 1 「ボリュームコントロール」ウィンドウを表示する
- 2 「オプション」→「プロパティ」をクリックする
- 3 「表示するコントロール」で「Video」の左をクリックして ☒ にして、「OK」をクリックする
「ボリュームコントロール」ウィンドウに「Video」が表示されます。



上下にドラッグして音量を調節します

音量の調節が終了したら をクリックしてウィンドウを閉じます。

画面の大きさを変える

テレビの画面サイズは自由に変更できます。

●全画面表示する

ディスプレイいっぱいにテレビの画面を表示します。



1

⏏ (全画面表示) を
クリックする

2

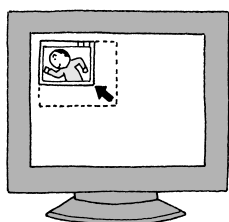
マウスの左ボタンを押す
元のサイズに戻ります。

●好きなサイズに変更する

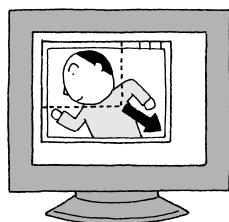


ウィンドウ右上のボタンが  のときは、ウィンドウが最大化されているので、サイズの変更はできません。好きなサイズにするには、 をクリックして、 にしてから、左の手順にしたがってサイズを変更してください。はじめて SmartVision/TV を起動したときは、ウィンドウは最大化されています。

左斜め上にドラッグすると



右斜め下にドラッグすると



シンプルな画面でテレビを見る

SmartVision/TVのSlimモードを使うと、チャンネルバー、コントロールボタンなどを消したシンプルな画面でテレビを見られます。

Slimモードでテレビを見るときは、リモコンまたはキーボードで操作をしてください。

● Slim モードでテレビを見る

シンプルな画面でテレビを表示します。



1

(スリム表示)
をクリックする

● 元の画面に戻す



1

Slim モードの画面を
右クリックする
メニューが表示されます。

2

「通常モードに戻る」をクリック
元のSmartVision/TVの画面に戻ります。

便利な機能を使う

SmartVision/TVには、ふつうのテレビにはないいろいろな機能があります。パソコンならではの機能を使って、テレビを楽しみましょう。

タイムシフトモードとライブモードを切り替える

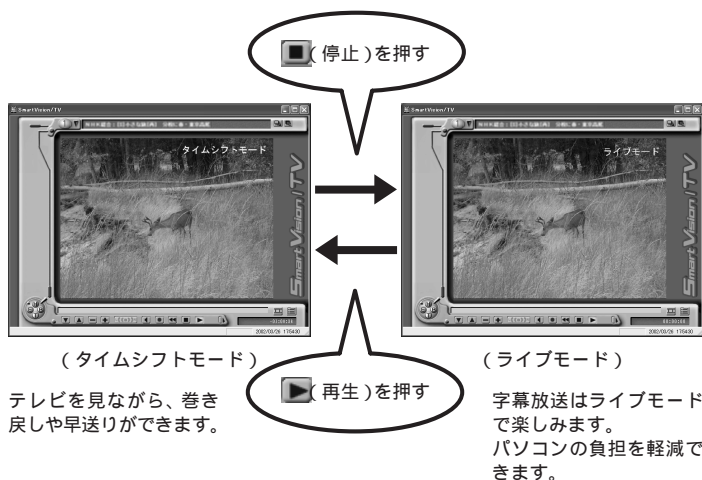
SmartVision/TVでテレビを見るときには、タイムシフトモードとライブモードの2種類のモードが選べます。

タイムシフトモードでは、見ているテレビ番組を一時停止したり、巻き戻したり、巻き戻したところから録画したりと、パソコンならではのテレビの楽しみ方ができます。

ライブモードでは、一時停止や巻き戻しはできませんが、字幕放送がされている番組では字幕放送を利用できます。また、ライブモードではタイムシフトモードよりも、パソコンにかかる負担が小さくなります。

ご購入時の状態では、タイムシフトモードで起動するように設定されています。

● タイムシフトモードとライブモードの切替方法



📖 参照

タイムシフトモードとライブモードについて → 巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」

✔ チェック!!

- ・ 録画中に停止を押すと、録画が停止されます。
- ・ 映像にコピー防止信号(マクロビジョン信号)が含まれている場合、自動的にライブモードに切り替わります。

見ている番組を一時停止する

タイムシフトモード時には、今見ている番組を一時停止して、続きのシーンから再生できます。

一時停止の時間は、ご購入時の状態で5分に設定されています。停止時間は変更できます。停止時間を過ぎると自動的に再生が始まります。

使い方

料理番組のレシピやプレゼントの応募先などをメモしたいときなどに便利です。

再びテレビを見るまでの時間が指定した時間を超えそうな場合は、録画機能を使うと便利です。

1

コントロールバーの **⏸** (一時停止) をクリックする

カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい遅れているのか時間を表示されます。



2

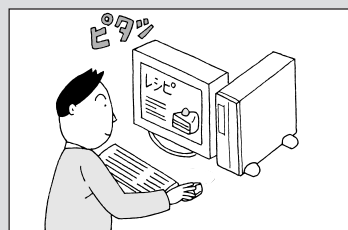
数分後、**▶** (再生) をクリックする

一時停止をしたところから再生が始まります。

3

リアルタイムに追いつきたいときは、**⏮** (早送り) または **⏭** (次のブックマークに進む) をクリックする

⏮ をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。



参考

- ・一時停止時間の変更について → PART3の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)
- ・録画について → PART3の「録画について」(p.44)

チェック!!

一時停止できる時間を長くしたい場合は、PART3の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)で変更できます。

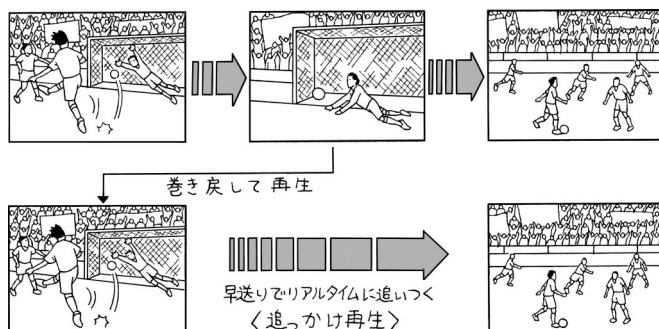
⏮ (早送り) の代わりに **⏮** (特殊再生) をクリックすると、音声付きの変速再生ができます。再生速度はPART3の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)で変更できます。

見ている番組を巻き戻して見る

タイムシフトモード時には、今見ている番組を巻き戻して見るができます。巻き戻しシーンを見た後は、巻き戻し中のシーンも含めて、そのまま続きを見ることができます。

使い方

スポーツ番組などで今見たばかりのシーンをもう一度見たい場合などに使います。



1

⏮ (巻き戻し) をクリックする

カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。



2

見たい場面で、▶ (再生) をクリックする

3

リアルタイムに追いつきたいときは、▶▶ (早送り) または ▶ (次のブックマークに進む) をクリックする

▶▶ をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

巻き戻すことができる時間は、ご購入時の状態で「5分前まで」です。巻き戻し時間を長くしたい場合は、PART3の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)で変更できます。

▶▶ (早送り) の代わりに ▶▶▶ (特殊再生) をクリックすると、音声付きの変速再生ができます。再生速度はPART3の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)で変更できます。

音声を切り替える

「SmartVision/TVの設定」の「映像音声」タブの「音声多重放送」で「主 + 副音声」に設定しているときは、音声を切り替えることができます(ご購入時の状態では、「主音声のみ」が選択されています)。L(◀▶)R をクリックして音声を切り替えます。



このボタンを押すごとに、
左音声のみ → 右音声のみ → 両音声 → 左音声のみ → ...
と切り替わる

音声多重放送でないときにこのボタンを押すと、ステレオ放送時は左、右それぞれの音が聞こえ、モノラル放送時は音が変化しません。

副音声は通常では二カ国語放送などで使われています。

参照

SmartVision/TVの設定 → PART3
の「SmartVision/TVの設定について」(p.65)

チェック!!

番組によっては副音声がなく、ボタンをクリックしても主音声しか出力されない場合があります。

左音声のみ / 右音声のみの場合、両方のスピーカに同じ音が出力されます。

字幕放送を見る

字幕放送の番組で、字幕を表示する設定をします。

字幕放送を見る

SmartVision/TVで字幕放送を見るには、次の手順で設定してください。

字幕放送はライブモード時のみ表示されます。

字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。



字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。

● 設定のしかた

1

SmartVision/TV を起動する



SmartVision/TV が起動する



2

(SmartVision/TV の設定)をクリックする

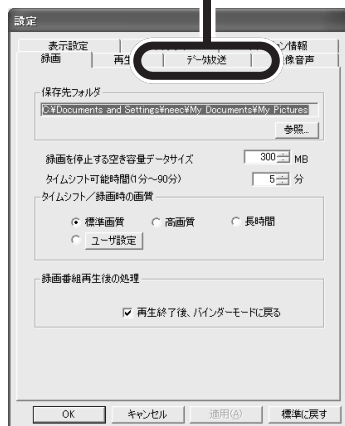
参照

ライブモード→このPARTの「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」(p.36)

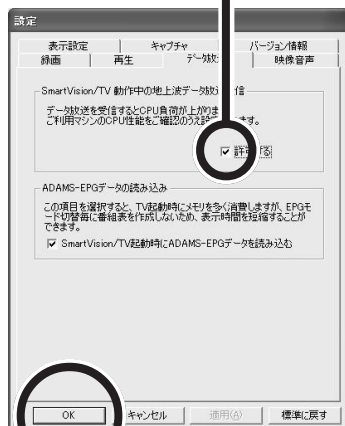
字幕放送されているのは、番組表で のマークがついている番組です。

3

「データ放送」タブをクリックする



4

「許可する」を ☒ にする

5

「OK」をクリックする

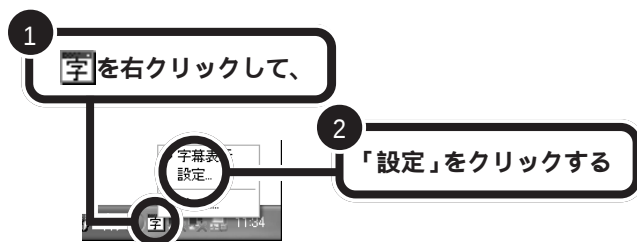
6

■をクリックする

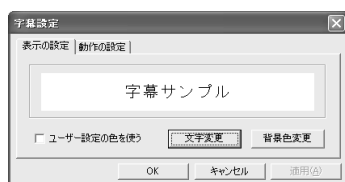
タイムシフトモードから、ライブモードになり、字幕を表示できるようになります。

字幕を表示できる状態になると、画面右下の通知領域に **字** が表示されます。この表示がされている状態で字幕放送が行われている番組にチャンネルを合わせると、字幕が出ます。

字幕表示の設定をする



「字幕設定」ウィンドウが表示される



このウィンドウで、フォントや背景色などの字幕表示の設定ができます。字幕の文字の色は放送に含まれていますが、独自の色に設定することもできます。

字幕を右クリックして、「字幕表示」のチェックを外すと、字幕が表示されなくなります。再度、字幕を表示させたい場合は、「字幕表示」のチェックを付けてください。

P A R T

3

録画と再生をしよう

「SmartVision/TV」では、テレビの番組を録画したり、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻したところから録画することもできます。今までのテレビではできなかった、便利な使い方がたくさんあります。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

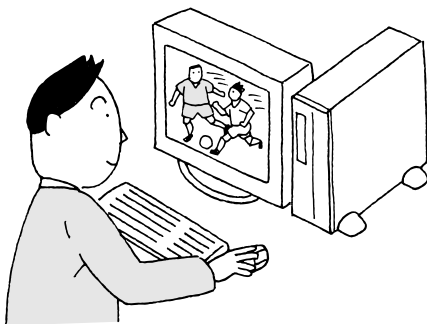
テレビ番組を録画する

テレビ番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。

録画について

一般のビデオ機器でテレビ番組を録画するのと同じように、パソコンにテレビ番組の動画を取り込みます。ビデオテープに録画する代わりにパソコンのハードディスクに記録します。

動画をハードディスクに記録するには、たいへん大きなハードディスク容量を必要とします。記録した動画でハードディスクがいっぱいになる前に、圧縮して保存したり、こまめに不要な動画ファイルを削除するようにしましょう。



● 画質とハードディスク容量について

SmartVision/TVで録画をするときは、いくつかの画質が選べます。同じ番組でも画質によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意してください。

設定できる画質と、1時間録画するのに必要なハードディスク容量の目安は次の通りです。

VALUESTAR Tシリーズ

画 質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組をあとでVideoStudioで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約950Mバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたい時に向いています。
ユーザ設定	約600Mバイト～約6.5Gバイト (設定によって異なります)	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識がある方向けの設定です。VideoCDに設定すると、CD-RにVideoCD方式で保存できます。

✓チェック!!

- ・ パソコンを長時間使用したあと予約録画をする場合は、一度、パソコンを再起動させ、その後、予約録画の設定を行ってください。また番組再生するときも、パソコンを再起動させた後に再生することをおすすめします。
- ・ 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してご使用ください。

VALUESTAR Lシリーズ

画 質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.1Gバイト	高画質で録画します。録画したテレビ番組をあとでVideoStudioで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約2.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
DVD対応	約3.5Gバイト	DVD対応モードで録画します。DVD対応モードでは、録画中にテレビを見られません。また、「追っかけ再生機能」(→p.37)も利用できません。
VideoCD	約600Mバイト	録画したテレビ番組をVideoCD形式でCD-Rに保存する場合は、このモードを選んでください。

●録画(動画キャプチャ)の制限について

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了されます。

SmartVision/TV

ハードディスクの残り容量が、「SmartVision/TVの設定について」(p.65)の「録画を停止する空き容量データサイズ」で設定している容量(ご購入時の状態では「300Mバイト」)より少なくなったとき

予約設定の画面で表示される「HDDの空き容量」には「録画を停止する空き容量データサイズ」で設定した容量が含まれます。

●編集目的で録画するときの注意

- ・ SmartVision/TVで録画したテレビ番組を、あとでVideoStudioで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
 - ・ 市販の編集アプリケーションでは、標準画質モードで録画したデータは編集できないことがあります。また、市販の編集アプリケーションでは、長時間のMPEGデータを編集できないことがあります。1時間を目安に録画してください。
 - ・ SmartVision/TVで録画した映像を、あとでDVD MovieWriterやDVDIt(VALUESTAR Tシリーズのみ)を使ってDVDタイトルに加工する場合は、高画質モードまたは標準モードで録画することをおすすめします。
- ユーザ設定モードで録画する場合は、次のように設定してください。
- MPEG2(CBR)の場合: ビットレート 8Mbps 以下
 - MPEG2(VBR)の場合: ビットレート 4Mbps 以下

用語

キャプチャ、キャプチャする
静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容(静止画や動画など)は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

動画はbitcast browserでもキャプチャできます(VALUESTAR Tシリーズのみ)。
詳しくはbitcast browserのヘルプをご覧ください。

見ている番組を録画する

1

SmartVision/TV を起動する

2

録画したいテレビ番組を表示する



3

 (録画) をクリックする

録画が始まります。

録画中は、画面左下に「番組録画中です。」のメッセージが表示されます。

4

録画を終了するときは  (停止) をクリックする

録画したテレビ番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。録画したテレビ番組を再生するときは、このPARTの「録画したテレビ番組を再生する」(p.51)をご覧ください。

また、録画終了を待たずに再生することもできます。詳しくは、このPARTの「録画しながら再生する」(p.48)をご覧ください。

録画したテレビ番組の名称は、次のルールで決定されます。

- ・番組表(ADAMS-EPG)のデータがある場合
チャンネルバーに表示されている番組名称がそのまま使われます。
- ・番組表(ADAMS-EPG)のデータがない場合
録画したときの年/月/日/時間が番組名称になります。

参照

SmartVision/TVの起動→PART2の「SmartVision/TVでテレビを見る」(p.25)

参照

テレビ番組のチャンネル切り替え→PART2の「コントロールバーを使って操作する」(p.28)

チェック!!

あらかじめ番組表を受信しておく、録画したテレビ番組は、自動的にジャンル別に保存されます。テレビ番組表を受信した後に録画することをおすすめします。

参照

- ・録画の画質と必要なハードディスク容量について→このPARTの「録画について」(p.44)
- ・テレビ番組表を受信する→PART2の「SmartVision/EPGで設定する」(p.14)
- ・SmartVision/TVの設定→このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.65)

チェック!!

コピー防止信号(マクロビジョン信号)が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号(マクロビジョン信号)が検出された場合、自動的にライブモードに切り替わります。

巻き戻して録画する

録画しない状態で見ている番組を巻き戻して録画できます。

SmartVision/TVのタイムシフトモードでは、見ている番組を録画していないときでも、一定時間の番組データをパソコンのハードディスクに書き込んでいます。書き込まれた番組データを巻き戻して録画保存します。巻き戻せる時間は、1分～90分の間で設定できます(ご購入時の状態では5分です)。

使い方

番組をしばらく見ていて、「さっきのシーンから録画しておけばよかった」というときに利用します。録画保存する場所をその都度探す必要がないので便利です。

また、「ここから録ろう」というとき、すぐに録画ボタンをクリックしても若干の誤差で採録されない部分が出るため、通常の録画のときも巻き戻してから録画すると確実です。

1

◀◀ (巻き戻し) をクリックする

カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。



2

▶ (再生) をクリックする

3

録画を開始したい場面で、● (録画) をクリックする

4

リアルタイムに追いつきたいときは、▶▶ (早送り) または ▶ (次のブックマークに進む) をクリックする

▶▶ をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

5

録画を終了するときは、■ (停止) をクリックする

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

✓ チェック!!

- ・巻き戻し録画は、あらかじめタイムシフトモードになっていないとご使用になれません。
- ・巻き戻せるのは、それまでタイムシフトモードで見ていた番組に限ります。それまで受信していなかった番組や、ライブモードで受信していた番組を巻き戻して録画することはできません。
- ・タイムシフトモードで巻き戻し中に進行しているシーンもカットされることなく、録画できます。
- ・VALUESTAR Lシリーズでは、録画画質を「VideoCD」に設定しているときは、巻き戻し録画はできません。巻き戻して録画できるのは、「標準画質」で録画中のみです。また、「高画質」、「DVD対応」で録画中は、テレビを見たり再生したりはできません。録画を終了させてから、バインダーモードで再生してください。

▶▶ (早送り) の代わりに ▶▶ (特殊再生) をクリックすると、音声付きの変速再生ができます。再生速度はこのPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.65)で変更できます。

✓ チェック!!

タイムシフトでさかのぼって録画する場合、それまですでにハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時に行われています。そのため、たとえば、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されるので、ハードディスクの空き容量にご注意ください。余分な録画データがハードディスクに保存されないのでむように、録画を終了したいシーンまで早送りしてリアルタイムに追いついてから録画停止することをおすすめします。

録画しながら再生する

録画している最中に、すでに撮ったシーンを巻き戻して再生することができます。早送り再生をして、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

使い方

予約録画し、録画を終了しないうちに帰宅したため、さっそく番組の冒頭から見始めたいときなどに利用します。

1

録画中にコントロールバーの (巻き戻し) をクリックする

2

 (再生) をクリックする

巻き戻したところから再生が始まります。

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) または  (次のブックマークに進む) をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

✓チェック!!

VALUESTAR L シリーズでは、「DVD対応」高画質で録画中は、テレビを見たり再生したりはできません。

録画を終了させてから、バインダーモードで再生してください。

録画中に一時停止や再生、早送りをして録画は中断されないでそのまま続行されています。

一時停止の代わりに録画する

見ている番組の録画を開始し、そのまま録画を続けながら、テレビ画面を一時停止し、数分後から続きのシーンを再生します。早送り再生をして、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

使い方

番組を見ている途中での電話や来客などで、設定している一時停止時間内に続きを見始めることができるかどうか分からない場合などに利用すると便利です。

1

コントロールバーの (録画) をクリックする

録画が始まります。

2

 (後ろのブックマークに戻る) をクリックする

録画を開始したところから番組を再生します。

✓チェック!!

VALUESTAR L シリーズでは、「DVD対応」高画質で録画中は、テレビを見たり再生したりはできません。

録画を終了させてから、バインダーモードで再生してください。

📖参照

録画画質を変更するには→このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.65)

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り)をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

4

録画を終了するときは、 (停止)をクリックする

 (停止)をクリックすると、録画した番組は「録画のタイトル」のリストに追加され、バインダーモードで見ることができます。

参照

録画した番組を見るには→このPARTの「録画したテレビ番組を再生する」(p.51)

ブックマーク(頭出しの印)を使う

ブックマークは、あとで繰り返し再生したいシーンなどに頭出しのための印を入れて、しおりの役目をするものです。ブックマークをつけたシーンなどが、ひとつの番組内で帯状にサムネイル表示されたものを「シーンインデックス」といいます。

ブックマークは、録画中に見ながらつけたり、再生中につけることもできます。

使い方

気に入ったシーンを静止画にしてパソコンに貼りこみたいときや後で繰り返し再生したいとき、ジャンプして再生したいときなどに便利です。

1

録画中や再生中に、後でもう一度見たい場面で (ブックマーク)をクリックする

いくつかブックマークを設定します。

2

 (後ろのブックマークに戻る)をクリックする

前のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは録画の先頭に戻ります。

3

 (次のブックマークに進む)をクリックする

次のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは録画の最後に進みます。

チェック!!

- ・ VALUESTAR Lシリーズでは、「DVD対応」「高画質」で録画中は、ブックマークを追加できません。
- ・ 場面が切り替わるころには、自動的にシーンチェンジが追加されています。
- ・ ブックマークは3秒以上の間隔で設定してください(3秒未満で設定すると、直前のブックマークが削除されます)。
- ・ ライブモードの場合、ブックマークの設定(静止画の取得)が約2秒遅れます。

録画を中断する

使い方

録画中に、以降の録画をやめたいときに使用します。

1

録画中に、 (停止) をクリックする

録画が停止すると、録画中、画面左下に表示されていた「番組録画中です」のメッセージが消えます。

✓チェック!!

録画していないときに停止ボタンをクリックすると、ライブモードになります。ライブモードになると、画面右下の時刻表示が「00:00:00」となります。これは、リアルタイム放映とのずれ時間を示す表示です。タイムシフトモードでは「- 00:01:15」などのように表示されます。タイムシフトモードに戻したい場合は、再生ボタンをクリックしてください。

📖参照

ライブモードやタイムシフトモードについて → 巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」、PART2の「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」(p.36)

録画予約する

「PART4 録画予約をする」(p.69)をご覧ください。

録画したテレビ番組を再生する

録画した番組を再生してみましょう。

タイトルを一覧から選んで再生する

1

SmartVision/TV を起動する



参照

SmartVision/TVの起動→PART2
の「SmartVision/TVでテレビを見る」(p.25)

参照

録画したデータは、ご購入時の状態では
「C:\¥Documents and Settings¥ <
ユーザー名> ¥My Documents¥My
Pictures」フォルダに保存されます。

2

モード切替ベゼルの
Bをクリックする



バインダーモードに切り替わる

3

再生したい録画番組の保存先を指定する

通常は、「SmartVision/TVの設定 について」(p.65)で指定した保存先(ご購入時の状態では「C:\¥Documents and Settings\<ユーザー名>\¥My Documents¥My Pictures」)が表示されます。変更する場合はをクリックして、番組を保存したフォルダを指定してください。



チェック!!

予約録画をしたのに、「録画のタイトル」の一覧に見たい番組のタイトルがない場合は、「SmartVision/EPG」の「予約一覧」で予約結果(→p.94)を確認してください。

参照

録画できていないときは→PART6の「録画予約した番組が録画されていない」(p.129)

4

ジャンルを選択する

テレビ番組表の情報を取得済みの場合は、録画した番組は自動的にジャンル別に分けられています。再生したい番組のジャンルをクリックしてください。

5

再生したい番組をダブルクリックする

青字で表示されている番組は、まだ再生を行っていない状態を示します。

再生が始まる



チェック!!

テレビ表示に戻りたいときは、コントロールバー(→p.28)の (入力切り替え)をクリックしてください。

• バインダーモードのウィンドウについて

プレビューエリア

「録画番組選択エリア」で選択した録画番組の先頭の映像を表示します。

録画番組選択エリア

録画したテレビ番組をジャンル別に一覧表示します。録画番組を右クリックしたメニューから、再生、名前変更、ファイルの削除、既視聴／未視聴の設定、録画番組の表示モードの切り替えを行うことができます。

情報表示エリア

「録画番組選択エリア」で選択した録画番組の詳細情報を表示します。

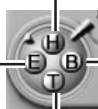
コントロールバー

録画番組の再生、削除や、CD-RやDVD-Rへの保存ができます。また、SmartVision/TVの画面を、パソコンと接続したテレビなどに表示することもできます。

モード切替ベゼル

SmartVision/TVのオンラインヘルプを起動する

EPGモードに切り替える



バインダーモードに切り替える

テレビモードに切り替える

✓チェック!!

- ・ テレビ番組表(→ p.73)を受信した後に録画した番組は、自動的にジャンル別に保存されています。
- ・ 録画した番組を、VideoStudioなどの映像編集用アプリケーションで活用する場合、「情報表示エリア」の「MPEGファイル名」に表示されているファイルを指定してください。なお、SmartGalleryを使用すると、プレビュー表示できるので、簡単にデータをさがすことができます。
- ・ 添付の「VideoStudio」以外の編集用アプリケーションを使用する場合、編集できるファイルは情報表示エリアのMPEGファイル名に表示されたもののみです。
- ・ あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

📖 参照

SmartGalleryについて→「ばそガイド」-「パソコンでできること」

ハードディスクがいっぱいになるなどして、録画したデータを削除したい場合はここから削除する番組を選んで(🗑️ 削除)をクリックして「はい」をクリックしてください。

サムネイルから見たいシーンを再生する

シーンインデックス機能を使うと、録画した番組の場面の変わり目をサムネイルで表示することができます。録画中や再生中に追加したブックマークの場面も同時に表示されます。また、サムネイルで表示された場面を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

1 をクリックする



シーンインデックスが表示される

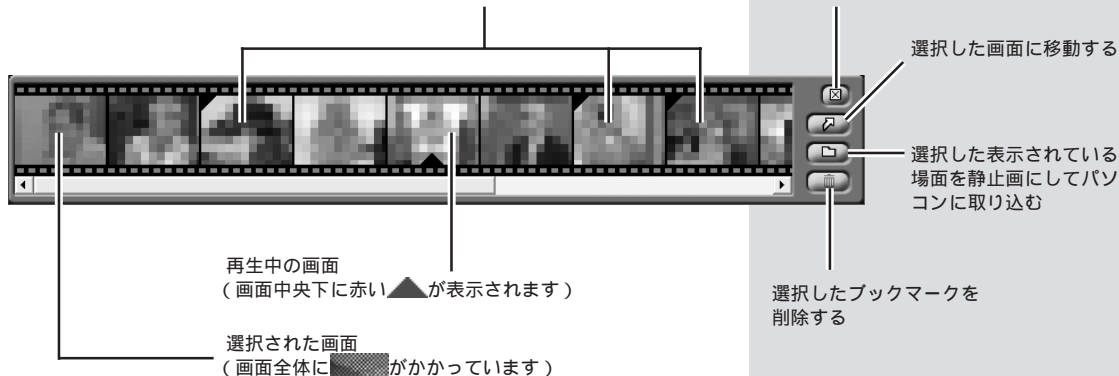
ブックマークの場面（画面左上に赤い▼が表示されます）

✓チェック!!

シーンインデックスで表示できるブックマークは64個までです。

📖参照

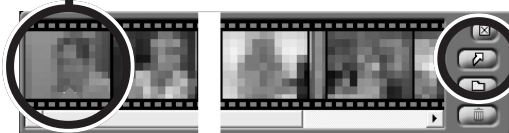
ブックマークについて→このPARTの「ブックマーク（頭出しの印）を使う」（p.49）



●見たい場面に移動する

シーンインデックス機能を使うと、サムネイルで表示されている場面に移動することができます。

1 移動したい場面をクリックする
選択された場面に黒い■がかかります



選択した場面に移動します

2 をクリックする

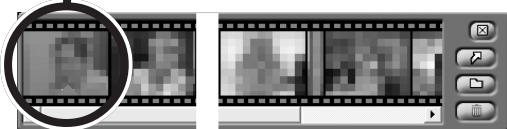
✓チェック!!

シーンインデックスで表示されている▲（再生中の場面）の位置は、短縮再生した場合、一致しないことがあります。

●必要なシーンだけ取り出す

サムネイル表示されているシーンから、必要なシーンを取り出せます。撮影したデジタルビデオのワンシーンなどを取り出して、ミニビデオレターにしてメールで送れます。

1 取り出したい最初の場面を右クリックする
選択された場面に  が掛かります



2 メニューが表示されるので、「シーンエクスポート」をクリックする

3 終了位置を指定する



4 「次へ」をクリックする

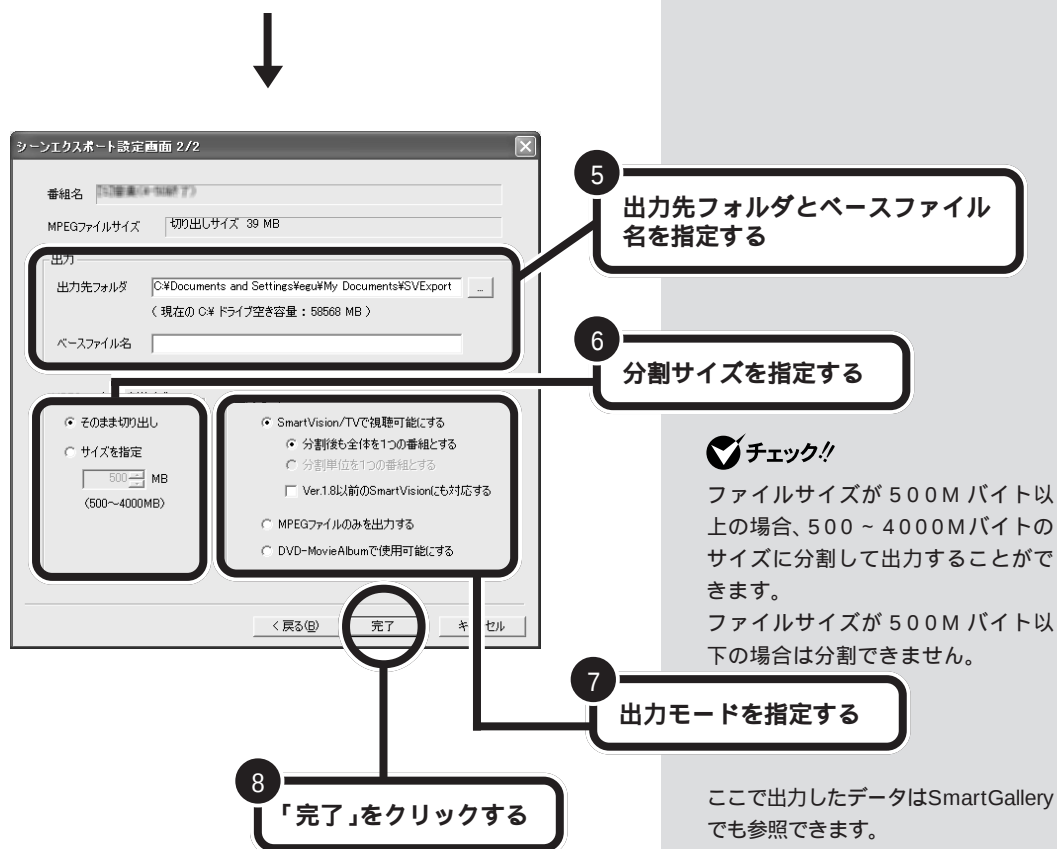


「VideoCD」画質で録画した映像は取り出せません。

抽出したファイルは VideoStudio を使って連結したり、編集したりできます。
ただし、抽出した映像データを再び連結しても、元のファイルと同じように連続した映像にならない場合があります。

参照

抽出ファイルの連結、編集について
→ VideoStudio のヘルプ



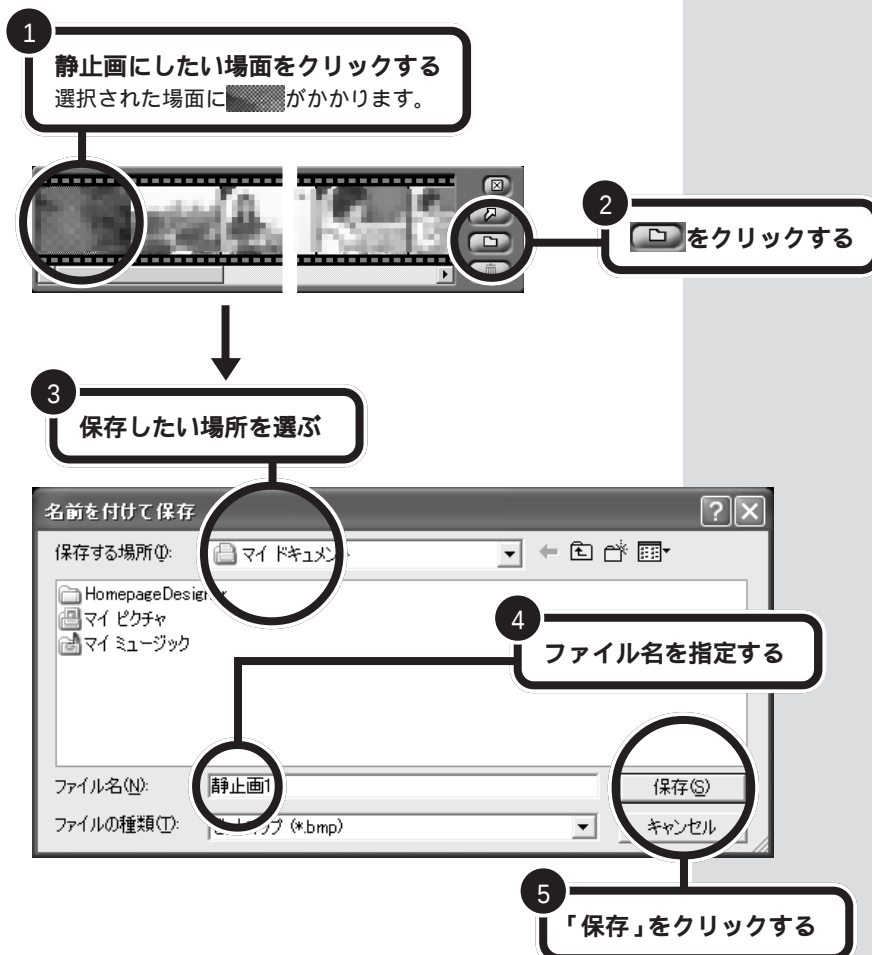
ファイルのエクスポートが始まります。

終了すると、終了を知らせる画面が表示される

9 「OK」をクリックする

● 静止画にしてパソコンに取り込む

シーンインデックス機能で表示されているサムネイルを静止画にしてパソコンに取り込むことができます。



パソコンに取り込むことのできる静止画サイズは、SmartVision/TVのモードや録画した番組の画質によって異なります。静止画のサイズは次の通りです。VALUESTAR Tシリーズのタイムシフトモード時の画質は、「SmartVision/TVの設定」(p.65)の「タイムシフト/録画画質」で設定した画質になります。

VALUESTAR Tシリーズ

ライブモード	320×240ドット
長時間録画データ	352×480ドット
標準画質録画データ	720×480ドット
高画質録画データ	720×480ドット
ユーザ設定録画データ	設定によって異なります

VALUESTAR Lシリーズ

ライブモード	320×240ドット
タイムシフトモード、標準画質録画データ	320×480ドット
高画質録画データ	640×480ドット
DVD対応録画データ	720×480ドット
VideoCD録画データ	352×240ドット

✓チェック!!

- ・ VALUESTAR Tシリーズ
長時間録画およびユーザ設定(画像サイズ352×480ドット)で静止画を取り込んだ場合は、縦長(352×480ドット)の静止画として取り込まれます。
「ペイント」などを使って縦横比の調整を行ってください。
- ・ VALUESTAR Lシリーズ
タイムシフトモードおよび標準画質で録画した番組から静止画を取り込んだ場合は、縦長(320×480ドット)の静止画として取り込まれます。
「ペイント」などを使って縦横比の調整を行ってください。

特殊再生モードを使う

録画した画像や音声を自動抽出してダイジェスト版で再生することができます(特殊再生)。

特殊再生には、次の2つのモードがあります。

- ・音声付き変速再生(購入時の設定)
シーンはカットせず、すべてのシーンを早送りで再生する方法。音声も早送りで出力されます。
- ・短縮再生
会話や字幕のあるシーンだけを通常スピードで再生する方法。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。

次の手順で、特殊再生の設定をします。

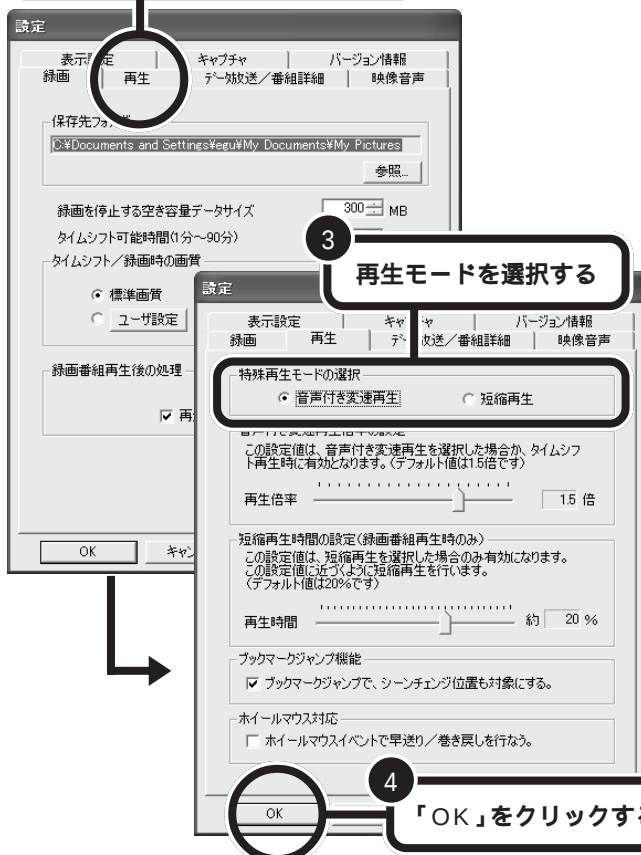
●特殊再生モードの設定をする

1

SmartVision/TV の設定)をクリックする

2

「再生」タブをクリックする



4

「OK」をクリックする

場面の切り替わるころには、SmartVision/TVが自動的に作成するブックマークが追加されています。

✓チェック!!

- ・短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り替わりや、画面下部3分の1に表示されるテロップなどを参考に画像検出を行っています。従って、映像の表示内容によっては、期待した抽出効果が得られない場合があります。
- ・VideoCD 画質で録画したデータの場合、音声付変速再生のみ行えます。



参照

SmartVision/TV の設定→このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.65)

「音声付き変速再生倍率の設定」で再生倍率を変更すると、音声付き変速再生の速さを設定できます。
「短縮再生時間の設定」で再生時間を変更すると、録画時間に対する短縮の割合を設定できます。

● 特殊再生をする

1

録画した映像の再生中に、コントロールバーの  (特殊再生) を押す

設定したモードで特殊再生が始まります。

録画データを保存する

エクスポート機能を使うと、録画した番組のデータを指定のフォルダに保存することができます。また、分割して保存することもできるので、CD-Rに保存するときにも便利です。

1

バインダーモードに切り替える

2

エクスポート(分割して保存)したい番組を右クリックして、表示されたメニューの「エクスポート」をクリックする

3

ベースファイル名(エクスポートしたファイルにつく名前)を指定して、

4

分割方法を
選択して、

5

出力モードを選択して、

6

「OK」をクリックする

エクスポートが終了する



7

「OK」をクリックする

DVD-R (DVD-RAM/R/RW モデル、DVD-R/RW モデルのみ) や CD-R にデータとして保存するときは、DVD Movie Writer や RecordNow DX などをお使いください。

ここで保存したデータは SmartGallery でも参照できます。

✓チェック!!

DVD-RAM/R/RW モデルでは、「DVD-MovieAlbumで使用可能にする」をチェックすると、DVD-MovieAlbumを使って、DVD-RAMにデータを保存できます。

📖参照

DVD-MovieAlbum について → DVD-MovieAlbum のヘルプ

抽出したファイルは VideoStudio や DVD MovieWriter を使って連結したり、編集できます。

📖参照

抽出ファイルの連結、編集について → VideoStudio および DVD Movie Writer のヘルプ

他のメディアに保存する

• CD-R や DVD-R に保存する

録画したテレビ番組は、CD-RやDVD-Rに保存しておくこともできます。ここでは、番組を一つだけ選択して直接書き込みしたときの手順を説明します。複数の番組を選択したときの手順については、DVD MovieWriterのヘルプを見ながら操作してください。

1

CD/DVD ドライブにメディア(CD-R や DVD-R など)をセットする

「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。

2

バインダーモードに切り替える



4

「直接書きこみ」をクリックする
DVD MovieWriter が起動します。

✓チェック!!

- DVD-R に保存できるのは、DVD-RAM/R/RW モデルと DVD-R/RW モデルの場合だけです。
- DVD MovieWriter がインストールされていない場合は、この機能は利用できません。「ばさガイド」-「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。
- VALUESTAR T シリーズをお使いの場合、「ユーザ設定」で録画した番組は DVD MovieWriter で DVD 形式のデータに変換する時に時間がかかる場合があります。
- VALUESTAR L シリーズをお使いの場合、「DVD 対応」以外の画質で録画した番組は DVD MovieWriter で DVD 形式のデータにするときに時間がかかる場合があります。

3

保存したい番組をクリックする
番組が反転表示されます

✓チェック!!

- 保存したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら番組をクリックすると選択できます。
- 「メニュー編集付き書き込み」をクリックしても DVD MovieWriter を起動できます。「メニュー編集付き書き込み」をクリックしたときの操作方法については、DVD MovieWriter のヘルプをご覧ください。



5

使用するドライブや
必要なディスク容量
を確認する

6

「次へ」をクリックする



7

「ディスクへの書き込み」の左が
になっていることを確認して、

8

ディスクの作成
をクリックする

ディスクの作成が始まります。画面の説明を見ながら操作してください。
詳しくは、DVD MovieWriter のヘルプをご覧ください。

チェック!!

書き込みに失敗したCD-RやDVD-Rは、再生できなくなります。書き損じによるCD-RやDVD-Rの保証はできませんのでご注意ください。

チェック!!

CD-RにDVD形式のデータを保存することもできます。詳しくは、「DVD形式のビデオデータを扱うときの注意」(p.112)をご覧ください。

チェック!!

作成したCD-RやDVD-RはJet-Audio Playerなどで再生できます。

● DVD-RAM に保存する (DVD-RAM/R/RW モデルのみ)

DVD-RAM に録画データを保存するには、DVD-MovieAlbum というソフトを使います。DVD-MovieAlbum でデータを保存するには、あらかじめ SmartVision/TV で録画したデータを、エクスポート機能を使って「DVD-MovieAlbum で使用可能にする」設定で保存しておく必要があります。

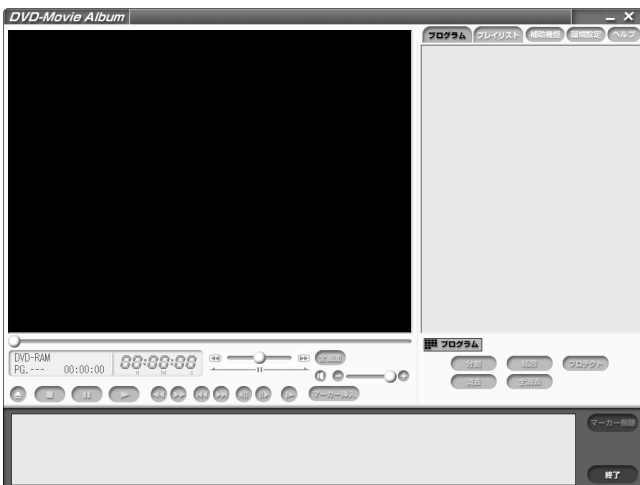
DVD-MovieAlbum で保存できるのは、次の画質で録画した番組をエクスポートしたデータです。

- ・標準画質
- ・高画質
- ・ユーザ設定
 - MPEG2 (CBR) ビットレート 2Mbps ~ 8Mbps
 - MPEG2 (VBR) ビットレート 1.2Mbps ~ 4Mbps

DVD-MovieAlbum に録画データを取り込む手順は次の通りです。

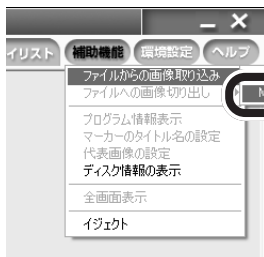
1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「panasonic」→
「DVD-MovieAlbumSE」→「DVD-MovieAlbumSE」
をクリックする
DVD-MovieAlbum が起動します。



2

「補助機能」→「ファイルからの画像取
り込み」→「MPEG の取り込み」をク
リックする
「ファイルからの画像取り込み (MPEG)」
が表示されます。



参照
エクスポート機能について→この
PART の「録画データを保存する」
(p.60)

3

「参照」をクリックする
「ファイルを開く」が表示されます。



4

保存したいファイルを選択して、「開く」をクリックする



5

「開始」をクリックする
「画像取り込みを開始します」と表示されます。

6

「はい」をクリックする



しばらくすると「取り込みが完了しました」と表示される

7

「OK」をクリックする

8

「閉じる」をクリックする



これで、DVD-MovieAlbum に録画データが取り込まれました。
DVD-MovieAlbumの使い方について詳しくは、DVD-MovieAlbumのオンラインマニュアルをご覧ください。

保存したいデータが複数あるときは、すべてのデータを取り込むまで手順3から手順7を繰り返します。

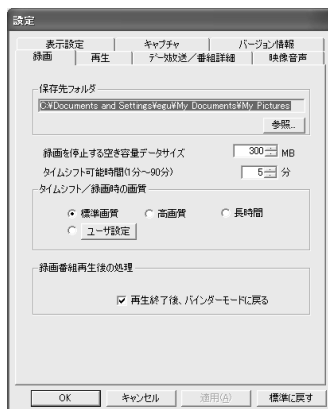
SmartVision/TV の設定について

「SmartVision/TV の設定」では、次のような設定ができます。

- ・ 録画データの保存先、録画を停止する空き容量データサイズ、タイムシフト可能時間、タイムシフト / 録画時の画質、録画再生後の処理設定
- ・ 特殊再生(音声付き変速再生、短縮再生)の選択、音声付き変速再生倍率の設定、短縮再生時間の設定、ブックマークジャンプ機能設定、ホイールマウス対応設定
- ・ SmartVision/TV動作中の地上波データ放送受信許可、SmartVision/TV 起動時の ADAMS-EPG の読み込み設定
- ・ 音声多重放送時の音声、ボリュームコントロールの使用方法、画面のカラー調整
- ・ WIDE モニタ使用時の全画面設定、オンスクリーンディスプレイ機能、ライブモード コーミング設定
- ・ 静止画キャプチャの保存先
- ・ GR(ゴーストリデュース)の設定(VALUESTAR T シリーズ)



設定の画面が表示される



この画面で設定をします。設定方法について詳しくは、SmartVision/TV のオンラインヘルプをご覧ください。

チェック!!

「タイムシフト / 録画時の画質」を「高画質」に設定すると、高画質タイムシフトを行えます。

参照

録画の画質と必要なハードディスク容量について→この PART の「録画について」(p.44)

VALUESTAR L シリーズでは画面のカラー調整はできません。

チェック!!

「DVD 対応」は、VALUESTAR L シリーズにだけ表示されます。

SmartGallery で簡易再生する

SmartVision/TVで録画したデータは、SmartGalleryで一覧表示し、簡易再生としてみるができます。

📖 参照

SmartGallery について → 🖱️ 「パソコンガイド」-「パソコンでできること」

1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Smart Gallery」→「SmartGallery3.1」をクリックする

「SmartGallery」が表示される

2

「カテゴリ」をクリックする



3

「TV」をクリックする



4

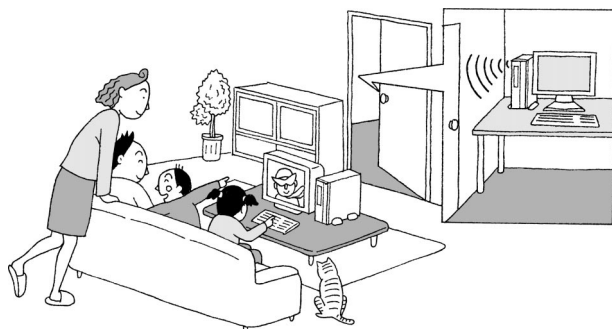
再生コントロールバーの ▶ をクリックする

簡易再生がはじまります。

SmartVision/TVで再生したいときは、サムネイルを右クリックし、表示されたメニューの中から「開く」-「SmartVision」をクリックしてください。簡易再生の途中でこの操作をすると、続きから SmartVision/TV で再生できます。

録画した番組を別の部屋のパソコンで見る

このパソコンのハードディスクに録画した番組は、LANを使ってご家庭にあるもう1台のパソコンで再生できます(VALUESTAR Tシリーズのみ)。



参照

詳細について→付録の「録画データをLAN接続した他のパソコンから見る」(p.148)

P A R T

4

録画予約をする

「SmartVision/ TV」では、ビデオのようにテレビ番組を録画予約することができます。録画予約は、テレビの番組表をパソコンに取り込んで、その番組表から予約できます。また、ジャンルや出演者など、いろいろな条件で番組を探したり、外出先から録画予約をしたりと、便利な機能がいろいろあります。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

録画予約のための設定をする

このパソコンで録画予約をするには、あらかじめいくつかの設定をする必要があります。

Windows のパスワードの設定をする

SmartVision/EPGで定期的に番組表を取得したり、番組予約の機能を利用するには、Windows ログオン時にパスワード設定し、省電力状態からの復帰時にその入力进行を要求しないように設定を変更する必要があります。

●録画時のご注意

SmartVision TV録画予約サービスクライアントを利用するときは、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者の権限をもったユーザーでログオンしてください。

制限付きアカウントのユーザーではご利用になれません。

●省電力状態からの復帰時にパスワードを設定する

Windowsのログオン時のパスワードを設定します。すでに設定している場合は、この操作は不要ですので、「スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する」(p.71)に進んでください。

1

スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックする

2

「ユーザー アカウント」をクリックする

3

パスワードを設定するアカウント(ユーザー名)をクリックする

4

「パスワードを作成する」をクリックする



ユーザーアカウント画面が表示される

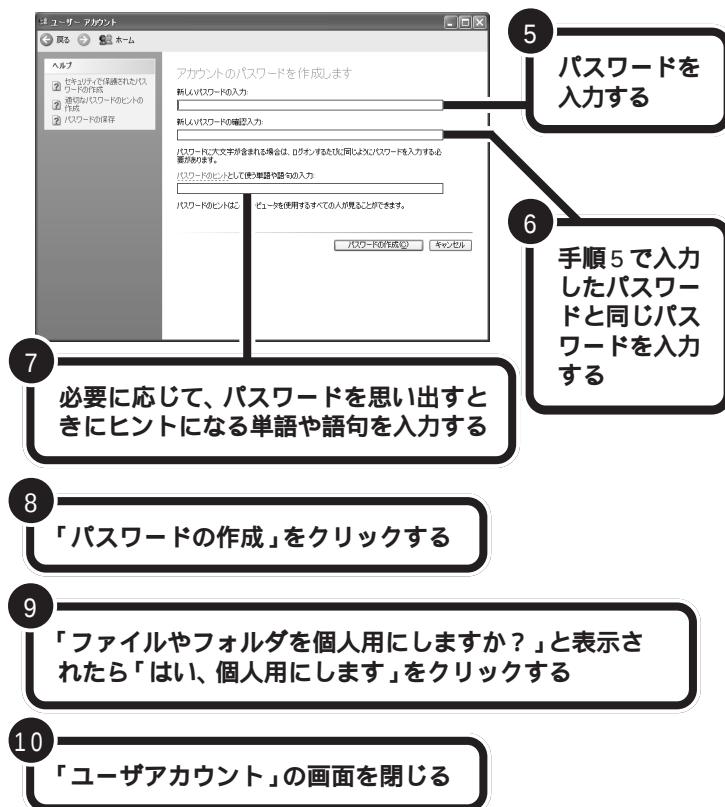
✓チェック!!

複数ユーザーで、このパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーについて、この設定を行ってください。

✓チェック!!

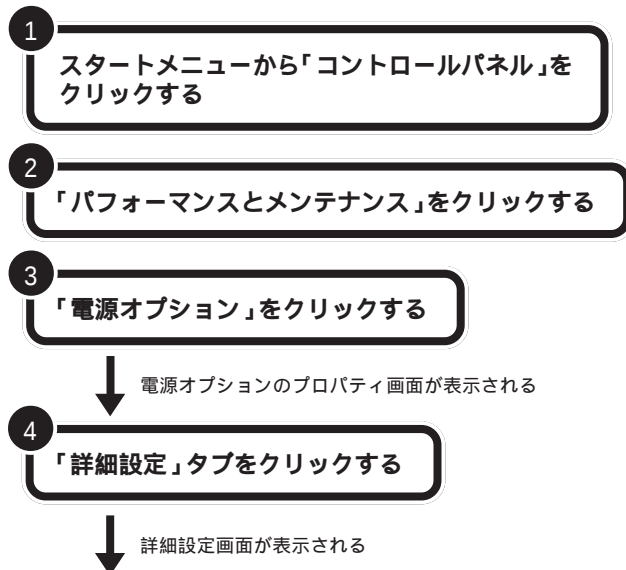
複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、SmartVision/EPGで、視聴・録画予約を設定したり、番組表の受信をするときには、次のことにご注意ください。

- ・ SmartVision / TV および SmartVision / EPG を起動中には、ユーザー切り替えを行わないでください。
- ・ 設定した時間の5分前には、予約したユーザーでパソコンにログオンしてください。
設定したユーザーと異なったユーザーでログオンしている場合、視聴・録画予約、番組表受信ともに失敗になります。
- ・ 予約後に省電力にする場合、予約したユーザーでログオンされている状態で、省電力にしてください。
パソコンが復帰するときには、省電力状態になる前のユーザーでログオンして復帰になるので、予約が実行できます(ほかのユーザーでログオンし省電力にした場合、Windows側で自動的に、予約したユーザーに切り替えて復帰することはありません)。



●スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

この設定を変更する場合は、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者の権限をもったユーザーでログオンしてください。制限付きアカウントのユーザーでは設定を変更できません。



✓チェック!!

SmartVision/EPG の設定画面で「ログオンパスワード」を入力するとき、ここで作成したパスワードの入力が求められます (p.72)。
パスワードが間違っていると、録画予約などの機能が使えません。必要であれば、忘れないようにメモしておいてください。メモしたパスワードは、ほかの人に知られないように保管してください。

✓チェック!!

ご購入時では、スクリーンセーバーは「なし」に設定されていますが、スクリーンセーバーを表示するよう設定を変更している場合は、次の手順で、パスワードの確認画面が表示されないような設定になっているかを確認してください。

1. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。
2. 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする。
3. 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする。
4. 「パスワードによる保護」(パソコンを一人のユーザーでお使いの場合)または「再開時によこそ画面に戻る」(パソコンを複数ユーザーでお使いの場合)のチェックボックスが ☐ になっているか確認する。チェックが付いている場合は、クリックして ☐ にする。
5. 「OK」をクリックする。



5
☑(オン)になっている場合は、
クリックして☐(オフ)にする

制限ユーザーまたはゲストアカウントでログオンしている場合は、手順5で設定を変更できません(アクセス権限など)。管理者権限をもったユーザーでログオンしたときに設定をオフにしていれば、この設定が有効になります。

6
「OK」をクリックする

7
「パフォーマンスとメンテナンス」を閉じる

• SmartVision/EPG のパスワードを設定する

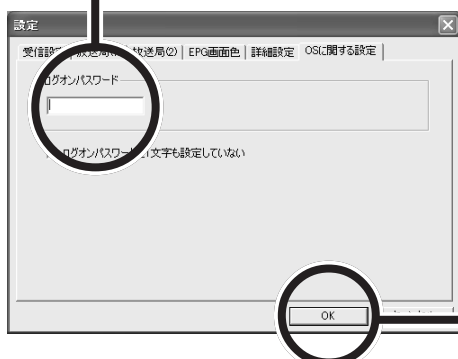
1
SmartVision/EPG を起動する

2
⚙️(設定)ボタンをクリックする

3
「OSに関する設定」タブをクリックする

設定画面が表示される

4
Windows 起動時のパスワード(p.71)と同じパスワードを入力する



5
「OK」をクリックする

省電力モードに関するメッセージが表示される

6
「OK」をクリックする

番組表を使う

クリックすると予約もできる番組表を使ってみましょう。

番組表を見る

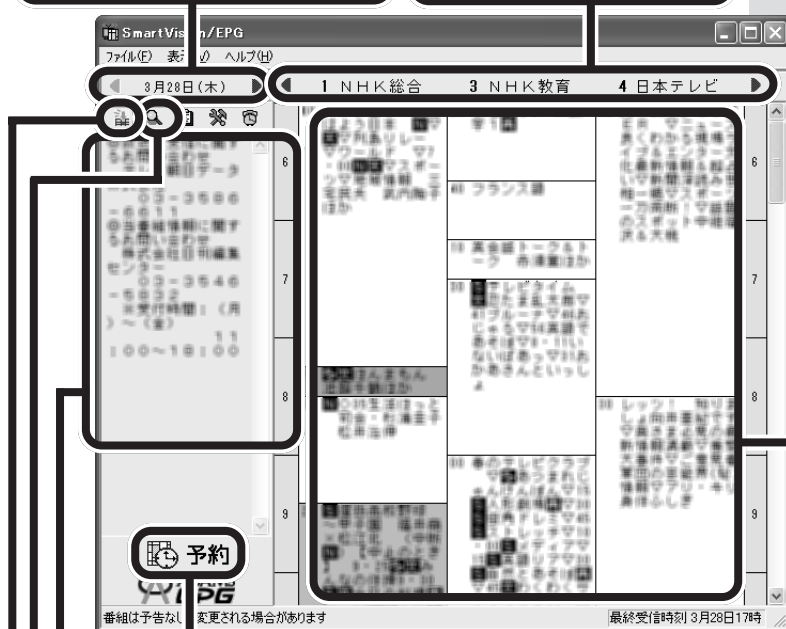
このパソコンで番組表(EPG)を見るには、SmartVision/EPG と SmartVision/TV の EPG モードでの 2 通りの方法があります。ここでは、自動更新の設定などの機能を備えた SmartVision/EPG での方法について説明します。

日付

◀ ▶ をクリックすると日付が変わり、その日付の番組表が表示されます。

放送局

◀ ▶ をクリックすると放送局と番組表の表示が変わります。



予約

クリックすると、予約設定の画面が表示されます。

詳細情報

選択されている番組の放送局名、放送時間と説明を表示します。

🔍 (検索ボタン) をクリックすると、番組を検索できます。検索結果から録画予約もできます。

🗨 (お知らせボタン) をクリックすると、予約した番組と同じ番組名の番組が表示されます。表示結果から録画予約もできます。

番組表示部

番組はジャンル別(ドラマ、映画、スポーツなど)に色分けして表示されています。番組をクリックすると、詳細情報が左側に表示されます。ダブルクリックすると、予約設定の画面が表示されます。

SmartVision/EPG の「EPG」は、Electric Program Guideを略したものです。

番組の上にマウスポインタを移動させると、欄内に表示しきれていない文字を表示できます。

参考

- ・ SmartVision/EPG の起動方法 → PART2 の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14)
- ・ ご購入後、まだ番組表の受信設定を行っていない場合 → PART2 の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14)
- ・ SmartVision/TV の EPG モードの画面について → PART2 の「画面の説明」(p.27)

参考

番組表を検索して録画予約する → この PART の「番組を検索して予約する」(p.85)

● 番組表について

番組表は、ADAMS 放送の 1 コンテンツとして放送されています。ADAMS 放送は、それぞれの地域のテレビ朝日系列の放送局から受信されます。現在、北海道、東京、名古屋、大阪地区では 8 日分の番組情報を、その他の地域では 2 日分の番組情報を放送しています。

各地域の ADAMS 放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2002 年 3 月現在)。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日

番組表を自動受信できるようにする

番組表のデータを次からは自動的に受信できるようにしましょう。自動受信するには、SmartVision/EPG で受信時刻を指定して自動起動させます。

● SmartVision/EPG を自動起動させる方法

パソコンの起動と同時に SmartVision/EPG が自動起動するように設定すれば、設定した時刻に番組表を自動受信できます。

- 1 (設定) をクリックする
- 2 ADAMS 放送を行っているチャンネルになっていることを確認する

ADAMS 放送を受信できる放送局については、p.16 をご覧ください。チャンネルは、PART 2 の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14) で設定したプリセットの番号を選択します。
- 3 「受信時刻」を選択する

クリックした時間帯が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると複数の時間帯を選択できます。

✓チェック!!

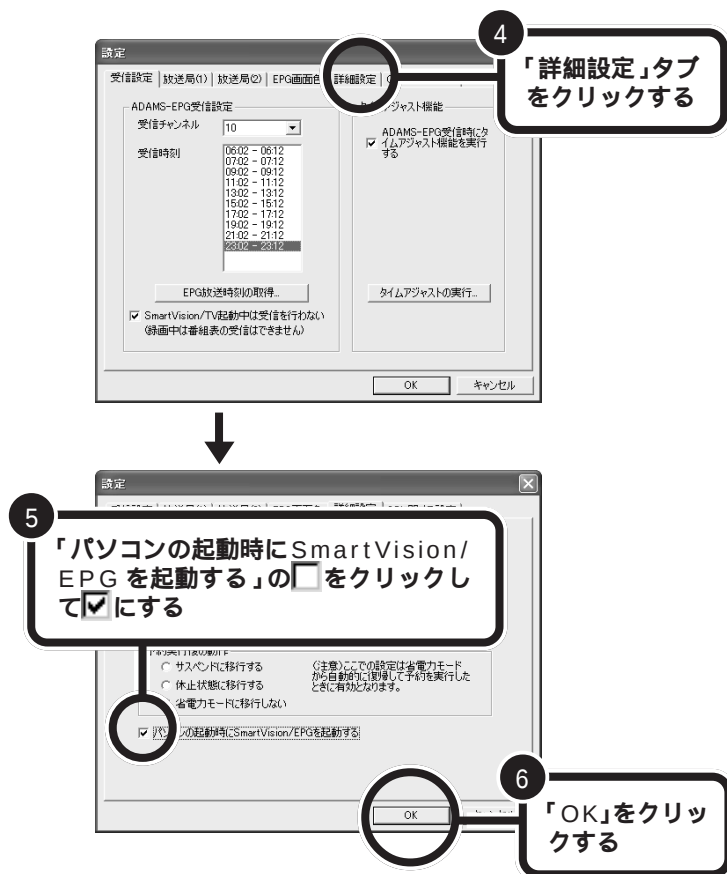
予約実行中は設定ダイアログを開けません。

✓チェック!!

番組表は ADAMS 放送の 1 コンテンツとして受信されます。ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを設定していないと、番組表は受信できません。また、受信中にチャンネルを変更しても番組表を受信できません。

反転表示された時間帯を【Ctrl】を押したままクリックすると、選択を解除できます。

制限ユーザの場合、タイムアジャスト機能は利用できません。コンピュータの管理者の権限をもったユーザでログオンしてください。



次回起動時から、パソコンを起動すると同時に SmartVision/EPG が起動して、画面右下の通知領域に が表示されます。設定した時間になると、番組表を受信します。
通知領域に が表示されない場合は、予約時間の 5 分前に起動します。

「スタート」「終了オプション」で「スタンバイ」(または「休止状態」)を選択して、パソコンを省電力状態にしても、受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

✓チェック!!

- 受信時刻に bitcast browser でテレビを見ていた場合は、番組表を受信できません。
- 「自動起動にする」を ☒ にした状態で SmartVision をアンインストールすると、「C:\¥Documents and Settings ¥<ユーザー名> ¥スタート メニュー¥プログラム ¥スタートアップ」フォルダにショートカットが残ります。

番組お知らせ機能を使う

番組お知らせ機能を使うと、番組表から録画予約した番組と同じ名前の番組を受信済みの番組表から探して表示します。
番組お知らせ機能から録画予約もできます。



↓ 「予約した番組名でのお知らせ」画面が表示される

✓チェック!!

番組お知らせ機能で表示されるのは、番組表を使って録画予約した番組と同じ名前の番組だけです。手動で録画予約した番組については、表示されません。



2

番組表で録画予約した番組と同じ名前の番組が表示される

番組を選択して「予約」をクリックすると、録画予約の画面(p.82)が表示されます。

SmartVision/EPG ご利用時の注意

- ・ SmartVision/TVの視聴中にEPG受信時刻2分前になると、自動的にADAMS 放送を行っているチャンネルに切り替わります。このとき、EPG 受信前にチャンネルを変更すると番組表を受信できません。
- ・ 「ADAMS-EPGデータ(番組表)が受信されていません。SmartVision/EPGの「受信設定」画面で受信時刻を確認の上、受信時刻の5分前までにパソコンを起動させてください。」と表示された場合は「OK」をクリックしてください。
- ・ ご購入時は、SmartVision/TV が起動しているときには番組表を受信しない設定になっています。これを解除したい場合は、「設定」ウィンドウ(→ p.74)の「受信設定」タブの「ADAMS-EPG 受信設定」で、「SmartVision/TV 起動中は受信を行わない」のチェックを☐ (オフ)にしてください。
- ・ 「設定」ウィンドウ(→ p.74)の「受信設定」タブの「ADAMS-EPG 受信設定」の「EPG 放送時刻の取得」ボタンで、番組表の放送時刻を受信できます。
- ・ パソコンの時計が大幅にずれていると、番組表を受信できません。

参照

時計を自動的に合わせる方法 → PART 2 の「SmartVision/EPGで設定する」(p.14) またはこのPARTの「パソコンの時計を合わせる」(p.78)

SmartVision/EPG の番組表を終了する

1

✕ をクリックする



録画予約についての設定をする

SmartVision/EPGで、録画予約の詳細設定を行うことができます。ここで設定するのは、予約実行後のパソコンの動作です。

● 予約実行後のパソコンの動作

この設定は省電力状態から予約録画を実行した場合のみ有効となります。予約録画が終了したあとに、パソコンを省電力状態にするか、電源が入ったままにするかを選べます。

・ サスペンドに移行する

予約録画が終了すると、パソコンがスタンバイ状態になります。

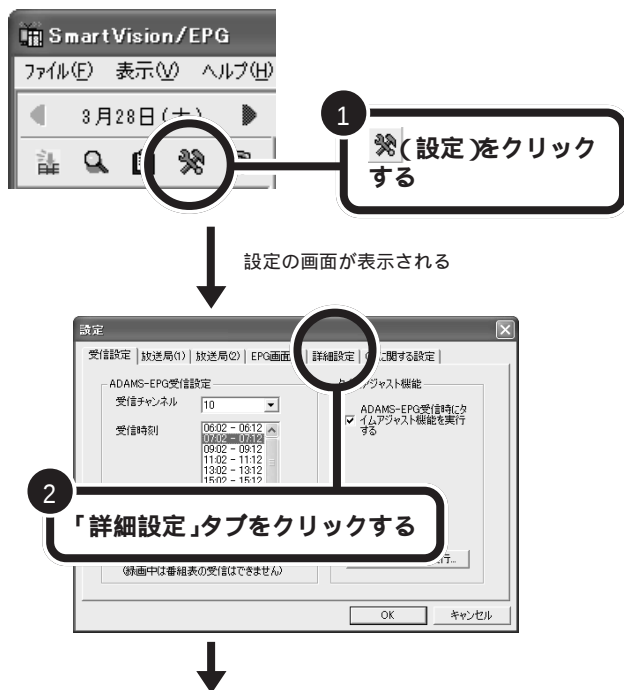
・ 休止状態に移行する

予約録画が終了すると、パソコンが休止状態になります。

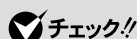
・ 省電力モードに移行しない(ご購入時の設定)

予約録画が終了した時点で、パソコンを休止状態またはスタンバイ状態にしない設定です。

● 設定方法



録画予約について→このPARTの「予約する」(p.80)



✓チェック!!

- ・ 録画予約を行うには、必ずパスワードに関する設定も行ってください。

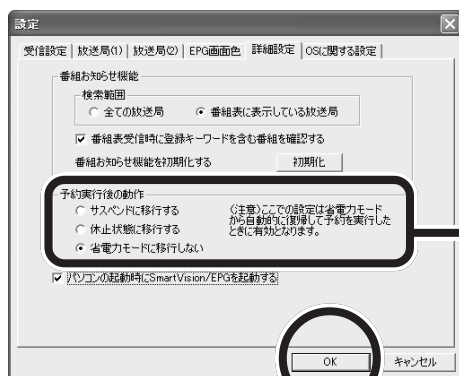
Windowsのパスワードについて→このPARTの「Windowsのパスワードの設定をする」(p.70)

SmartVision/EPGのパスワードについて→このPARTの「SmartVision/EPGのパスワードを設定する」(p.72)

- ・ VALUESTAR Lシリーズでは、「DVD対応」高画質で録画中は、テレビを見たり再生したりはできません。

録画を終了させてから、バインダーモードで再生してください。

- ・ このパソコンを複数のユーザーでご利用の場合には、設定した時間の5分前には、この設定を行ったユーザーでログオンしてください。設定時間まで、パソコンを省電力状態にしておくときも、この設定を行ったユーザーでログオンしている状態で省電力状態にしてください。



3 予約実行後の動作の を にして選ぶ

4 「OK」をクリックする

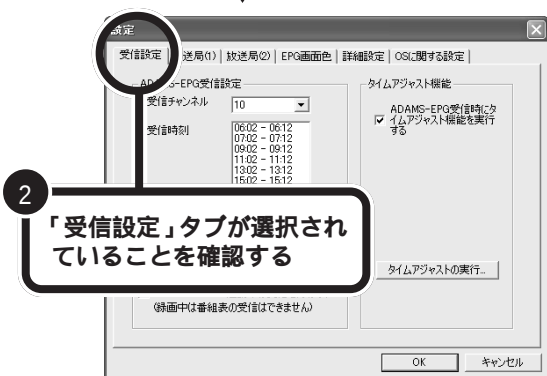
パソコンの時計を合わせる

テレビの録画予約をするときに、パソコンの時計がずれていると、正しい時間に録画ができなくなります。「SmartVision/EPG」の「タイムアジャスト機能」を使えば、テレビ電波で送られてくる時刻信号を利用してパソコンの時計を正しい時刻に保つことができます。
ご購入時には、テレビ番組表を受信したときに自動的に時刻合わせをする設定になっています。

1 (設定) をクリックする



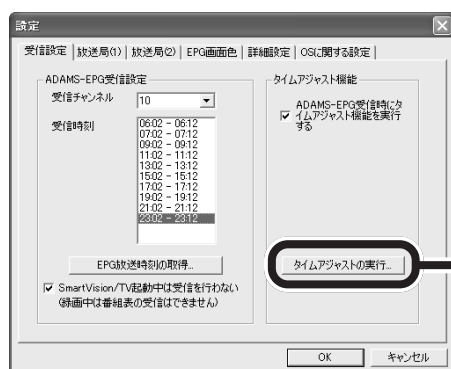
「設定」ウィンドウが表示される



2 「受信設定」タブが選択されていることを確認する

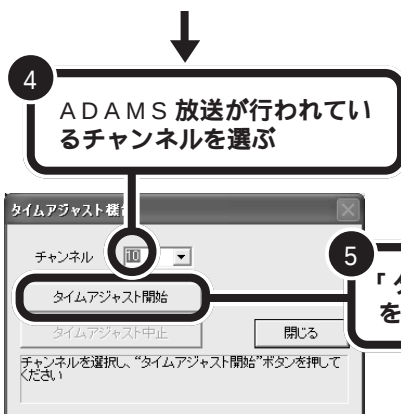
チェック!!

「ADAMS-EPG 受信時にタイムアジャスト機能を実行する」のチェックが (オフ) になっているときは、クリックして (オン) にすることをおすすめします。



3 「タイムアジャストの実行」をクリックする

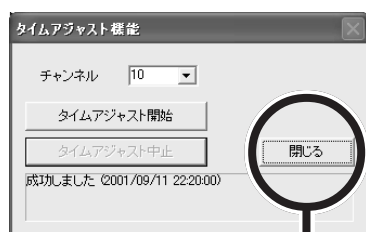
受信中は「しばらくお待ちください」と表示されます。



5 「タイムアジャスト開始」をクリックする

受信中の画面になる

受信が成功すると、この画面が表示されます。



6 「閉じる」をクリックする

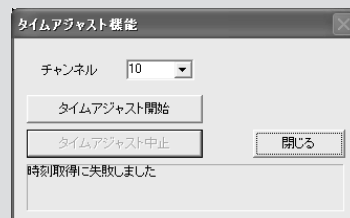
「設定」ウィンドウに戻る

7 「設定」ウィンドウの「OK」をクリックする

各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2002年3月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日

ADAMS放送を行っていない放送局が選択されていたなどの理由で、受信できない場合は受信を開始してから約70秒後に下の画面が表示されます。



参照

ADAMS放送について → パソコンでできること

予約する

テレビ番組の録画予約をしてみましょう。予約には SmartVision/EPG を使います。予約した時刻になると、SmartVision/TV が起動して、自動的に録画が始まります。

予約する前に次のことをご確認ください。

- ・ Windows のログオン時のパスワードおよびそれと同じパスワードを SmartVision/EPG に設定しておく必要があります。
- ・ 予約までの時間を省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰する際にパスワード入力画面が表示されない設定にしておくことが必要です。
- ・ 予約が実行される5分前までに、予約した人でログオンされていることが必要です。

チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

SmartVision/TV の EPG モードから予約する方法もあります。

参照

EPG モードについて→この PART の「SmartVision/TV の EPG モードで録画予約する」(p.96)

参照

SmartVision/EPG のパスワード設定について→この PART の「SmartVision/EPG のパスワードを設定する」(p.72)

SmartVision/EPG を起動する

1

「SmartVision/EPG」を起動する

SmartVision/EPG が表示される



初回起動時など、データがないときは、番組表の受信設定画面が表示されます。この場合は、番組表の受信設定をしてください。

参照

番組表の受信設定について→PART2 の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14)

番組表を使って予約する

受信したテレビ番組表を使って、テレビ番組の録画を予約してみましょう。

1 ◀ または ▶ をクリックして
予約したい日付を表示する

2 ◀ または ▶ をクリック
して予約したい放送局名
を表示する

3 上下にドラッグして予約
したい時間帯を表示する

4 予約したい番組名をクリックする

5 予約 をクリックする

予約設定の画面が表示される

番組を録画するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

参照

日付と時刻の設定のしかた → 『パソコンガイド』「トラブル解決Q&A」「よくある質問」

タイムアジャスト機能を使って、パソコンの時刻を設定することもできます。

参照

タイムアジャストについて → このPARTの「パソコンの時計を合わせる」(p.78)

録画予約は、現在の時刻から3分以上あとの番組が対象です。

番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

6

「番組名」「予約日」「開始時刻」「終了時刻」
「チャンネル」「繰り返し」「音声モード」を確認する

希望の画質が
選択されている
ことを確認
する

8

「OK」をクリックする

これで番組の予約ができました。

● 予約設定のウィンドウについて

繰り返し

- ・ 1 回のみ
1 回だけ録画します。
- ・ 毎日
毎日同じ時刻に録画します。
- ・ 毎週
毎週同じ曜日の同じ時刻に録画します。
毎日、毎週の予約は連続ドラマなどを録
画するときに便利です。

音声モード (音声多重放送時のみ)

- ・ 主音声
主音声のみ録音します。
- ・ 副音声
副音声のみ録音します。
- ・ 主 + 副音声
主音声、副音声の両方を録音します。
モノラル放送、ステレオ放送の場合は、設
定に関係なく放送通りに録音されます。

サイズ

録画に必要なおおよそのハードディスク容量が表示されます。各画質ごとの録画に必要なハードディスク容量について詳しくは、PART3の「録画について」(→ p.44)をご覧ください。
録画に必要な空き容量が残っていないときは、エラーメッセージが表示されます。

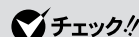
モード

VALUESTAR L シリーズ

- ・ 視聴
録画はしませんが、予約した時刻になると番組を表示します。
- ・ 標準 / 高画質 / DVD 対応 / VideoCD
録画する画質を設定します。詳しくはPART3の「録画について」(→ p.44)をご覧ください。
- ・ データ放送
予約した時刻になるとADAMSナビが起動します。

VALUESTAR T シリーズ

- ・ 視聴
録画はしませんが、予約した時刻になると番組を表示します。
- ・ 高画質 / 標準画質 / 長時間 / ユーザ設定
録画する画質を設定します。詳しくはPART3の「録画について」(→ p.44)をご覧ください。
- ・ データ放送
予約した時刻になるとADAMSナビが起動します。



録画予約を行って録画する番組は、巻き戻し録画できません。

●省電力状態にする

視聴・録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを省電力状態にしておきます。予約した時間になると、パソコンは自動的に復帰し、SmartVision/TV が起動して自動的に録画を始めます。



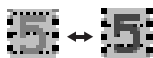
2

パソコンを省電力状態にする
ご購入時には 20 分なにも操作しないと自動的に省電力状態になるよう設定されています。

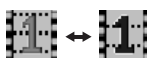
●録画予約を実行する

録画予約の開始時刻が近づき、予約開始 5 分前になると、画面右下のタスクトレイの  の表示が変わり、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせてくれます。

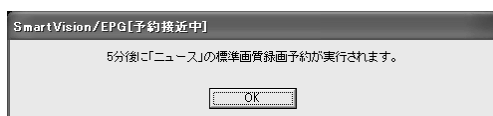
5 分前



1 分前



また、予約モードや番組名を表示します。



パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。録画に使用するソフトが起動している場合は、終了する必要はありません。

録画が始まると、画面右下のタスクトレイの  が  に変わります。録画が終了すると、 の表示に戻ります。

✓チェック!

予約後にパソコンを省電力状態にしておく場合、パスワードの設定と、省電力からの復帰時にパスワード確認画面を表示しない設定とが必要です。パスワードについて→このPARTの「Windows のパスワードの設定をする」(p.70)

📖参照

省電力状態について→『もっと知りたいパソコン』PART4の「省電力機能」

ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週1回程度は、ディスクデフラグ(「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「ディスクデフラグ」)を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスクデフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに実施してください。

📖参照

ディスクデフラグについて→ 「ばそガイド」-「パソコンでできること」

✓チェック!

パソコンが省電力状態になると、消費電力が低く抑えられます。

番組表を受信するために、パソコンの時刻を正しく設定してください。

📖参照

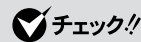
- ・日付と時刻の設定のしかた→ 「ばそガイド」-「トラブル解決 Q&A」-「よくある質問」-「日付と時刻を合わせたい」
- ・タイムアジャストについて→このPARTの「パソコンの時計を合わせる」(p.78)

SmartVision/TVが起動していない場合は、予約開始時刻約2分前になると、SmartVision/TVが自動起動します。

● 視聴予約やデータ放送の予約内容を実行する

視聴予約をして、SmartVision/TVが起動されていない場合には、予約開始時刻の約2分前になると、SmartVision/TVが自動起動して番組を表示します。

データ放送予約で起動するアプリケーションは、ADAMSナビです。



bitcast browser や Jet-Audio Player など、SmartVision/TV 以外の映像を表示するソフトが起動していると、SmartVision/TV は起動できません。



ADAMSナビについて → ばそガイド - 「パソコンでできること」

番組表を使わないで予約する

録画予約したい時刻までに番組表が受信できないなど、番組表を使った予約ができないときは、手動で予約できます。

1

(手動) をクリックする



「予約設定」ウィンドウについて → この PART の「予約設定のウィンドウについて」(p.82)



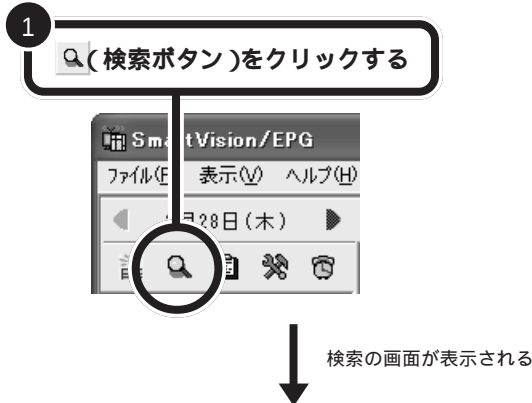
画質についてはPART3の「録画について」(p.44)をご覧ください。

これで番組の予約ができました。

番組を検索して予約する

番組表のデータからジャンルや出演者などのキーワードを指定して番組を検索して予約ができます。

● ジャンルや出演者で検索する

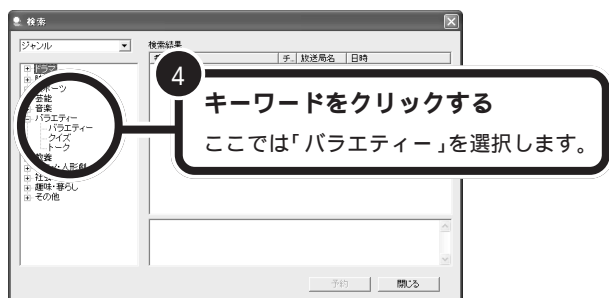
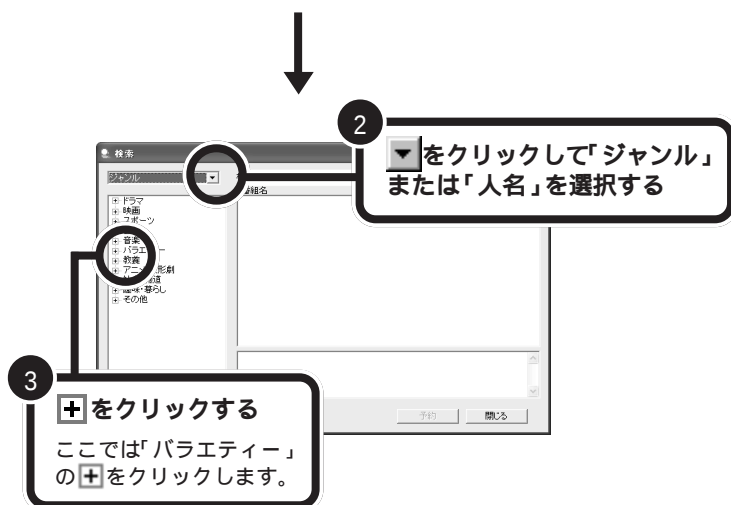


✓ チェック!!

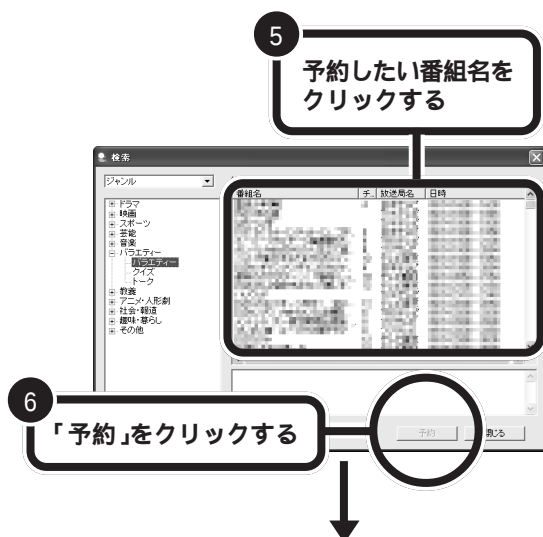
番組表のデータがない場合、番組を検索できません。

📖 参照

番組表の受信の設定について→PART2の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14)



↓ キーワードに関連のある番組が表示される

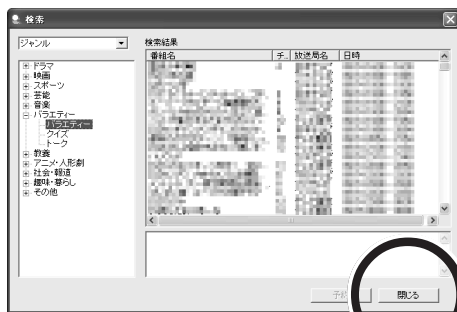


7 「番組名」「予約日」「開始時刻」「終了時刻」「チャンネル」「繰返し」「音声モード」を確認する



8 希望の画質が選択されていることを確認する

9 「OK」をクリックする



10 「閉じる」をクリックする

これで番組の予約ができました。

「予約設定」ウィンドウについては、「予約設定のウィンドウについて」(p.82)をご覧ください。

✓チェック!!

VALUESTAR L シリーズでは、「DVD対応」高画質で録画中は、テレビを見たり再生したりはできません。
録画を終了させてから、バインダーモードで再生してください。

🔍(検索ボタン)をクリックする

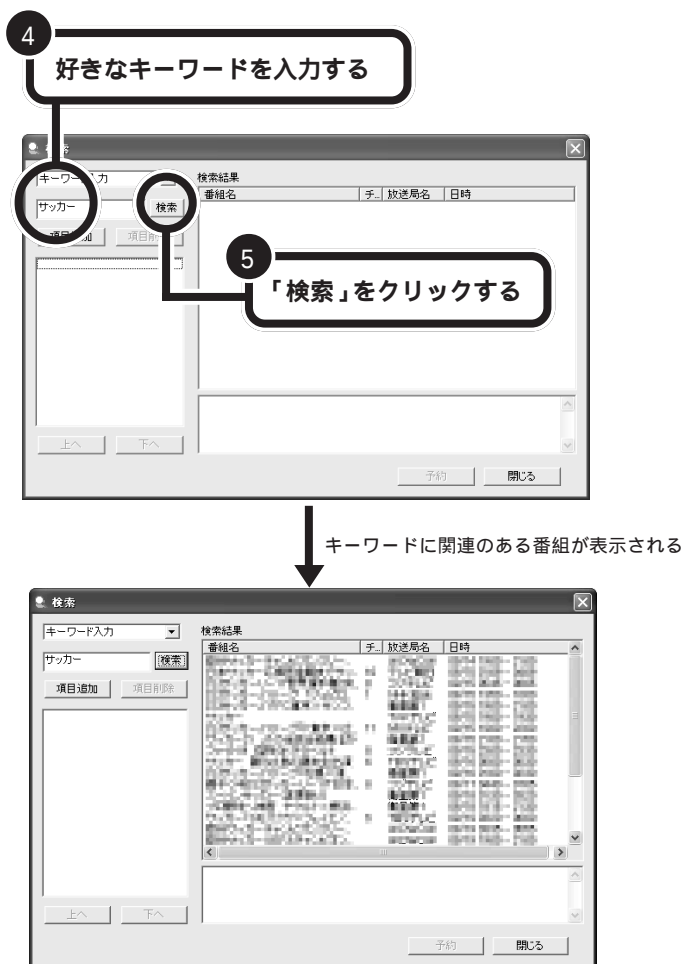


検索の画面が表示される

▼をクリックする

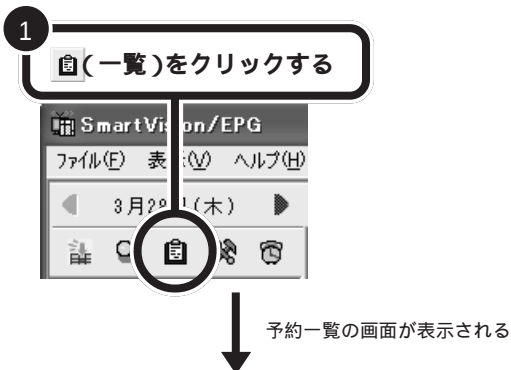


「キーワード入力」をクリックする



あとは、「ジャンルや出演者で検索する」(p.85)の手順 5 以降を行って、番組の予約を完了させてください。

予約の確認や変更をする

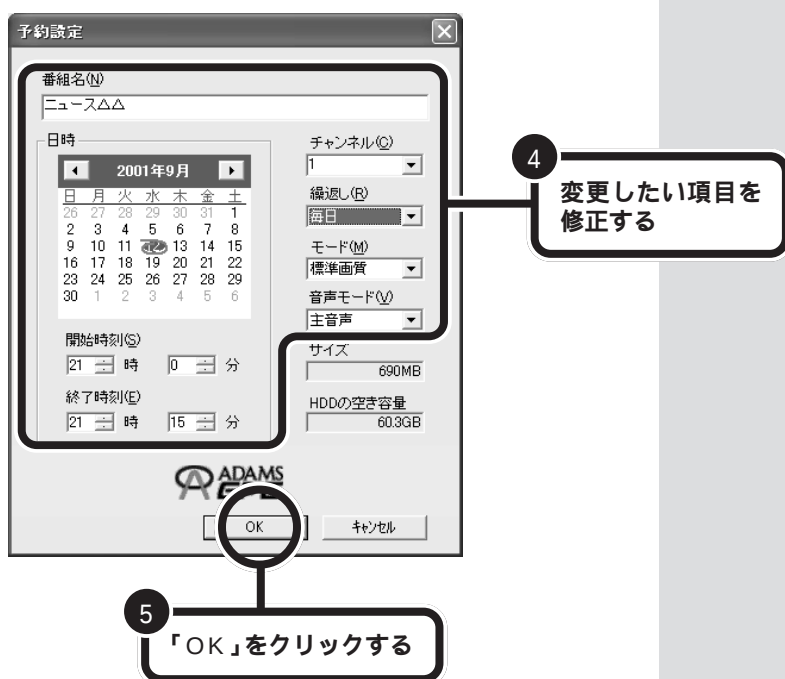
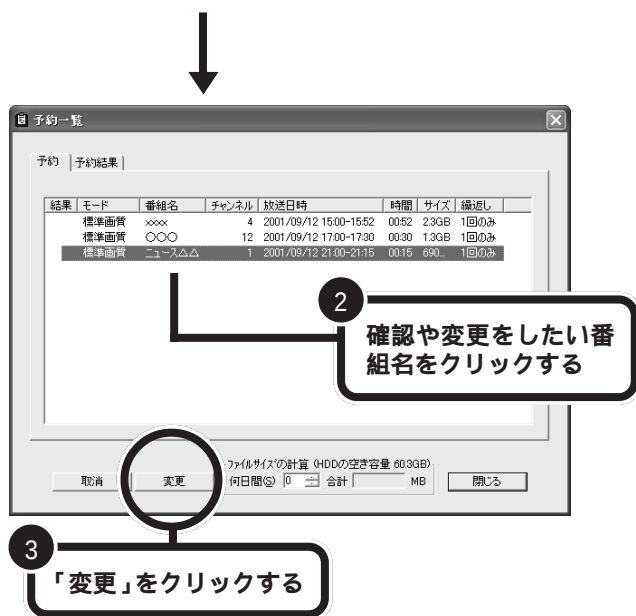


探したい番組に関連するキーワードを入力してください。キーワードを複数入れたいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入れてください。

✓チェック!!

SmartVision/EPG には、ユーザーの録画予約操作から好みの番組タイトルや人名などを判別し、キーワードとして自動抽出する機能があります。キーワードが自動抽出された場合、「予約設定」ウィンドウ(→ p.82)の下部に「キーワード登録」が表示されます。そこで登録したキーワードは、手順 4 のウィンドウの左に表示され、ダブルクリックで番組検索が行えるようになります。

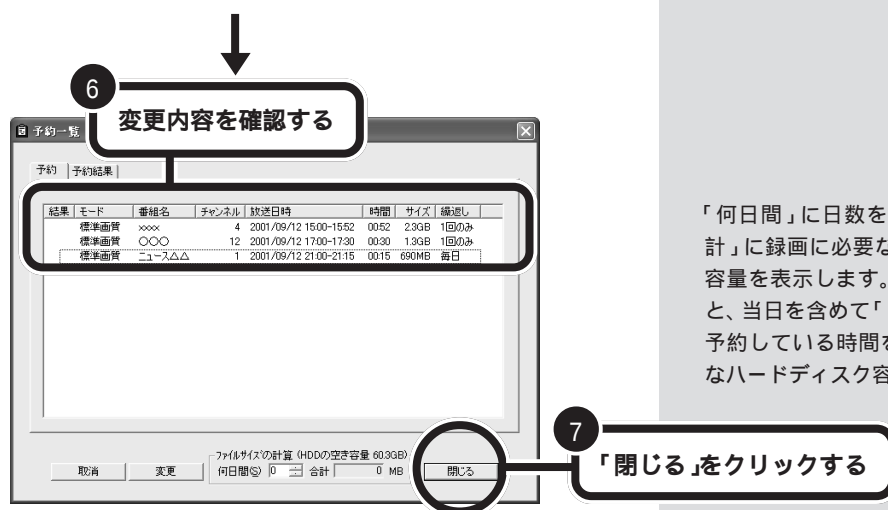
予約一覧は、タスクトレイの SmartVision/EPG を右クリックして表示されるメニューから「予約一覧」をクリックして表示することもできます。



確認や変更をしたい番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

予約を取り消したいときは、取り消したい予約の番組名を選択して「取消」をクリックします。

予約結果の確認もできます。予約結果は、「予約結果」タブをクリックすると表示されます。



「何日間」に日数を設定すると、「合計」に録画に必要なハードディスク容量を表示します。「3」と設定すると、当日を含めて「3日」の間に録画予約している時間を合計して、必要なハードディスク容量を表示します。

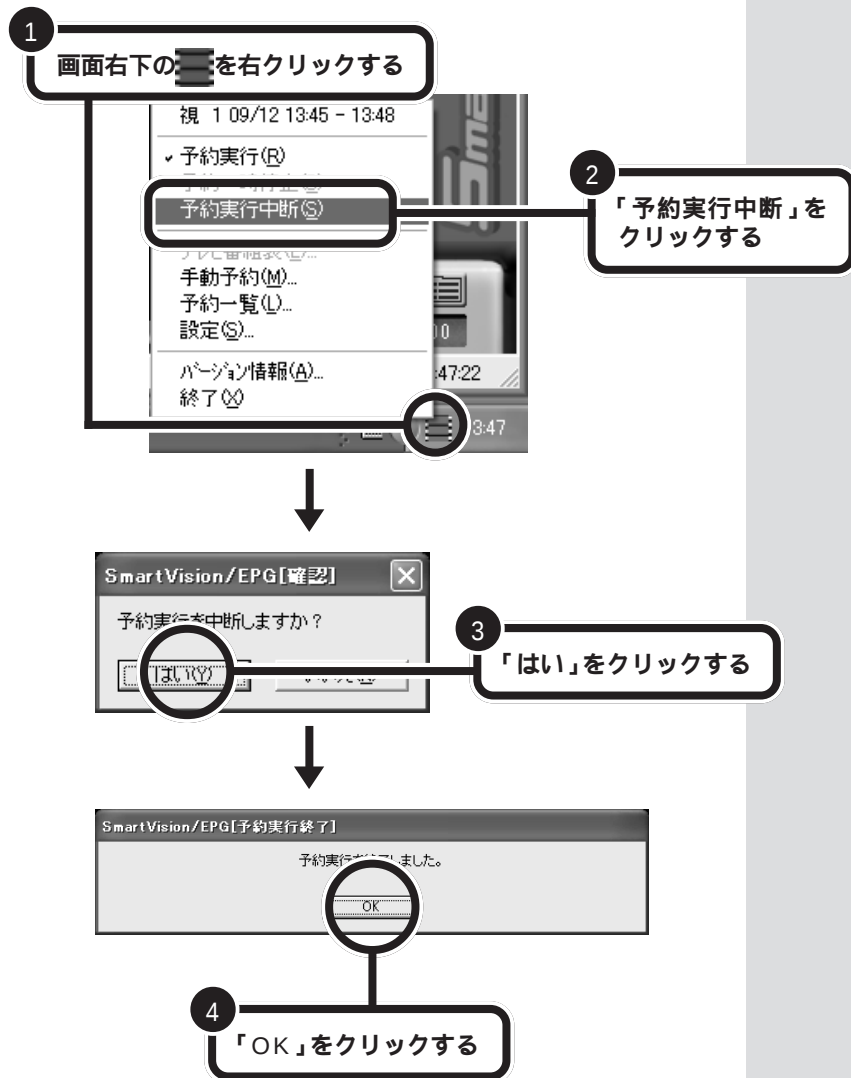
これで予約の変更ができました。

予約時の注意事項

- ・予約は最大128件まで行えます。
- ・予約時刻が重なっている場合は、エラーダイアログが表示されて予約設定はできません。
- ・予約時刻が「テレビ番組表」の受信時刻と重なっている場合には、「ADAMS-EPG取得時刻と重複しています。この時間のEPG受信を取りやめますか?」というメッセージが表示されます。そのまま予約する場合は「はい」をクリックしてください。
- ・録画と録画など、複数の番組を同じモードで予約する場合は、間隔をあけずに予約できます。
- ・視聴と録画など、複数の番組をそれぞれ異なるモードで予約する場合は、すでに予約済の番組の開始2分前から終了3分後までの時間帯に重なる別の番組の予約はできません。
- ・録画準備のために実際の録画開始時刻は予約設定した時刻より遅くなります。
- ・実際の録画終了時刻は、予約設定した終了時刻よりも数秒早くなります。
- ・予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。
- ・番組の手動予約は、タスクトレイのを右クリックして表示されるメニューから「手動予約」をクリックして行うこともできます。

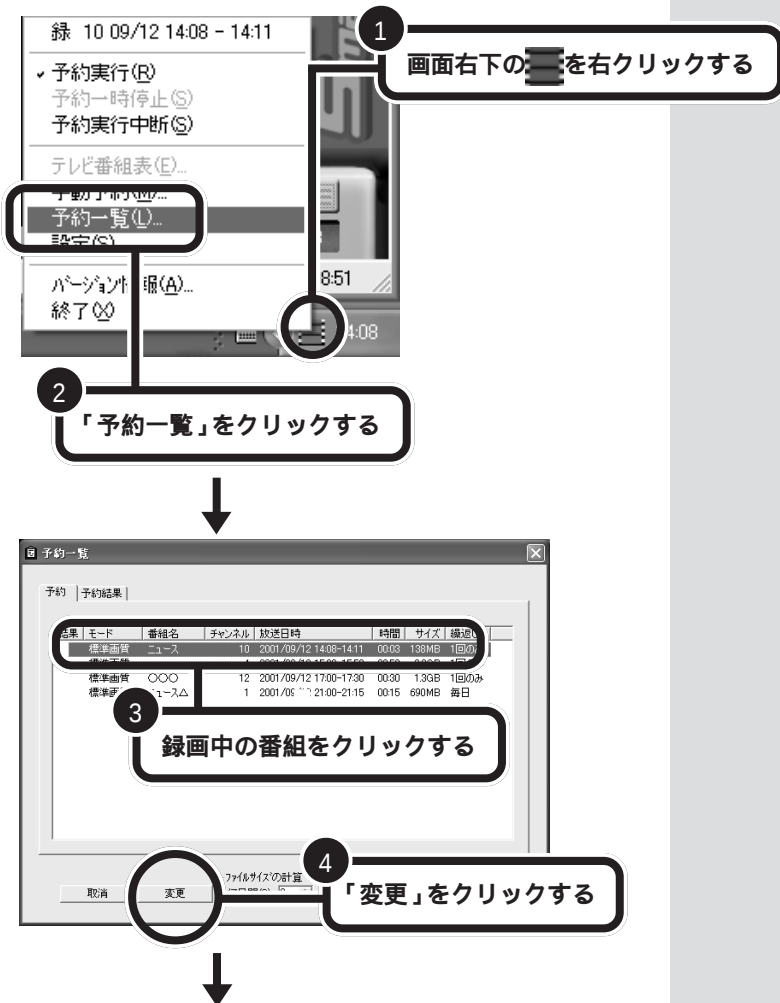
実行中の予約録画を中断する

録画の予約をして出かけたなら、思ったよりも早く帰ってきてしまい、まだ録画中だった。そんなときは、実行中の予約録画を中断することができます。



実行中の予約録画の終了時間を変更する

予約録画が実行中でも、終了時間はあとから早めたり、遅くしたりできます。





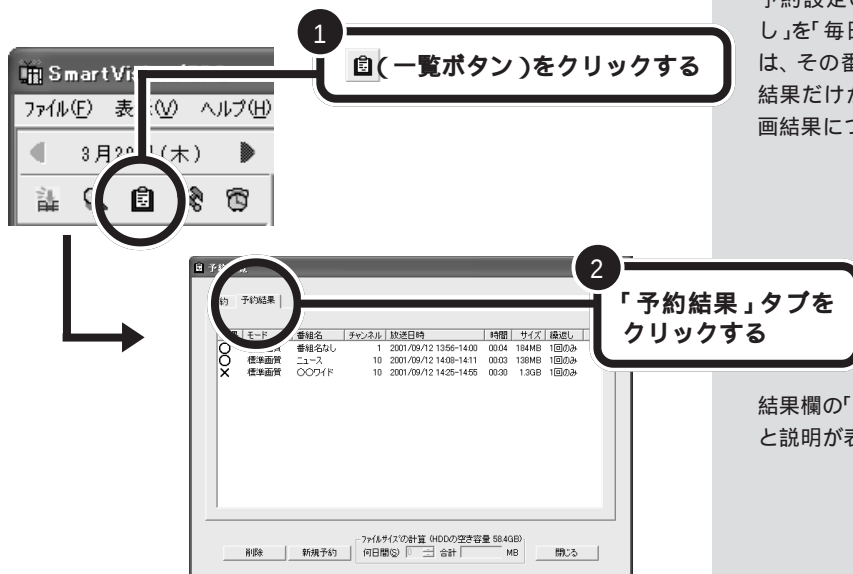
「終了時刻」以外の設定は変更できません。

予約した録画が成功したか確認する

結果が○(白丸)の場合は録画に成功、×(バツ)の場合は失敗したことを意味します。

✓チェック!!

予約設定のウィンドウで、「繰り返し」を「毎日」「毎週」にしている場合は、その番組のもっとも新しい録画結果だけが表示されます。以前の録画結果については、表示されません。



結果欄の「○」や「×」をポイントすると説明が表示されます。

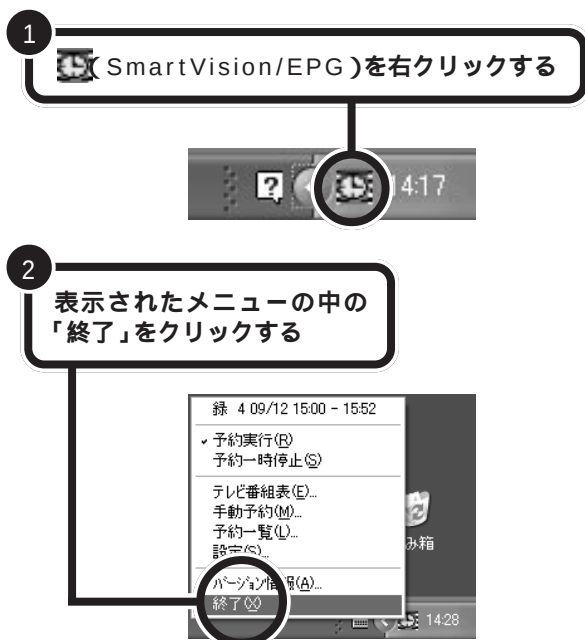
SmartVision/EPG を終了する

●番組表の終了



これで、番組表の表示を終了します。録画予約がないときや番組表の情報を受信しないときは、タスクトレイのから「SmartVision/EPG」を終了します。

● SmartVision/EPG の終了



SmartVision/EPG を終了すると、予約中の録画や番組表の受信が実行されませんのでご注意ください。

SmartVision/TV の EPG モードで録画予約する

SmartVision/TVのEPGモードからも、テレビ番組表を使って録画予約をすることができます。

1

SmartVision/TV を起動する

2

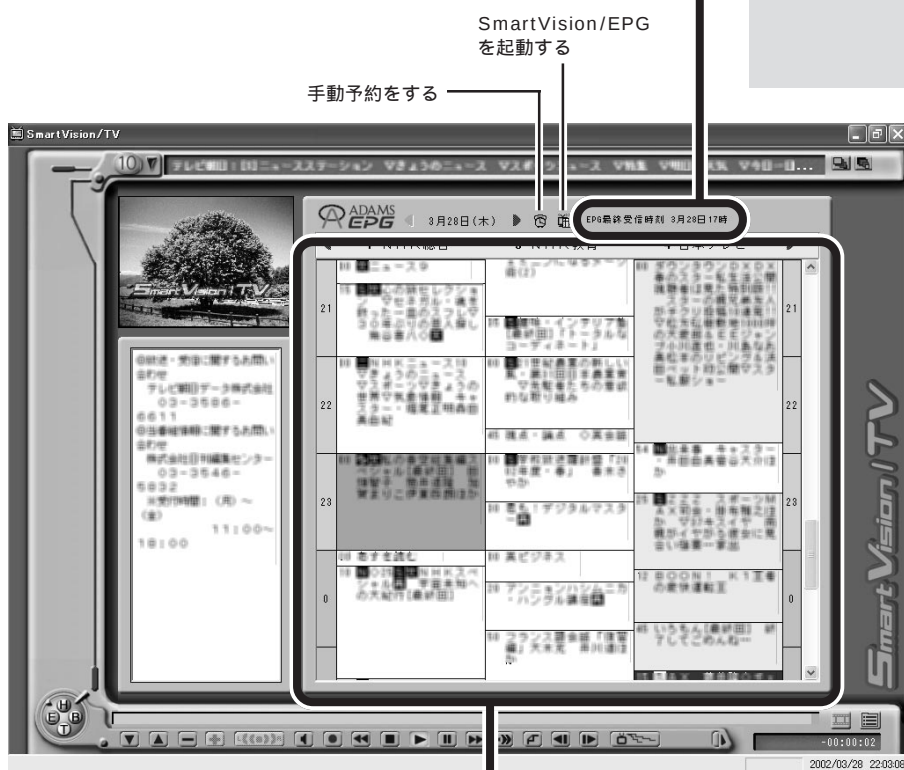
 をクリックする

EPG モードに切り替わります。

 参照

- ・番組表から予約する→このPARTの「番組表を使って予約する」(p.81)
- ・手動で予約する→このPARTの「番組表を使わないで予約する」(p.84)

クリックすると、最後に EPG データを受信した日時が表示される



テレビ番組表

 チェック!!

EPGモードでは、テレビ番組表の検索、色設定、表示放送局の設定はできません。SmartVision/EPGで行ってください。

予約する / 外出先から録画予約する 97

SmartVision TV 録画予約サービス

BIGLOBEの「SmartVision TV 録画予約サービス」は、iモードや外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約を行うサービスです。

SmartVision TV録画予約サービスをご利用になる場合は、次のことに注意してください。

- ・「SmartVision TV 録画予約サービス」をご利用になるには、モデムやLAN、ISDN ターミナルアダプタを利用した接続環境が必要です。
- ・この機能を利用するには、管理者権限を持つユーザーでログオンしてから省電力状態にしてください。また、SmartVision/EPGの予約機能のパスワードが設定されている必要があります (p.70、p.72)。
- ・BIGLOBE にアクセスするための電話料金とプロバイダ料金および、iモード携帯電話のポケット通信料はお客様の負担となります。
- ・「SmartVision TV 録画予約サービス」を利用するには、あらかじめパソコンを省電力状態にしておく必要があります。

●申し込みと準備

BIGLOBE に入会する

「SmartVision TV録画予約サービス」を利用するには、BIGLOBEに入会している必要があります。



サービスの申し込みをする

BIGLOBE へのサービスご利用申し込み(ユーザー登録)は、インターネットで行います(無料)。

「SmartVision TV 録画予約サービス」のホームページ(<http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/index.html>)にアクセスし、説明をよくお読みになったうえで、お申し込みを済ませてください。

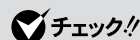


パソコンの設定を行う

パソコンが定期的に休止状態(または、スタンバイ状態)から復帰して、BIGLOBEのサーバと予約情報のやりとりをするように、パソコンを設定する必要があります。

また、テレビ番組表を使って録画予約をする場合は、自宅のパソコンにテレビ番組表を受信しておく必要があります。

設定は「TV 録画予約クライアント設定」で行います。詳しくは、「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」をご覧ください。



BIGLOBE の法人会員の方はご利用になれません。



「SmartVision TV 録画予約サービス取扱説明書」について→「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」-「SmartVision TV 録画予約サービス取扱説明書」



準備完了



● 毎回ご利用時

サービスを利用するには、パソコンを省電力状態にして外出します。

外出先で録画予約のページにアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先で「SmartVision TV 録画予約 ユーザ認証」のページ(利用申し込み時に発行される専用の URL です)にアクセスします。あなたのアクセスキーを入力するとメインメニューが表示されます。録画予約はそこで行います。



パソコンが自動的にBIGLOBEのサーバにアクセスし、予約を確認する

「TV録画予約クライアント設定」で指定した時刻になると、自宅のパソコンが自動起動し、BIGLOBEのTV録画予約サーバにアクセスして録画予約情報をダウンロードします。
予約が入っていた場合、予約内容の通りにパソコンが番組を録画します。

「TV録画予約クライアント設定」で設定した時刻に予約をチェックするため、設定時刻を過ぎると録画予約をすることができません。また、録画予約の有無にかかわらずBIGLOBEにアクセスしますので、その分の電話料金やプロバイダ料金が別途かかります。

P A R T

5

映像を編集しよう

VideoStudio を使って、テレビやデジタルビデオカメラで撮影した映像を、このパソコンに取り込んでみましょう。パソコンに取り込んだ動画は、オリジナルビデオを作成したり、電子メールに添付して送るなど、楽しい使い方ができます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

動画編集の流れ

まずこのページで、動画編集の流れを確認してください。
次のページから、動画編集の手順を説明します。

SmartVision/TV で録画したデータを編集する

● 少ない操作で作品を作りたい

データを準備する

SmartVision/TV

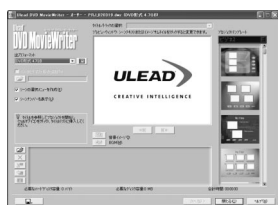


- テレビ番組を録画する
→ 「PART3 録画と再生をしよう」(p.43)
「PART4 録画予約をする」(p.69)
- ビデオデッキなどの映像を録画する
→ このPARTの「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.116)

番組を選択して起動する

簡単に編集、DVD タイトルの作成をする

DVD MovieWriter



DVD MovieWriter では、VideoStudio や DVDIt! のような複雑な編集はできませんが、より簡単に映像の編集、DVD タイトルの作成ができます。用途に合わせて、使いやすい方をお選びください。また、VALUESTAR L シリーズをご使用の場合、DVD タイトルの作成は DVD MovieWriter で行ってください。

CD-R、DVD-R を作成

出力する

- CD-R
- DVD-R
- パソコンのハードディスク など

● オリジナリティの高い作品を作りたい

管理する

SmartGallery



SmartGallery について詳しくは、SmartGallery のヘルプをご覧ください。

番組を選択して起動する

高度な編集をする

VideoStudio



MPEG2 ファイル

高度な DVD タイトルを作成する

DVDIt!



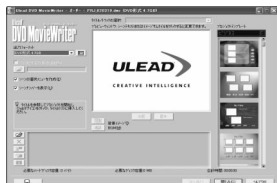
CD-R、DVD-R を作成

デジタルビデオカメラの映像を編集する

● 少ない操作で作品を作りたい

取り込み、編集、DVD タイトルの作成をする

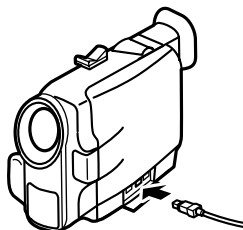
DVD MovieWriter



DVD MovieWriterでは、VideoStudioやDVDIt!のような複雑な編集はできませんが、より簡単に映像の編集、DVDタイトルの作成ができます。また、取り込みからDVDタイトルの作成までを一つのソフトで行えます。用途に合わせて、使いやすい方をお選びください。また、VALUESTAR Lシリーズをご使用の場合、DVDタイトルの作成はDVD MovieWriterで行ってください。

CD-R、DVD-Rを作成

出力する デジタルビデオカメラに出力する



出力する

- CD-R
- DVD-R
- パソコンのハードディスクなど

● オリジナリティの高い作品を作りたい

取り込み、高度な編集

VideoStudio



VideoStudioで、デジタルビデオカメラからの映像の取り込み、編集ができます。DVD MovieWriterに比べて、高度な編集ができるので、映像に様々な効果を加えたいときにおすすめです。また、DVDIt!でDVDタイトルを作りたいときにはVideoStudioで編集してください（VALUESTAR Tシリーズのみ）。

MPEG2 ファイル

高度な DVD タイトルを作成する

DVDIt!



CD-R、DVD-Rを作成

録画したデータを編集する準備

ここでは、SmartVision/TVで録画した番組データからお気に入りのシーンだけをまとめたりする方法を説明します。編集には、VideoStudioを使います。

- SmartVision/TV を使って録画データを用意する

1

SmartVision/TVを使って、テレビ番組を録画する

SmartGalleryを使って、録画したデータを確認し、VideoStudioで開きます

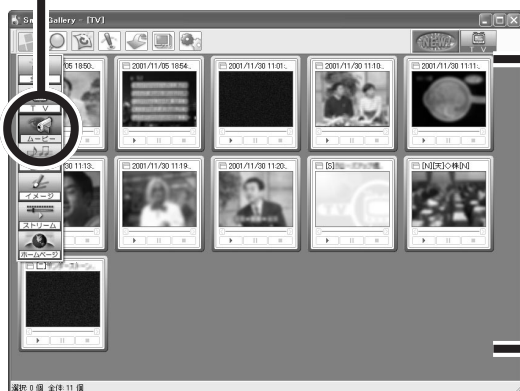
- SmartGallery を使って編集するデータを確認、VideoStudioで開く

1

SmartGallery を起動する

2

カテゴリを「ムービー」にする



3

表示されたサムネイルを右クリックして表示されるメニューの「開く」-「VideoStudio」をクリックする

↓
VideoStudio が起動する

📖 参照

- デジタルビデオカメラやUSBカメラから映像を取り込んで編集する方法について→「ばそガイド」-「パソコンでできること」
- ビデオデッキから映像を取り込んで編集する方法→このPARTの「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(→ p.116)

✔ チェック!!

- DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー防止信号(マクロビジョン信号)が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。また、その映像をこのパソコンに入力し、このパソコンに接続したビデオ機器などに出力することもできません。
- 録画した番組は、DVD MovieWriterでもカット編集できます。

📖 参照

- DVD MovieWriterについて→PART3の「他のメディアに保存する」(→ p.61)
- テレビ番組の録画について→「PART3 録画と再生をしよう」(p.43)、「PART4 録画予約をする」(p.69)
- SmartGalleryの操作について→「ばそガイド」-「パソコンでできること」

• VideoStudio で編集する

録画した番組は、VideoStudio で編集できます。DVD MovieWriter を使っても編集できますが、ここではより高度な編集ができるVideoStudio での手順を説明します。

1

 (グローバルコマンド)をクリックして、表示されたメニューから「テンプレートマネージャ」をクリックする



「テンプレートマネージャ」が表示される

2

テンプレートを選択する

テンプレートの種類は、次ページの表で確認してください。



3

「閉じる」をクリックする



はじめてVideoStudio を起動したときには、ユーザー登録の画面が表示されます。必要であれば画面の指示に従って登録してください。

VideoStudio では、ステップごとにヘルプを表示します。作業内容をヘルプで確認しながら、作業を進めてください。

 参照

VideoStudio の詳しい使い方 →
VideoStudio のオンラインヘルプ



ポイント

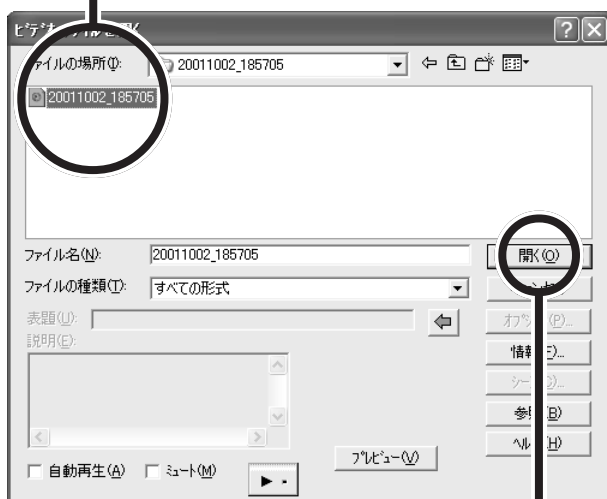
プロジェクトテンプレートは、次のように選択してください。
 ここで選択をまちがえると、DVDit!やDVD MovieWriterで編集できるデータにするときやムービーを完成させたりするときに手順どおりにできないことがあります。
 テンプレートは、ビデオをキャプチャしたり、完了ステップで最終ムービーを作成したりするために必要な設定が保存されるファイルです。
 ビデオカメラからのキャプチャの場合、「NTSC」または「PAL」の形式をおすすめします。テンプレートは、作業効率や最終ムービーの形態など目的によって適切なものを選択してください。詳しくは、VideoStudioのヘルプをご覧ください。
 「NTSC」や「PAL」はテレビ放送の映像信号の方式です。「NTSC」は、おもに日本や北米で使用されています。アジアやヨーロッパでは「PAL」が使用されています。
 「f/s」や「fps」は、1秒間に表示するフレーム数のことです。日本の現行のテレビ放送(NTSC)は30フレーム/秒、映画は通常24フレーム/秒で動いています。

編集素材と使用用途		選択するテンプレート
デジタルビデオカメラから入力して編集した後、デジタルビデオカメラ等へ出力するとき		AVI: 720 × 480 (29.97f/s) DV NTSC
デジタルビデオカメラから入力して編集した後、DVDit!またはDVD MovieWriterで編集するとき		DVD作成 DVカメラ入力(720 × 480)ファイル用
デジタルビデオカメラ入力以外の画像を編集した後、DVDit!またはDVD MovieWriterで編集するとき		DVD作成 352 × 480 NTSC(29.97fps)またはDVD作成 720 × 480 NTSC(29.97fps)
SmartVision/TVで録画したデータを編集し、DVDit!またはDVD MovieWriterで編集するとき	VALUESTAR Tシリーズ	
	高画質で録画したデータ	DVD作成 高画質(720 × 480)ファイル用
	標準画質で録画したデータ	DVD作成 標準画質(720 × 480)ファイル用
	長時間で録画したデータ	DVD作成 長時間(352 × 480)ファイル用
SmartVision/TVで録画したデータをMPEG2として編集するとき	VALUESTAR Tシリーズ	
	高画質で録画したデータ	DVD作成 高画質(720 × 480)ファイル用
	標準画質で録画したデータ	DVD作成 標準画質(720 × 480)ファイル用
	長時間で録画したデータ	DVD作成 長時間(352 × 480)ファイル用
	VALUESTAR Lシリーズ	
	高画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 高画質(640 × 480)ファイル用
	標準画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 標準画質(320 × 480)ファイル用
	DVD対応で録画したデータ	DVD作成 TV録画 DVD作成(720 × 480)ファイル用
デジタルビデオカメラ入力以外の画像を編集した後、MPEG2形式のファイルにするとき	VideoCDで録画したデータ	VideoCD 352 × 240 NTSC(29.97fps)
		MPEG2 640 × 480 NTSC(29.97fps) など(画像サイズは任意のものを選択してください)

他にも編集したいファイルがある場合は  (ビデオファイルを開く) をクリックします。

4

編集したいファイルを選択する



5

「開く」をクリックする

6

開いた映像をビデオトラックにドラッグ & ドロップする



これで、録画したデータファイルが VideoStudio に読み込まれました。
VideoStudio のヘルプをご覧になって、番組データを編集してください。

ビデオクリップをエクスポートする

これまでの編集は、プロジェクトファイルに反映されています。プロジェクトファイルは、VideoStudioでしか扱えません。そこで、ビデオなどほかの機器やソフトで再生したり編集するときや、CD-RやDVD-Rなどに保存したりするときには、それぞれのフォーマットを指定して出力する必要があります。

エクスポートする方法について詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンでできること」をご覧ください。

DVD 形式のビデオ データ作成機能

作成した映像を、このパソコンに入っている「DVDit!」(VALUESTAR Tシリーズのみ)や、「DVD MovieWriter」というソフトで、タイトルや目次を付けてDVD形式のビデオデータ(DVDタイトル)を作成しましょう。

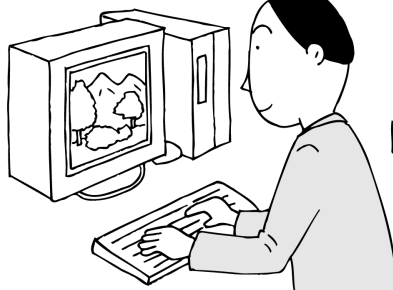
このパソコンに入っている「DVDit!」(VALUESTAR Tシリーズのみ)や「DVD MovieWriter」というソフトを使えば、SmartVision/TVで録画したデータやVideoStudioで編集した映像に、タイトルやメニュー(目次)をつけてDVD-Videoのような作品を作れます。

また、作成した映像はDVD-R(DVD-RAM/R/RWモデル、DVD-R/RWモデルのみ)やCD-R、ハードディスクに保存して再生できます。

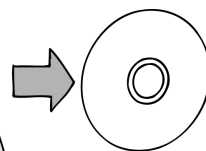
お気に入りの映像を、DVD形式のビデオデータ(DVDタイトルともいいます)に仕上げてみましょう。



ビデオカメラで撮った映像を



パソコンに取り込んで編集



DVDit!でタイトルやメニューをつけて仕上げる(VALUESTAR Tシリーズのみ)

DVD MovieWriterを使ってもDVD形式のデータは作成できますが、ここではより高度な編集ができるDVDit!での手順を説明します。

• DVDit!を起動する

1

「スタート」→「すべてのプログラム」→「DVDit! LE」→「DVDit! LE」をクリックする
DVDit!が起動します。

2

「新しいプロジェクトを始める」をクリックする

3

「NTSC」と、「MPEG2 for DVD-R/RW(DVD 準拠)」が選択されていることを確認して、



4

「設定終了」をクリックする

DVDit!のウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

DVDit!はVALUESTAR Tシリーズにのみ添付されています。VALUESTAR Lシリーズをお使いの場合は、DVD MovieWriterを使って編集できます。

📖 参照

DVD MovieWriter について → PART3 の「他のメディアに保存する (p.61)」の「パソコンでできること」

DVDit!を初めて起動したときには、ユーザー登録についての画面が表示されますので、登録する場合は、画面の説明を見て登録してください。

ここでは簡単な使い方のみを説明しています。詳しい使用方法是、「スタート」-「すべてのプログラム」-「DVDit! LE」-「DVDit! ユーザーガイド」をご覧ください。

✓チェック!!

- ・ このパソコンでは、PAL ビデオ様式はサポートしていません。
- ・ このパソコンでは、MPEG 1 フォーマットはサポートしていません。

ここで「MPEG2 for CD-R/RW(すべてのMPEG2 ファイルを使用可能)」を選択すると、パソコンでのみ再生可能な形式となります。

DVDit!では、好きな背景を入れたり、ボタンをレイアウトして、DVD タイトルを作成できます。詳しくは、DVDit!のヘルプをご覧ください。

パレットウィンドウに、VideoStudioで編集した映像データを追加する方法は次の通りです。



- 1 **ををクリックする**
パレットウィンドウに「メディア」が表示されます。

- 2 **パレットウィンドウを右クリックして、
「テーマにファイルを追加」をクリック**

「ビデオファイルまたは静止画像ファイルを選択」画面が表示されるので、画面の説明を見ながらVideoStudioで編集した映像データを追加します。

● DVDit!で使えるデータ形式

パレットウィンドウには次のデータ形式のファイルが追加できます。

- ・ デジタルビデオカメラなどから取り込んだ映像を、VideoStudio を使い DVDit!で扱えるように変換した MPEG2 データ
- ・ SmartVision/TV で「高画質」「標準画質」「長時間」で録画したデータ
- ・ SmartVision/TV で「高画質」「標準画質」「長時間」で録画した映像を、VideoStudio を使い適切なテンプレートで編集、保存した MPEG2 データ(→ p.105)

✓チェック!!

背景は、SmartGallery の「イメージ」カテゴリから好きな画像(BMP 形式、JPG 形式など)をパレットウィンドウにドラッグ&ドロップして登録することもできます。

📖 参照

SmartGallery について → 「パソコンガイド」-「パソコンでできること」

✓チェック!!

- ・ 1 つの DVD タイトルに使用できる MPEG2 ファイルのフレームサイズは、720 × 480 ドットまたは 352 × 480 ドットのどちらか一方です。1 つの DVD タイトル内で両方のフレームサイズを使うことはできません。
- ・ 静止画をメディアに設定することもできます。静止画のサイズは、720 × 480 ドットです。

DVD タイトルの詳しい作成のしかたについては、「スタート」-「すべてのプログラム」-「DVDit! LE」-「DVDit! ユーザーガイド」をご覧ください。

DVD タイトルを保存する

作成した DVD タイトルを保存しましょう。保存する方法には、次の方法があります。

- ・ハードディスクに保存する
- ・CD-R メディアに保存する
- ・DVD-R メディアまたはDVD-RW メディアに保存する(DVD-RAM/ R/RW モデル、DVD-R/RW モデルのみ)

保存の方法など、詳しい操作方法は DVDIt! のヘルプをご覧ください。

● CD-R メディアまたは DVD-R メディアに保存する

作成した映像は、CD-R、DVD-R にも保存できます。

CD-R への DVD タイトルの保存のしかたは、DVDIt! のヘルプをご覧ください。

● DVD 形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriter または DVDIt! で DVD 形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

- ・CD-R に保存できる映像は、約 8 分(8Mbps) ~ 約 17 分(4Mbps) 程度です。DVD-R や DVD-RW に保存できる映像は、約 67 分(8Mbps) ~ 約 117 分(4Mbps) 程度です。保存する内容により、記録できる時間は短くなることがあります。
- ・DVDIt! および DVD MovieWriter では、DVD-Video 規格にあわせてオーディオデータを PCM(48kHz/16bit) に変換しているため、元の MPEG2 ファイルよりも約 20% 程度容量が増加することがあります。
- ・DVDIt! で DVD 形式のビデオデータを CD-R や DVD-R/RW に保存する場合は、「ファイル」-「プロジェクト設定」-「ディスク名」で「ディスク名」を必ず半角英数にしてください。
- ・DVDIt! および DVD MovieWriter で CD-R や DVD-R/RW にビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。
- ・DVDIt! は、DVD-RAM、CD-RW には対応していません。
- ・DVD MovieWriter は、DVD-RAM には対応していません。
- ・CD-R に保存した場合、環境によってはスムーズに再生できないことがあります。また、家庭用 DVD プレーヤーでは再生できません。
- ・DVDIt! では、保存したデータを再生するパソコンに DVD 対応の Jet-Audio Player(DVD Jet-Audio Player) がインストールされている場合は、CD-R にビデオデータを保存するときに、「DVD プレイヤーを含む」のチェックを ON にする必要はありません。
- ・DVD-R や DVD-RW に保存したビデオは、家庭用 DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部の DVD プレーヤー、DVD-ROM ドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤーの状態により再生できないことがあります。
- ・DVD-R/RW ドライブは、DVD-R for General Ver.2.0 および DVD-RW Ver.1.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。DVD レコーダ/プレーヤーでの記録・再生については、DVD レコーダ/プレーヤーがこれらの規格に準拠しているかをご確認ください。

✓チェック!!

DVD-RAM に保存する場合は、DVD-MovieAlbum を利用します(DVD-RAM/R/RW モデルのみ)

📖 参照

DVD-RAM に保存する方法 → PART3 の「他のメディアに保存する」(P.61)

✓チェック!!

- ・DVDIt! は VALUESTAR T シリーズにのみ添付されています。
- ・DVD MovieWriter をつかっても映像を CD-R や DVD-R に保存できます。
- ・DVD-R に保存できるのは、DVD-RAM/R/RW モデル、DVD-R/RW モデルの場合だけです。

DVD タイトルを再生する

「DVDIt!」で作成した DVD タイトルを再生してみましょう。

「DVDIt!」で作成したDVDタイトルを再生します。ハードディスクに保存した場合は「SmartGallery」から選んで、Jet-Audio Playerで再生します。CD-R メディアに保存した場合は、市販のDVD-Video ディスクのように、自動的に再生できます。

ハードディスクに保存した DVD タイトルを再生する

ハードディスクに保存したDVDタイトルは、「SmartGallery」から「Jet-Audio Player」を起動して再生できます。

1 SmartGallery を起動する

2 (カテゴリ)をクリックする



3 (ムービー)をクリックする

参照

CD-Rに保存したDVDタイトルの再生方法→このPARTの「CD-Rに保存したDVDタイトルを再生する」(p.115)

参照

SmartGallery について → 「パソコンでできること」

チェック!!

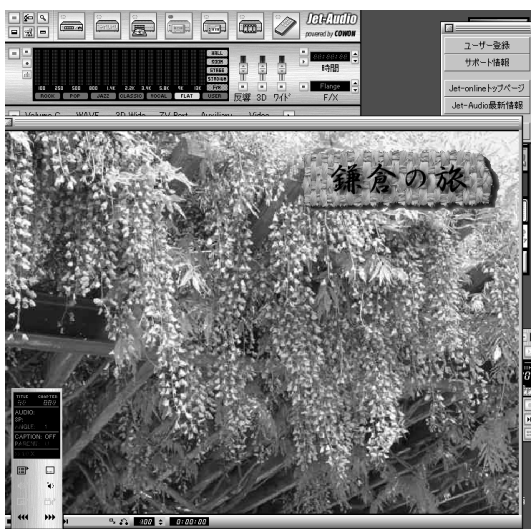
ハードディスクにDVDタイトルなどの動画ファイルがひとつも保存されていないときは、(ムービー)は表示されません。

4

作成したDVDタイトルのサムネイルを
右クリックして「開く」-「Jet-Audio
Player」をクリックする



Jet-Audio Playerが起動して、タイトル画面が表示されます。



サムネイルをダブルクリックしても、
Jet-Audio Playerを起動できます。

✓チェック!!

- Jet-Audio Player が起動しても DVDタイトルが再生されない場合は、Jet-Audio Playerの起動後にもう一度手順4を行ってください。
- SmartVision/TVやビットキャストブラウザなど、Jet-Audio Player以外の映像を表示するソフトが起動していると、Jet-Audio PlayerでのDVD-VideoやビデオCDの再生はできません(音楽CD、デジタルオーディオ、MIDIの再生はできます)。
- DVDIt!で作成したDVDタイトルの再生中は、Jet-Audio Playerのカウンタは動かないことがあります。
- Jet-Audio Player 以外のアプリケーションでも、作成したDVDタイトルを再生できるものがあります。詳しくはDVDIt!のオンラインマニュアルをご覧ください。

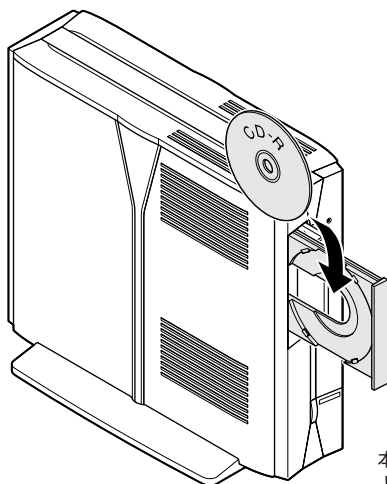
Jet-Audio Player について詳しくは、「ばそガイド」または Jet-Audio Playerのオンラインマニュアルをご覧ください。

CD-R に保存した DVD タイトルを再生する

このパソコンでは、CD-Rメディアに保存したDVDタイトルは、Jet-Audio Player で再生できます。

1

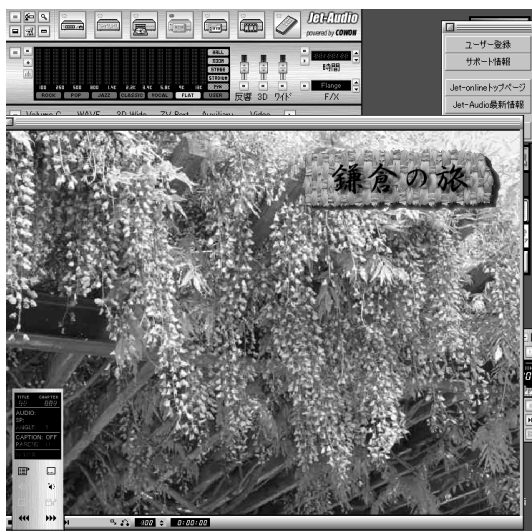
DVD タイトルを保存した CD-R メディアをドライブにセットする



本体の形状は、モデルにより異なります。

しばらくすると、「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されるので、(オーディオ CD の再生 Jet-Audio 使用)をクリックして「OK」をクリック

Jet-Audio Player が起動して、タイトル画面が表示されます。



参照

CD-R のセットのしかた→『はじめにお読みください』付録の「CD-ROM などの扱い方」

チェック!!

- ・ SmartVision/TV やビットキャストブラウザなど、Jet-Audio Player以外の映像を表示するソフトが起動していると、Jet-Audio PlayerでのDVD-VideoやビデオCDの再生はできません(音楽CD、デジタルオーディオ、MIDIの再生はできます)。
- ・ DVDIt!で作成したDVDタイトルの再生中は、Jet-Audio Playerのカウンタは動かないことがあります。
- ・ Jet-Audio Player以外のアプリケーションでも、作成したDVDタイトルを再生できるものがあります。詳しくはDVDIt!のオンラインマニュアルをご覧ください。

Jet-Audio Player について詳しくは、「ばそガイド」または Jet-Audio Playerのオンラインマニュアルをご覧ください。

ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

SmartVision/TVでは、ビデオデッキやアナログビデオカメラと接続してその映像をハードディスクに録画できます。VALUESTAR Tシリーズでは、SmartVisionの映像をビデオデッキなどに録画することもできます。

✓チェック!!

コピー防止信号(マクロビジョン信号)が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号(マクロビジョン信号)が検出された場合、自動的にライブモードに切り替わります。

用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブル(ステレオミニプラグ・ピンプラグ×2)を使って接続します。



S映像用ケーブル
(または映像用ケーブル)



音声用ケーブル

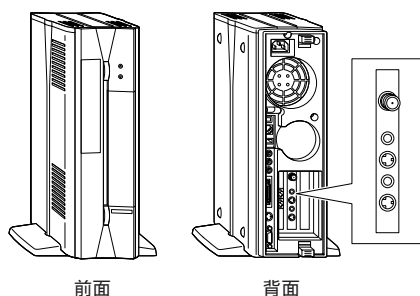
✓チェック!!

接続する機器にS映像出力端子がついていない場合は、通常の映像用ケーブルを用意してください。詳しくは次のページの「こんなときは」で説明しています。

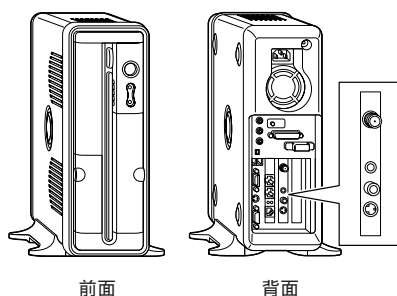
接続する

このパソコンとビデオデッキを接続します。
本体の形によって、接続場所が違います。お使いのパソコンの形状を見てお使いのパソコンのシリーズ名を確認してから接続してください。

VALUESTAR Tシリーズ



VALUESTAR Lシリーズ



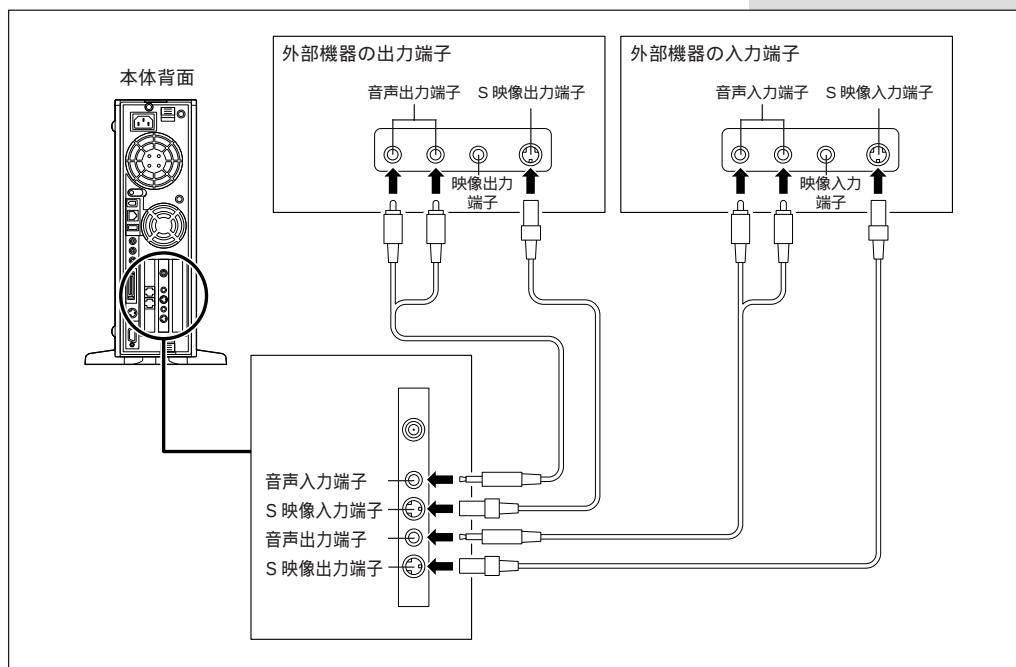
● 本体とビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

VALUESTAR T シリーズの場合

接続した機器の映像を SmartVision/TV で録画したいときは、機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続します。

SmartVision/TV の映像を接続した機器で録画したいときは、機器の入力端子とパソコンの出力端子を接続して、機器の出力端子とテレビを接続します。

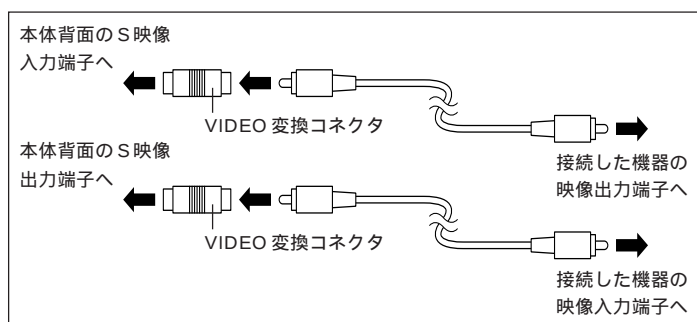
外部機器の接続について詳しくは、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。



こんなときは

S映像出力端子、S映像入力端子のない外部機器につなぎたい

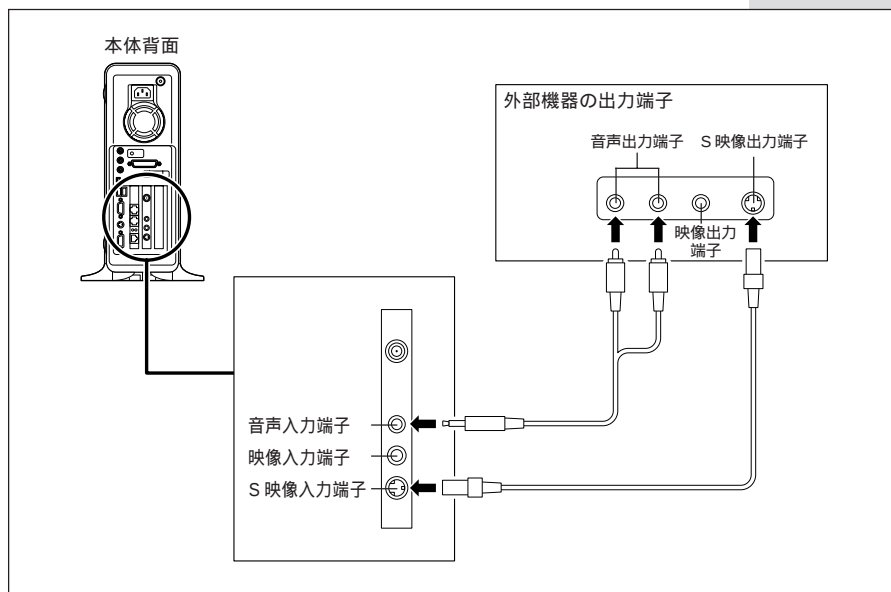
S映像用ケーブルのかわりに、市販の映像用接続ケーブルと添付の VIDEO 変換コネクタを接続して使うことができます。



VIDEO 変換コネクタ
(2 個添付されています)

VALUESTAR L シリーズの場合

機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続して、機器の映像を SmartVision/TV で録画します。VALUESTAR L シリーズでは SmartVision/TV の映像を外部の機器に録画することはできません。

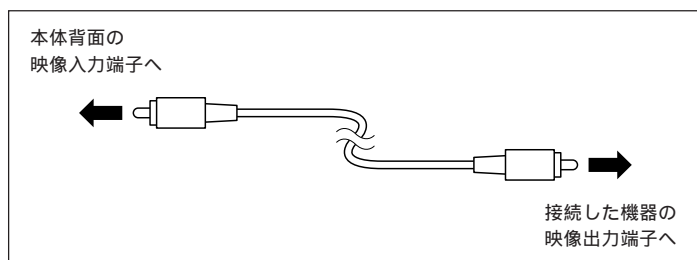


こんなときは



S 映像出力端子のない外部機器につなぎたい

市販の映像ケーブルを使って、本体背面の映像入力端子と接続した機器の映像出力端子を接続します。



ビデオの映像を SmartVision/TV で録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像を SmartVision/TV で録画する方法を説明します。

1

SmartVision/TV を起動する



2

 (入力切り替え) をクリックして
にする

SmartVision/TV の入力が、「ビデオ 1」に変わります。

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。
 をクリックして表示される「設定」ウィンドウの「録画」タブで画質を選択してください。

3

ビデオデッキで、ビデオを再生する
ビデオの映像がパソコンに表示されます。



4

 (録画) をクリックする
ビデオの録画が始まります。

✓チェック!!

- ・コピー防止信号(マクロビジョン信号)が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号(マクロビジョン信号)が検出された場合、自動的にライブモードに切り替わります。
- ・ビデオデッキの映像は、bitcast browser でも録画できます。

📖参照

bitcast browser について →  「ばそガイド」- 「パソコンでできること」、bitcast browser のヘルプ

📖参照

編集目的で録画するときの画質について → PART 3 の「録画について」(p.44)

5

録画を終了するときは (停止) をクリックする

6

 をクリックして  にする
SmartVision/TVの入力がテレビに戻り、番組が表示されます。

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、「PART3 録画と再生をしよう」をご覧ください。
ここで録画したデータは、SmartVision/TVで録画した番組と同じように編集できます。録画したデータの編集方法については、このPARTの「動画編集の流れ」(p.102)で確認してください。

ビデオデッキで SmartVision/TV の映像を録画する (VALESTAR T シリーズのみ)

ここでは例として、テレビに SmartVision/TV の映像を表示して、それをビデオデッキに録画する方法を説明します。

1

SmartVision/TV を起動する

2

バインダーモードにする



3

録画したい番組をクリックする
番組が反転表示されます。

4

 (TV-OUT) をクリックする
SmartVision/TVの映像がテレビに表示されます。

5

ビデオデッキの録画を始める

これで、SmartVision/TVの映像をビデオデッキで録画できます。録画を終了するときには、ビデオデッキを操作して録画を終了してから SmartVision/TV の再生を終了してください。

✓チェック!!

- ・ パソコンと機器の接続を間違えると、録画できません。接続方法については、このPARTの「接続する」(p.116)および、各機器のマニュアルをご覧ください。
- ・ 録画できるのは、SmartVision/TVのバインダーモードで再生できる映像だけです。

ビデオデッキの操作方法について詳しくは、各ビデオデッキのマニュアルをご覧ください。

P A R T

6

TV モデル Q&A

テレビがうまく見られないときや添付アプリケーションがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。

テレビがうまく 見られないときには

テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

☹️ ➡️ 😊 アンテナは接続されていますか？
アンテナを接続してください。接続については、PART1の「アンテナ線を準備する」「テレビを見るための接続をする」をご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 チャンネルは設定されていますか？
チャンネルを設定してください。設定についてはPART2の「チャンネルと番組表の設定をする」をご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 本体とディスプレイは正しく接続されていますか？
本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『はじめにお読みください』またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 他のソフトが起動していませんか？
「SmartVision/TV」、「bitcast browser」、「VideoStudio」、「Jet-Audio Player」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、使用したいソフトを起動してください。

☹️ ➡️ 😊 ビデオ入力になっていませんか？
(bitcast browser の場合)
ビットキャストバーの「チャンネル設定」ボタンで視聴したいテレビのチャンネルを設定してください。SmartVision/EPGのチャンネル設定を行わずにbitcast browserを起動すると、テレビのチャンネルが選択できません。PART2の「チャンネルと番組表の設定をする」をご覧ください。チャンネルを設定してください。

☹️ ➡️ 😊 ビデオ入力になっていませんか？
(SmartVision/TV の場合)
コントロールバーの入力切替がになっている場合は、クリックしてにしてください。

テレビ放送に関する注意事項をbitcast browserのオンラインマニュアルにも記載しています。オンラインマニュアルの「ご注意」もあわせてご覧ください。

✓ チェック!!

- ・ bitcast browserは、VALUESTAR Tシリーズにのみ添付されています。
- ・ 「bitcast browser」でテレビを見ているときに、地上波データ放送を受信し、そのデータをハードディスクに保存している場合や、OSによるディスクスワップが発生した場合などに、テレビ表示が一瞬止まる場合がありますが、故障ではありません。

音が出ない、音が大きすぎる

☹️ ➡️ 😊 スピーカの音量を調整してください。
スピーカの音は、液晶ディスプレイのボリュームボタンで調整してください。

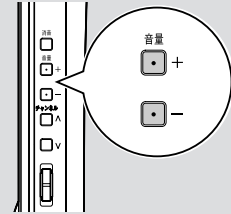
☹️ ➡️ 😊 SmartVision/TV で音量調節をしてください(タイムシフトモード時のみ)
SmartVision/TV の  または  をクリックして、音量調整を行ってください。また、ミュート(消音)がかかっていないか確認してください。ミュートがかかっていると、 になっています。その場合は、クリックして  にしてください。なお、ライブモード時はこの方法では音量調節ができません。

☹️ ➡️ 😊 リモコンまたはワンタッチスタートボタンで音量調整を行ってください。

リモコン右側面のボリュームボタン、ワンタッチスタートボタンのボリュームボタンで音量を調整してください。
また、Windows 側でミュート(消音)がかかっていないか、次の手順で確認して、ミュートをはずしてください。

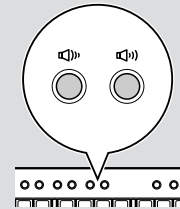
- 1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテインメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。
- 2 「Volume Control」ウィンドウで全ミュートが ☒ (オン) になっているときはクリックして ☐ (オフ) にしてください。

リモコンのボリュームボタン



リモコン右側面

キーボードのボリュームボタン

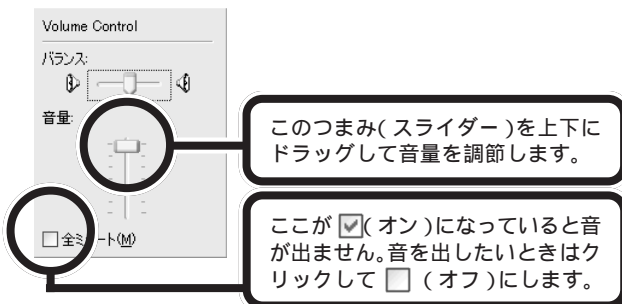


キーボード

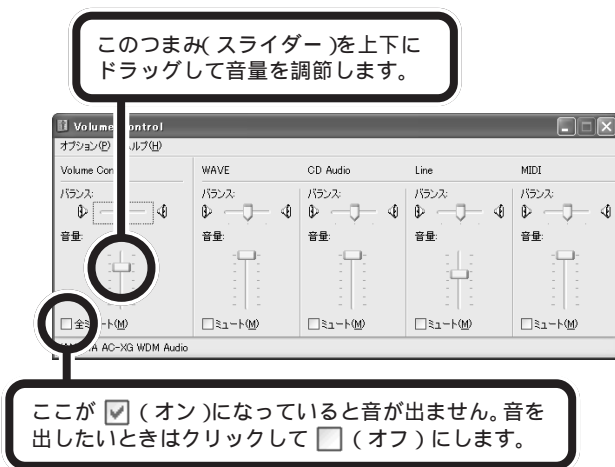
☹️ ➡️ 😊 「Volume Control」ウィンドウでミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテインメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。

2 「Volume Control」ウィンドウで全ミュートが ☒ (オン) になっているときはクリックして ☐ (オフ) にしてください。



さらにスライダー() を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の  ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



📖 参照

SmartVision/TVの音量調節について- PART2 の「音量を調節する」
(p.31)

テレビを見ていると、テレビ以外の音がする

☹️ ➡️ 😊 音が鳴るスクリーンセーバーが設定されていませんか？

音が鳴るスクリーンセーバーを設定しているとテレビの音とスクリーンセーバーの音が重なることがあります。このような状態は、SmartVision/TVに限らず、映像や音声を扱うアプリケーション(bitcast browser、Jet-Audio Player、VideoStudio など)でも同じようなことがある場合があります。このような場合には、スクリーンセーバーの設定を「なし」に設定してください(ご購入時は「なし」に設定されています)。

テレビの画面が白っぽい

ディスプレイの前面に「VISUAL ボタン」がある場合、「VISUAL ボタン」を押すと、色補正が行われ、メリハリのついた見やすい表示にできます。



参照
VISUAL ボタンについて→ディスプレイのマニュアル

輝度やカラー強度、コントラストが調整できない



ご使用のパソコンのシリーズは何ですか？

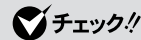
VALUESTAR Lシリーズをお使いの場合、鮮明度、色合い、輝度、カラー強度、コントラストの変更はできません。

SmartVision/TV、bitcast browser (VALUESTAR Tシリーズのみ)などが起動できない



他のユーザーでSmartVision/TVなどを起動したまま、ユーザー切り替えを行っていませんか？

SmartVision/TV、bitcast browser、ADAMSナビ、もじぞうを起動したまま、Windowsのユーザー切り替えの機能で別のユーザーに切り替ええると、そのユーザーではSmartVision/TV、bitcast browser、ADAMSナビ、もじぞうを起動することはできません。

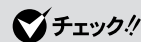


チェック!!
bitcast browser、もじぞうはVALUESTAR Tシリーズにのみ添付されています。

テレビを表示中やデータ放送の受信中に省電力状態にしようとしたら画面が表示されなくなった

次の場合は省電力状態にしないでください。

- ・ SmartVision/TV、bitcast browser、ADAMS ナビ、もじぞうを起動中。
- ・ テレビ番組表を受信しているときなど。



チェック!!
bitcast browser、もじぞうはVALUESTAR Tシリーズにのみ添付されています。

Windowsムービーメーカーでチャンネルの変更ができない

このパソコンでは、Windowsムービーメーカーでテレビを表示したとき、チャンネルを変更することはできません。テレビを見たり、録画をしたい場合は、SmartVision/TV や bitcast browser(VALUESTAR Tシリーズのみ)で行ってください。

リモコンを使って いたら

リモコンを使っていて問題が起こったときは、ここをご覧ください。

リモコンを使って電源を入れられない、または省電力状態から復帰できない

☹️➡️😊 PS/2キーボードがセットのモデルでリモコン用受信ユニットを利用していませんか？

リモコン用受信ユニットの場合、リモコンを使ってパソコンの電源を入れたり、省電力状態からの復帰を行うことはできません。

リモコンを操作しても、反応しない、動きが悪い

☹️➡️😊 乾電池は正しくセットされていますか？乾電池の寿命が切れていませんか？

乾電池が正しくセットされていないか、乾電池の寿命が切れていることが考えられます。

PART1の「リモコンの準備をする」をご覧ください。乾電池を正しくセットし直してください。正しくセットしても改善されないときは、乾電池を新しいものに交換してください。

☹️➡️😊 リモコンを受信部に向けて操作していますか？

・ワイヤレスキーボードモデルの場合

リモコンに対応するための受信部がディスプレイに内蔵されています。液晶ディスプレイの受信部に向けてリモコンを操作してください。

また、直射日光や蛍光灯など光の影響で通信距離が短くなることがあります。リモコンの動作が不安定な場合は、直射日光の当たらない場所などで操作してください。リモコンと受信部の間に遮断物があると、操作できないため物を置かないようにしてください。

リモコンを受信部に近づけないと操作できなくなった場合は、電池が消耗している可能性があります。PART1の「リモコンの準備をする」をご覧ください、乾電池を新しいものに交換してください。

・リモコン用受信ユニットがセットのモデルの場合
リモコンは受信ユニットの受信部に向けて操作してください。また、受信ユニットが正しく接続されているか確認してください。

また、直射日光や蛍光灯など光の影響で通信距離が短くなることがあります。リモコンの動作が不安定な場合は、直射日光の当たらない場所などで操作してください。リモコンと受信部の間に遮断物があると、操作できないため物を置かないようにしてください。

☹️➡️😊 リモコン用受信ユニットを接続しましたか？(PS/2 キーボードがセットのモデルのみ)

リモコンを使うにはリモコン用受信ユニットを本体背面のUSBコネクタに接続する必要があります。PART1の「リモコンの準備をする」をご覧ください、リモコン用受信ユニットを接続してください。

☹️➡️😊 リモコンが【テレビ】モードになっていませんか？

リモコン側面の【スティック切替】スイッチが【テレビ】モードになっているときは、TVチューナ内蔵ワイド液晶ディスプレイに内蔵のテレビ機能を使う設定になっています。【スティック切替】スイッチを【カーソル】モードまたは【マウス】モードにしてください。

【テレビ】モードは、TVチューナ内蔵ワイド液晶ディスプレイ添付モデル以外では使用しません。

☹️➡️😊 セーフモードになっていませんか？

リモコンはセーフモードでは動作しません。Windowsを通常モードで起動してください。

☹️➡️😊 リモコンの機能が無効になっていませんか？

リモコンの機能が無効になっていると、リモコンの一部の機能が使えません。

「スタート」-「すべてのプログラム」-「リモコンの設定」-「リモコンの機能を有効にする」をクリックして、リモコンの機能を有効にしてください。

☹️➡️😊 受信ユニットから離れた場所で操作していませんか？

リモコンは赤外線で通信をしています(使える範囲はキーボード、マウスとは異なります)。

PART1 の「リモコンの準備をする」をご覧ください。リモコンの使える範囲を確認してください。また、リモコンは受信ユニットに向けて操作する必要があります。

☹️➡️😊 しばらく待っても、リモコンの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

リモコンに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などで拭き取ってください。リモコンの内部に水分が入ってしまったときは、乾くのを待ってからお使いください。乾いたあとで、リモコンで操作ができないなどの不具合があるときは、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取ってもリモコンの内部に糖分などが残り故障することがあります。

視聴予約や録画予約ができないときには

テレビ番組表を受信するときや番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

- ☹️ ➡️ 😊 省電力状態やスクリーンセーバーから復帰するときのパスワードや、SmartVision/EPG のパスワードは設定済みですか？また、スタンバイ状態から復帰するときパスワード確認画面は表示しない設定になっていますか？

パスワードの設定がされていない場合、予約ができません。また、パスワードを設定していても、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面を表示する設定になっていると、パスワード入力がない場合に復帰ができないため、予約を実行できません。

Windows および SmartVision/EPG のパスワードを設定し、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されない設定にしておいてください。

- ☹️ ➡️ 😊 「SmartVision/EPG」の「予約一覧」で予約実行結果を確認してください。

「予約一覧」の「結果」の欄に実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に **×** (バツ) が表示されます。

× にマウスを合わせるとエラー情報が表示されます (例：SmartVision/EPG が起動していませんでした。ハードディスクの容量が足りませんでした)。

- ☹️ ➡️ 😊 予約設定した別のユーザーでログオンしていませんか？

予約録画は、登録したユーザーログオン上でのみ有効です。また、スタンバイ状態や休止状態から起動する場合も、必ず予約したログオンユーザーからスタンバイ状態または休止状態にしてください。

📖 参照

- ・ Windows のパスワードについて
→ PART4 の「Windows のパスワードの設定をする」(p.70)
- ・ SmartVision/EPG のパスワードについて
→ PART4 の「SmartVision/EPG のパスワードを設定する」(p.72)

✔️ チェック!!

予約設定のウィンドウで、「繰り返し」を「毎日」「毎週」にしている場合は、その番組のもっとも新しい録画結果だけが表示されます。以前の録画結果については、表示されません。

SmartVision/TVのバインダーモードで録画した番組が見あたらない

☹️➡️😊 録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。

予約録画が成功しているかどうかは、SmartVision/EPGの予約一覧で確認することができます(→ p.89)。

☹️➡️😊 録画したユーザーと別のユーザーでWindowsのログオンをしていませんか？

ご購入時の設定では、バインダーモードで表示されるのはログオンしたユーザーが録画した番組のみです。

いったん SmartVision/TV を終了してから、録画したユーザーでログオンし直して、ふたたび SmartVision/TV を起動してください。

動画や静止画をうまく取り込めないときには

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

キャプチャできない

- ☹️ ➡️ 😊 ハードディスクの空き容量が不足していませんか？
ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、👉「ばそガイド」-「トラブル解決 Q&A」をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？
外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。
- ☹️ ➡️ 😊 DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？
DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー防止信号（マクロビジョン信号）が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。また、その映像をこのパソコンに入力し、このパソコンに接続したビデオ機器などに出力することもできません。
- ☹️ ➡️ 😊 VideoStudioやDVD MovieWriterでキャプチャしようとしていませんか？
VideoStudioやDVD MovieWriterでは、テレビの映像やTVボードに接続されているビデオ機器の映像はキャプチャできません。

📖 参照

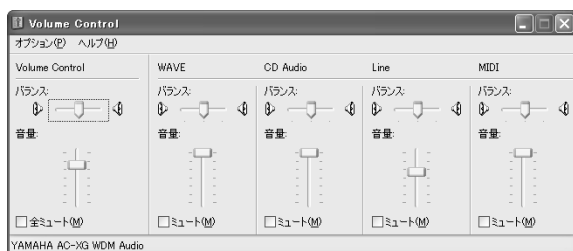
動画キャプチャの制限 → PART4 の「録画（動画キャプチャ）の制限について」（p.45）

動画キャプチャでテレビやVTRの音声キャプチャされない、SmartVision/TVで音が出ない

動画を取り込むときに音声が一緒に取り込めなかったときや、「SmartVision/TV」で音が出ないときには、次の手順に従って「ボリュームコントロール」の設定を行ってください。

- 1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」の順にクリックする。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。



- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックする。

「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「プロパティ」ウィンドウの「音量の調整」欄の「録音」の左の○をクリックして●にし、「表示するコントロール」の「Line」に☑を付け、「OK」ボタンをクリックする。



- 4 「Recording Control」ウィンドウが表示されたら、「Line」の「選択」の□をクリックし、☑にする。



- 5 「Line」の欄の「音量」のつまみを上下にドラッグして録音レベルを調整する。
- 6 設定が終了したら、✕をクリックして「Recording Control」ウィンドウを閉じる。

✓チェック!!

通常はTV アプリケーション起動時に、自動的に「Line」に設定されます。音声を取り込めない場合は「Line」のボリュームが最小になっている可能性があります。

取り込んだ動画の画質が悪い

☹️ ➡️ 😊 添付の USB カメラを使っていますか？

添付の USB カメラ(USB カメラ添付モデルのみ)で取り込んだ動画は、IEEE1394 接続された市販のデジタルビデオカメラから取り込んだ動画に比べて画質が劣ります。

☹️ ➡️ 😊 キャプチャするときの設定を変更してください。

- ・「SmartVision/TV」の場合
「SmartVision/TVの設定」で、「録画時の画質」を「高画質」に設定してください。ご購入時の設定は、「標準画質」になっています。
- ・「VideoStudio」の場合
 - ・ MPEG ファイルを作成するとき
「ビデオ保存オプション」の「カスタム設定」をクリックし、「圧縮速度」を「画質優先」にしてください。ご購入時の圧縮速度は「速度優先」になっています。
「ビデオ保存オプション」ウィンドウは、「完了」ステップで「ムービーを作成」ボタンをクリックした後、ファイルを保存する前に「オプション」ボタンをクリックすると表示されます。

📖 参照

「SmartVision/TV の設定」→ PART3 の「SmartVision/TV の設定について」(p.65)

ビデオからの映像が表示されない、音声がでない

☹️ ➡️ 😊 ケーブルはあっていますか？

パソコンとビデオデッキを接続するには、別売のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。正しく接続されているかどうか確認してください。

接続については、PART5 の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.116)をご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 ビデオ入力になっていますか？

SmartVision / TV のコントロールバーの入力切替が



になっている場合は、クリックして  にしてください。

SmartGallery が うまく動かないときには

SmartGallery を使っていて問題が起きたときは、ここ
をご覧ください。

SmartGalleryで動画の簡易再生ができない

☹️ ➡️ 😊 他のソフトが起動していませんか？

「SmartVision/TV」,「bitcast browser」,「VideoStudio」,
「Jet-Audio Player」など、映像を表示するソフトを同時に動
作させることはできません。起動しているソフトをいったん
終了させた後、簡易再生をしてください。

保存したマルチメディアデータがSmartGallery の一覧に見あたらない、SmartVision/TVで録画 したはずのデータがSmartGalleryの一覧に見あ たら

☹️ ➡️ 😊 カテゴリはありますか？

表示したいデータのカテゴリ、または「全て」のカテゴリを
選択してください。

☹️ ➡️ 😊 検索がかかっていますか？

検索がかかっているときは、全表示ボタンをクリックして検
索を解除してください。

☹️ ➡️ 😊 データの保存場所は正しいですか？

ご購入時の状態では、「C:¥Documents and Settings¥ ユ
ーザー名 ¥My Documents」フォルダ、「C:¥Documents
and Settings¥ ユーザー名 ¥Favorites」,「C:
¥WINDOWS¥Media」内に保存したデータが
SmartGalleryに登録されます。設定を変更した場合は、
をクリックして自動登録フォルダを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 保存したユーザーと別のユーザーでWindowsのログオンを
していませんか？

SmartGalleryで表示されるデータは、データを保存したユー
ザーがログオンしているときに表示されます。別のユーザーで
ログオンすると、一部のデータは表示されないことがあります。

 参照

SmartGallery について →  「ばそ
ガイド」-「パソコンでできること」

番組表などの受信がうまくいかないときには

番組表や、受信チャンネル設定時の地図情報を見ようとして問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表の受信や、受信チャンネル設定時の情報は地上波データ放送で送られてきます。地上波データ放送に関する注意事項をbitcast browserのオンラインマニュアルにも記載しています。オンラインマニュアルの「ご注意」もあわせてご覧ください。

受信できない、または、データの取りこぼしが発生する

☹️ ➡️ 😊 SmartVision/TVが起動していると番組表が受信できないような設定になっていませんか？

次の設定を確認してください。

- ・ SmartVision/EPG の「受信設定」で「SmartVision/TV 起動中は受信を行わない」のチェックを外している（→ p.75）
- ・ SmartVision/TVの設定で「データ放送」で「地上波データ放送受信を許可する」にチェックが付いていない（→ p.65）

☹️ ➡️ 😊 番組表の受信設定をしたユーザーとは別のユーザーでログオンしていませんか？

複数のユーザーでパソコンをご利用の場合、番組表の受信設定をした時間の5分前までには、受信設定したユーザーでログオンしてください。

また、省電力状態から番組表の受信をするときには、受信設定したユーザーでログオンした状態のまま省電力状態にしてください。

☹️ ➡️ 😊 アンテナは正しく接続されていますか？

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続については、PART1の「アンテナ線を準備する」「アンテナ線を本体につなぐ」をご覧ください。

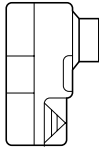
☹️ ➡️ 😊 アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？

アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。

- ☹️➡️😊 受信チャンネルは正しく設定されていますか？
設定を確認してください。設定方法についてはPART2の「チャンネルと番組表の設定をする」をご覧ください。

- ☹️➡️😊 アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか？
アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの形状



箱型など



ネジタイプ

- ☹️➡️😊 ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くありませんか？
PART1の「アンテナ線を準備する」をご覧ください。F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

- ☹️➡️😊 地上波データ放送を行っているチャンネルになっていますか？
放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上波データ放送を行っていない局もあります。この場合は、地上波データ放送を受信できません。
地上波データ放送を行っているかどうかについては、地元局に確認してください。

- ☹️➡️😊 テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか？
地上波データ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のような場所では受信できないことがあります。

- ・ゴースト(二重映り)が多い場所
- ・電波が弱い場所
- ・極端に電波が強い場所

- ☹️➡️😊 地上波テレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか？
「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があります。地上波データ放送が受信できなかったり、アプリケーションが正常に動作しなかったりすることがあります。

✓チェック!!

同時に受信できる放送局は1局のみです。データ放送の種別ごとに別々の放送局を受信することはできません。

📖参照

地上波データ放送について→「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「TV」

✓チェック!!

電波が弱い場所を使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所を使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

☹️ ➡️ 😊 bitcast browser (VALUESTAR Tシリーズのみ) 以外に、他のアプリケーションが動作していませんか？

bitcast browser 以外に他のアプリケーションが動作していると、パソコンの処理量が大きくなり、地上波データ放送を正常に受信できなくなることがあります。bitcast browserを使用するときは、できるだけ他のアプリケーションを使用しないようにしてください。

番組表が受信できない

☹️ ➡️ 😊 ADAMS 放送を受信できますか？

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS 放送が受信できることを確認してください。

番組表が2日分しか表示されない

☹️ ➡️ 😊 ご利用の地域はどこですか？

ご利用の地域によって、放送されている番組情報が異なります。現在、北海道、東京、名古屋、大阪以外の各地域では放送されている番組情報が2日分のため、番組表は2日分しか表示されません。

テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない

☹️ ➡️ 😊 動画キャプチャを行っていませんか？

動画キャプチャ実行中は、ビットキャスト放送を受信できません。ビットキャスト放送を受信するときは、動画キャプチャの使用を避けるようにしてください。

動画キャプチャを行ってなくても、ビットキャスト放送が受信できない場合は、「受信できない、または、データの取りこぼし」(p.131)と同様の原因が考えられます。詳しくはそちらをご覧ください。

受信したビットキャスト放送(Webページ)が自動的に表示されない (VALUESTAR Tシリーズのみ)

☹️ ➡️ 😊 受信モードは「AUTO」になっていますか？

ビットキャストバーのオートモード切り替えボタンをクリックし、オートモードにしてください。マニュアルモードでは自動的に表示されません。詳しくは、bitcast browserのオンラインマニュアルをご覧ください。

✓ チェック!!

ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS 放送および文字放送等のデータ放送が受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

✓ チェック!!

パソコンの起動時にウイルススキャンを常駐させてシステムスキャンを行うように設定していると、bitcast browserが正しく起動しない場合があります。この場合は、システムスキャンを行わないように設定してください。また、他のアプリケーションの動作中には、bitcast browserを起動しないようにしてください。

📖 参照

このPARTの「ADAMS」の内容が更新されない」(p.136)

「bitcast browser」に表示されているリンクから、インターネット上のWebページにアクセスできない(VALUESTAR Tシリーズのみ)

- ☹️➡️😊 ダイアルアップ接続の設定は正しく行われていますか？
インターネットエクスプローラを起動し、正しくインターネットのWebページへアクセスできることを確認してください。
できない場合は、👤「ばそガイド」-「インターネットのトラブル解決」をご覧ください。

「ADAMS」の内容が更新されない

- ☹️➡️😊 プリインストールコンテンツが表示されていませんか？
インターネットエクスプローラのアドレスに「C:¥Documents and settings¥All Users¥Application Data¥NEC¥ADAMS-P¥preinstl¥INDEX.HTM」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間をおいてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。
- ☹️➡️😊 ADAMSナビの更新情報が新しくなっていますか？
ADAMS放送を受信すると、ADAMSナビの更新状況が表示されます。すべてのコンテンツの更新状況が100%になった時点でADAMSボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。
- ☹️➡️😊 ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていますか？
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせてください。
ADAMSナビを起動し、ADAMSインジケータがアニメーションで表示されている場合、正しくADAMS放送を受信しています。



参照

更新情報→ADAMSナビのオンラインマニュアルの「更新情報一覧」



参照

ADAMS放送を受信できる放送局→p.16
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせるには→PART4の「番組表を自動受信できるようにする」(p.74)
チャンネルの設定→PART2の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.14)

付 録

地上波データ放送についての簡単なご紹介とリモコンの使い方をご覧ください。また、もう1台のパソコンを使つての録画番組の再生をお楽しみください。

地上波データ放送

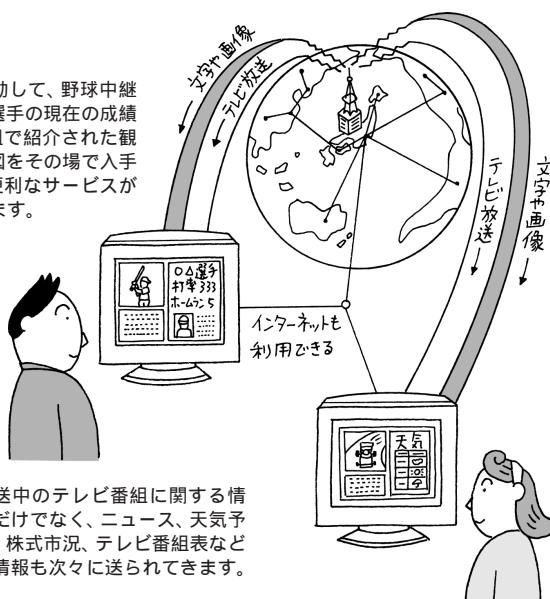
このパソコンで利用できる地上波データ放送には、「ビットキャスト放送」「ADAMS 放送」「文字放送」があります。

●地上波データ放送とは

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせられる電波のすきまのようなものが残っています。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上波データ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれ専用の受信ソフトを使って表示できます。

また、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上波データ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

放送中の番組と連動して、野球中継を観戦しながら各選手の現在の成績を見たり、旅行番組で紹介された観光スポットの案内図をその場で入手したり、といった便利なサービスが現実のものとなります。



放送中のテレビ番組に関する情報だけでなく、ニュース、天気予報、株式市況、テレビ番組表などの情報も次々に送られてきます。

✓チェック!!

- ・「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があります。受信できないことや、ソフトが正常に動作しなくなることがあります。ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS放送、文字放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ・同時に受信できる放送局は1局のみです。
- ・ビットキャスト放送を行っている放送局が受信できない地域にお住まいの場合は、ビットキャスト放送を受信することはできません。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。

地上波データ放送には、ビットキャスト放送、文字放送、ADAMS 放送があります。

- ・ビットキャスト放送(VALUESTAR Tシリーズのみ)
bitcast browser というアプリケーションで見ます。
- ・文字放送(VALUESTAR Tシリーズのみ)
もじぞうというアプリケーションで見ます。
- ・ADAMS 放送
ADAMS ナビというアプリケーションで見ます。



地上波データ放送の楽しみ方について詳しくは、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

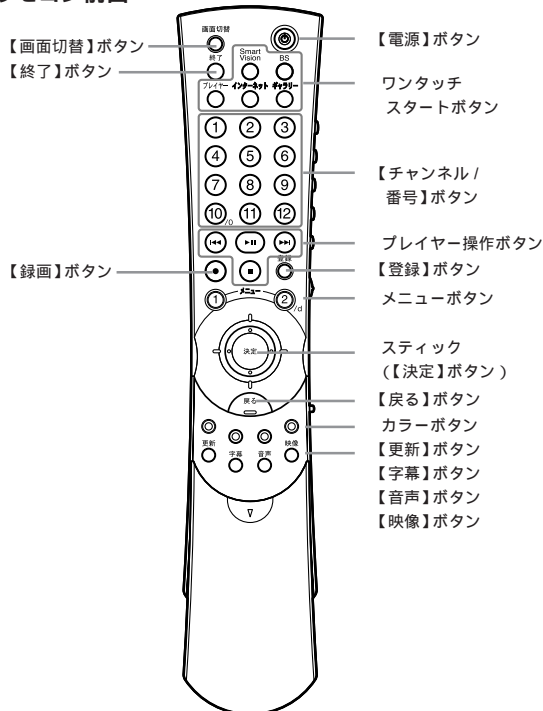
✓チェック!!

- ・ADAMS 放送をご覧になるには、ADAMS 放送が放送されているチャンネルに合わせる必要があります。ADAMS 放送を受信できる放送局については、p.16をご覧ください。
- ・ADAMS 放送は、受信を始めてからすべてのデータがそろうまでに約 1 時間かかります。コンテンツの内容をご覧になるときは、起動してからしばらくお待ちください。

リモコンの各部の名称

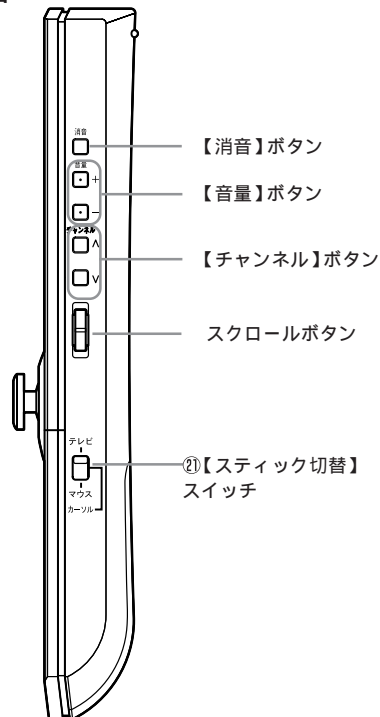
このリモコンでは、テレビ機能以外にも、複数のアプリケーションの操作ができます。
ボタンによっては、起動しているアプリケーションや動作モードによって機能が変わります。
ここでは主に SmartVision/TV 操作時の機能について説明します。
なお、bitcast brower では、リモコンはご利用になれません。

リモコン前面



スライドカバーを下に引いたところ

リモコン右側面



【電源】ボタン

パソコン本体の電源を入れるスイッチ。
省電力状態から復帰するときにも使います（ワイヤレスキーボードがセットのモデルのみ）。

☑️チェック!!

電源を切るときは、【電源】ボタンは使わずに、Windowsの「スタート」-「終了オプション」-「電源を切る」をクリックして Windows を終了させてください。
電源スイッチを入れたり切ったりする操作はパソコンに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

☑️チェック!!

PS/2キーボードセットモデルでリモコン受信ユニットを利用する場合は、このボタンによる本体の操作はできません。

ワンタッチスタートボタン

ボタンを押すだけでアプリケーションを起動できるボタンを「ワンタッチスタートボタン」といいます。各ボタンの役割は次のとおりです。

ワンタッチスタートボタンの設定は、リモコンユーティリティで行います。詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「リモコンユーティリティ」をご覧ください。

【SmartVision】ボタン

このボタンを押すと、「SmartVision/TV」が起動します。

【BS】ボタン

購入時には何も登録されていません。好きなアプリケーションを登録できます。

【プレイヤー】ボタン

このボタンを押すと、「Jet-Audio Player」が起動します。音楽CDやDVD-VideoディスクなどがCD/DVDドライブにセットされている場合は、自動的に再生がはじまります。Jet-Audio Playerの操作方法は、「アプリケーション別操作機能」(p.147)をご覧ください。

【インターネット】ボタン

このボタンを押すと、インターネットエクスプローラが起動します。インターネットエクスプローラの操作方法は「アプリケーション別操作機能」(p.147)をご覧ください。

【ギャラリー】ボタン

このボタンを押すと、「SmartGallery」が起動します。SmartGalleryの操作方法は「アプリケーション別操作機能」(p.147)をご覧ください。

【チャンネル / 番号】ボタン

テレビのチャンネルやDVDのチャプター番号を切り替えるときに使うボタン。リモコン右側面にある【チャンネル】ボタンでも同じ操作ができます。

プレイヤー操作ボタン

テレビ番組や音楽CD、DVD-Videoディスクなどの再生をコントロールするためのボタン。ここでは、SmartVision/TV 操作時の機能のみ説明します。他のアプリケーション操作時の機能は、「アプリケーション別操作機能」(p.147)をご覧ください。

⏮ ボタン

SmartVision/TV でテレビ番組を巻き戻し再生できます。

⏮ ボタン

SmartVision/TV で録画したテレビ番組を再生 / 一時停止するときに使うボタン。ライブモードで視聴中に押すと、タイムシフトモードに切り替わります。

⏮ ボタン

SmartVision/TV でテレビ番組を早送り再生できません。

⏮ ボタン

SmartVision/TV での録画を停止するときに使うボタン。タイムシフトモードで視聴中に押すと、ライブモードに切り替わります。

【登録】ボタン

ブックマーク登録を行うときや、ホームページを「お気に入り」に登録するときに使うボタン。

メニューボタン

ワンタッチスタートボタンで起動させた各アプリケーションごとに使い方が異なります。

ここでは、SmartVision/TV 操作時の機能のみ説明します。

他のアプリケーション操作時の機能は、この後の「アプリケーション別操作機能」をご覧ください。

【メニュー 1】ボタン

EPGモードに切り替え、テレビ番組表を表示します。もう一度押すと、テレビモードに戻ります。

【メニュー 2】ボタン

バインダーモードに切り替え、録画した番組一覧を表示します。

もう一度押すと、テレビモードに戻ります。

スティック(【決定】ボタン)

カーソルを動かしたり、メニュー決定するときに使うボタン。リモコン右側面にある【スティック切替】スイッチを「カーソル」に合わせると、スティックを傾けてカーソルを動かしたり(キーボードのカーソル移動キーに対応)スティックを真下に押してメニューを決定したりできます(キーボードの【Enter】キーに対応)。また【スティック切替】スイッチを「マウス」に合わせると、マウスの左ボタンと同じ働きをします。

【戻る】ボタン

リモコン右側面にある【スティック切替】スイッチをカーソルに合わせると、インターネットエクスプローラの【戻る】ボタンと同じ働きをします。また【スティック切替】スイッチをマウスに合わせると、マウスの右ボタンと同じ働きをします。

カラーボタン(赤ボタン、青ボタン、黄ボタン、緑ボタン)

BSデジタル放送の4択のクイズ番組などで使うボタン。このパソコンでは使いません。

【更新】ボタン

SmartGalleryのデータベースを更新するときに使うボタン。またインターネットエクスプローラ起動時に押すと、表示しているホームページを更新します。

【字幕】ボタン

字幕表示の表示/非表示を切り替えるときに使うボタン。

【音声】ボタン

音声多重放送の主音声/副音声を切り替えるときに使うボタン。

【映像】ボタン

全画面表示時、ズーム/ワイド/ノーマル表示に切り替えるボタン。押すたびにズーム/ワイド/ノーマルの順番に切り替わります。

【画面切替】ボタン

【カーソル】モード、【マウス】モードの場合：

テレビやDVDなどの画面を拡大表示(フルスクリーン表示)するためのボタン。押すたびに全画面表示と元の大きさでの表示とが切り替わります。

【テレビ】モードの場合：

テレビとビデオの切り替えをするためのボタン。

【終了】ボタン

操作中のアプリケーションを終了するためのボタン。アプリケーションが起動していないときに押すと、「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

【録画】ボタン

テレビ/ビデオの映像を録画するためのボタン。

【消音】ボタン

音声を一時的に消すときに使うボタン。もう一度押すと元に戻ります。

【音量】ボタン

音量を調節するときに使うボタン。【+】を押すと大きく、【-】を押すと小さくなります。

【チャンネル】ボタン

テレビのチャンネルやDVDのチャプター番号を切り替えるときに使うボタン。

スクロールボタン

アプリケーションの上下スクロールバーがある画面をクリックしてアクティブにした状態で、前方に押すと画面が上にスクロールし、手前に引くと画面が下にスクロールします。

② 【スティック切替】スイッチ

・【テレビ】モード

リモコンを使って、TVチューナ付きワイド液晶ディスプレイに内蔵のテレビ機能进行操作します(添付モデルのみ)。【テレビ】モードでの各ボタンの機能は、液晶ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

・【カーソル】モード

スティックの操作がキーボードの【↑】【↓】【←】【→】と同じカーソル操作に切り替わります。カーソルモード時、【決定】ボタンを押すと、キーボードの【Enter】を押すのと同じ操作になります。

・【マウス】モード

スティックの操作がマウスポインタの操作に切り替わります。マウスモード時、【決定】ボタンを押すと、マウスの左クリックと同じ操作になります。右クリックと同じ操作をするには、【戻る】ボタンを押します。

● ワンタッチスタートボタンご利用のご注意

- ワンタッチスタートボタンを使ってパソコンの電源を切った状態からアプリケーションを起動させる場合、ユーザーアカウントを複数設定していると、ログオンユーザー選択画面でログオンするユーザを選択する必要があります。
- ワンタッチスタートボタンを使ってパソコンの電源を切った状態からアプリケーションを起動させる場合、ログオンするユーザアカウントにパスワードを設定していると、ログオン画面でログオンユーザのパスワードを入力する必要があります。
- ワンタッチスタートボタンを使ってパソコンの電源を切った状態からアプリケーションを起動させる場合、BIOSのセキュリティーメニューで起動時のパスワードを設定していると起動の際、パスワードを求められますので、BIOSのセキュリティーメニューで設定したパスワードを入力してください。
- ワンタッチスタートボタンを使ってスタンバイ状態や休止状態からアプリケーションを起動させる場合、あらかじめ次のように設定しておいてください。
「スタート」メニューから「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックし、「詳細設定」タブをクリックして「オプション」欄の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックを外す
- ワンタッチスタートボタンを使ってスクリーンセーバ状態からアプリケーションを起動させる場合、あらかじめ次のように設定しておいてください。
「スタート」メニューから「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「画面」をクリックし、「スクリーンセーバー」タブをクリックして「スクリーンセーバー」欄の「再開時によろこそ画面に戻る」のチェックを外す

●アプリケーション別操作機能

アプリケーション	SmartVision/TV	Jet-Audio Player	Internet Explorer	SmartGallery
ボタン	【SmartVision】	【プレイヤー】	【インターネット】	【ギャラリー】
【メニュー1】	EPG/TVモード切替	DVDタイトルメニュー	「お気に入り」一覧表示	—
【メニュー2】	バインダー/TV切替	DVDルートメニュー	スタートページに戻る	—
	巻戻し	前のチャプター、トラックに戻る/巻き戻し	—	一時停止中、1コマ戻る
	番組の一時停止/再生 タイムシフトモードに切替（ライブモード時）	一時停止/再生	—	一時停止/再生
	早送り	先のチャプター、トラックに進む/早送り	—	一時停止中、1コマ進む
	録画の停止 ライブモードに切替（タイムシフトモード時）	再生停止	読み込み中のページの読み込みを中止	停止
【登録】	ブックマーク登録/削除 静止画のキャプチャ（ライブモード時）	—	「お気に入り」登録	—
【更新】	—	—	表示ページの更新	データベースの更新

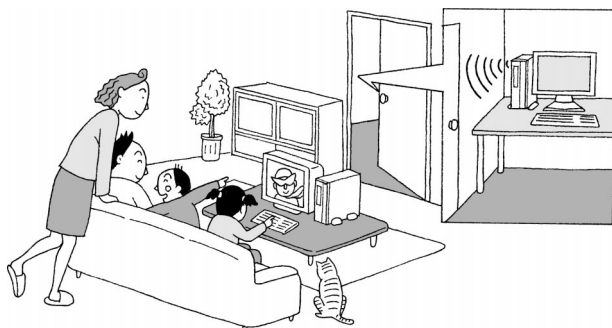
録画データを LAN 接続した他のパソコンから見る (VALUESTAR T シリーズのみ)

SmartVision/SERVER、SmartVision/PLAYER というアプリケーションを使って、TV モデルで録画した番組を LAN 経由で、他のパソコンから視聴してみましょう。

ここでは、SmartVision/SERVER と SmartVision/PLAYER の設定のしかたを中心に説明します。

SmartVision/SERVER は、SmartVision/TV で録画した番組を他のパソコンで視聴するためのサーバー側のアプリケーションです。TV モデルには、ご購入時にインストールされています。

SmartVision/PLAYER は、クライアント側で録画番組を視聴するためのアプリケーションで、これからインストールして使用します。



● SmartVision/PLAYER を利用できるパソコン (クライアント側のパソコン)

SmartVision/PLAYER は、PC98-NX シリーズのパソコンで動作できます。

・CPU

- Pentium® 450MHz 以上
- Intel® Celeron™ 566MHz 以上
- AMD Athlon™ プロセッサ 600MHz 以上
- AMD Duron™ プロセッサ 600MHz 以上
- モバイル インテル® Pentium® プロセッサ 500MHz 以上
- モバイル インテル® Celeron™ プロセッサ 600MHz 以上

・対象 OS

- Windows Me
- Windows XP Home Edition

・LAN 環境

- LAN (10BASE-T/100BASE-TX)
- ワイヤレス LAN で直接接続 (IEEE802.11b でアドホック接続)

なお、動作の条件の詳細については、NEC のパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(<http://121ware.com>) をご覧ください。

✓ チェック!!

- ・ ワイヤレス LAN を使ってこの機能を利用する場合は、電波による通信機能を使用します。そのため、埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、ペースメーカー装着部と本製品とを 22cm 以上離すようにしてください。また、使用するクライアント側のパソコンのワイヤレス通信機能に関する注意事項またはワイヤレス機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・ ここで紹介する機能のご使用にあたり、LAN およびワイヤレス LAN については『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。

✓ チェック!!

- ・ SmartVision/PLAYER は、サーバー側に録画された番組をクライアント側で再生して視聴するアプリケーションです。このアプリケーションでテレビ番組を受信して視聴したり、録画したりすることはできません。
- ・ SmartVision/PLAYER は、お持ちのパソコン 2 台以内にインストールできますが、録画番組を再生できるのは、同時に 1 台までです。
- ・ ご利用の環境によっては、SmartVision/PLAYER の起動時に映像が暗くなるなどの現象が発生する場合があります。その場合、SmartVision/PLAYER の映像設定を変更してください。
- ・ SmartVision/PLAYER で視聴しているときは、スタンバイ状態にしないでください。

● 2 台のパソコンを LAN で接続する

SmartVision/SERVER、SmartVision/PLAYERの機能を利用するためには、2 台のパソコンを LAN またはワイヤレス LAN で接続する必要があります。

LAN およびワイヤレス LAN の接続の方法については『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。

● SmartVision/PLAYER をクライアント側のパソコンにインストールする

SmartVision/PLAYER をクライアント側のパソコンにインストールしてください。セットアップファイルは、次のところに格納されています。

C:\¥APSETUP¥SmartVisionPLAYER

必要に応じて、このフォルダを共有化するか、または、クライアント側のパソコンにコピーして、クライアント側でこのフォルダ内にある「setup」ファイルをダブルクリックして、画面に表示される質問に答えながら、SmartVision/PLAYER をクライアント側のパソコンにインストールしてください。

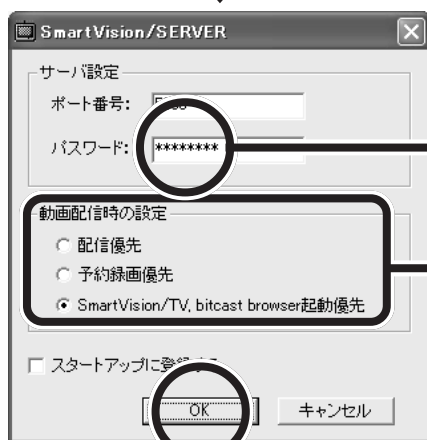
● SmartVision/SERVER の設定をする

クライアント側のパソコンに SmartVision/PLAYER をインストールしたら、まずサーバー側のパソコン（本機）の設定をしましょう。

1 スタートメニューから、「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision-SERVER」をクリックする

2 通知領域に表示された  をダブルクリックする

SmartVision/SEVER 画面が表示される



3 パスワードを入力する

4 動画配信時の設定を選択する

5 「OK」をクリックする

これで、サーバー側の設定が終わりました。

✓ チェック!!

他のパソコンで動画を再生するには、2 台のパソコンの LAN 接続の設定で同一サブネットになっている必要があります。

📖 参照

フォルダの共有について →  「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「LAN の設定」

📖 参照

詳しい設定方法、使い方については、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision-SERVER オンラインヘルプ」をご覧ください。

● SmartVision/PLAYER の設定をする

次にクライアント側のパソコンの設定をします。

1 スタートメニューから、「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision-PLAYER」をクリックする(Windows XP の場合)

2 「サーバ接続の設定が行われていません」と表示されるので、「OK」をクリックする

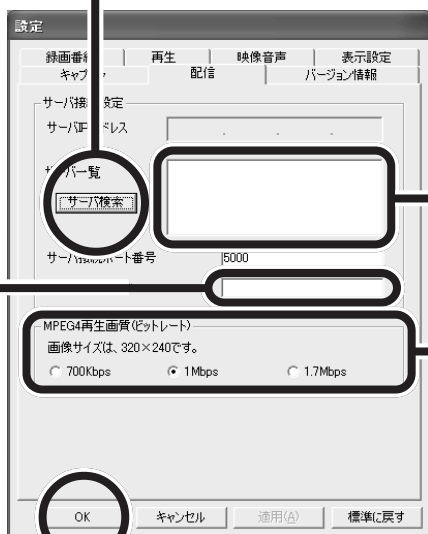
3 「配信」タブをクリックする

↓ SmartVision/PLAYERの
設定画面が表示される

4 サーバ側のパソコンで設定したパスワードと同じものを入力して、

5 「サーバ検索」をクリックする

サーバ一覧に検索結果が表示される



6 接続したいサーバのIPアドレスをダブルクリックする
サーバのIPアドレスが設定されます。

7 再生する画質を選択する

8 「OK」をクリックする

これで、クライアント側の設定が終わりました。

✓チェック!!

表示されない場合は、画面右下の  (設定) ボタンをクリックして、「配信」タブをクリックしてください。

✓チェック!!

SmartVision/PLAYERの設定にある「サーバ接続ポート番号」と、SmartVision/SERVERの設定にある「ポート番号」は、同じ値である必要があります(初期設定状態では、SmartVision/SERVER、SmartVision/PLAYERともに「5000」に設定されています)。

● クライアント側のパソコンで SmartVision/PLAYER で視聴する

それでは、サーバー側で録画された番組をクライアント側の SmartVision/PLAYER を使って視聴してみましょう。

1

サーバー側のパソコンで、SmartVision/SERVER を起動する



サーバー側の通知領域に
が表示される

2

クライアント側のパソコンで、SmartVision/PLAYER を起動する



録画番組一覧が表示される



3

視聴したい録画番組をダブルクリックする

録画番組の再生が始まります。

● SmartVision/PLAYER の操作について

SmartVision/PLAYER の操作は、基本的には、SmartVision/TV と同じです。ただし、サーバー側の録画番組のデータを視聴する場合は、利用できる機能に制限があります。サーバー側の録画番組を視聴する場合に利用できる機能は、次のとおりです。

再生 / 音量 / ミュート(音を消す) / 早送り / 巻き戻し / 停止 / 一時停止 / 音声付き特殊再生 / うしろのブックマークに戻る / 次のブックマークに進む / ダイレクトジャンプ / シーンインデックスからのジャンプ

✓チェック!!

このパソコンを複数のユーザーでご利用の場合は、視聴したい録画番組のデータを持っているユーザーでログオンして、SmartVision/SERVER を起動してください。

クライアント側で再生が始まると、サーバー側の通知領域のアイコンが  に変わります。

📖 参照

SmartVision/PLAYER の機能について → SmartVision/PLAYER のオンラインヘルプ

✓チェック!!

SmartVision/SERVER の設定で、「動画配信時の設定」を「配信優先」にしている場合、クライアント側で録画再生中にサーバー側の SmartVision/TV を起動しないでください。なお、サーバー側の通知領域に  が表示されていたら、クライアント側で録画再生中です。再生が終わると、 に変わります。クライアント側の再生が終了してから SmartVision/TV を起動してください。また、SmartVision/EPG などの録画予約の時間にもご注意ください。

索 引

英数字

ADAMS放送	16,74,143
ADAMS放送を受信できる放送局	16,74
bitcast browser	143
CD-R	61,109
DVDit!	102,110
DVD-MovieAlbum	63
DVD MovieWriter	61,109
DVD-R	61,109
DVD-RAM	63
DVD対応	45,82
DVDタイトル	102,109,112
EPG	14,73,96
EPGモード	27,96
F型コネクタプラグ	7
iモード	97
Jet-Audio Player	113
Slimモード	35
SmartGallery	66,102,104,135
SmartVision/EPG	14,73
SmartVision/PLAYER	148
SmartVision/SERVER	148
SmartVision/TV	25,116
SmartVision/TVの設定	65
SmartVision TV録画予約サービス	97
VideoStudio	102,104
Windowsのパスワード	70

あ行

アンテナ線	7
アナログビデオカメラ	116
一時停止	28,37,48
映像の編集	101
エクスポート	60,108
追っかけ再生機能	i
音声切り替え	28,38
音声付き変速再生	58
音量の調節	28,30,31,123

か行

カウンター表示部	28
画質	44,133
カラー調整	65

キーボード	29
キャプチャ	45
検索	85
高画質	44,45,82
コントロールバー	27,28

さ行

再生	48,51,113
サムネイル	54
視聴予約	82,84
字幕放送	39
省電力状態	83,97
ステータスバー	27
スピーカ	31
静止画	57
接続	2
全画面表示	34

た行

タイムアジャスト機能	78
タイムシフトモード	巻頭,36
短縮再生	58
地上波データ放送	142
チャンネルバー	27
チャンネル設定	14
データ放送予約	84
テレビ番組表	14,73
テレビ番組を見る	25
テレビモード	27
特殊再生	28,58,65
時計を合わせる	78

な行

入力切り替え	28
--------------	----

は行

バインダーモード	27,53
ハードディスク	44,82
番組お知らせ機能	75
番組の詳細情報	73
番組表	73,81
ビデオデッキ	116
標準画質	44,45,82

ブックマーク	49,54
プログレスバー	28
プロジェクトテンプレート	106
ボリュームコントロール	124,132

ま行

巻き戻し機能	37
巻き戻し録画	47
ミュート（音を消す）	28,124
モード切替ベゼル	27
文字放送	143

や行

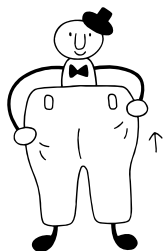
予約	80,91
予約一覧	89,91
予約結果	94
予約の確認	89
予約の変更	89

ら行

ライブモード	巻頭,36
LAN	148
リモコン	3,30,144
リモコン用受信ユニット	4
録画	44,46
録画時の画質	44,45
録画の中断	50
録画予約	69,80,96,97

わ行

ワイヤレスLAN	148
ワンタッチスタートボタン	144



やりたいことはスマートにはじめよう！

録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮った映像、デジタルカメラで撮った写真、それに音楽やホームページといったいろいろなデータを利用してみましょう。「SmartGallery」を使えば、マルチメディアファイルをまとめて管理できます！

豊富な機能でデータ管理！

カテゴリ

種類別にデータを表示したいときは  カテゴリ をクリック！
例えば、「TV」を選べば、録画したテレビ番組が一覧表示されます。

検索

たくさんのデータの中から、目的のデータを絞り込みたいときは  検索 をクリック！
例えば、録画したテレビ番組を「ジャンル」やキーワードで絞り込みます。



チェックも楽々！動画を簡易再生

サムネイル(画像一覧表示)のまま、動画の簡易再生や音楽データの再生ができます。
これで、ファイルのチェックはOK！



ここで動画を簡易再生

簡単操作でソフトを起動！

サムネイル(画像一覧表示)から、直接目的のソフトを起動して、ファイルを開けます。

これで、やりたいことがすぐに始められる！



録画番組を再生



動画を編集



音楽データなどを再生

参照

「SmartGallery」について詳しくは、『 ぱそガイド』「パソコンでできること」「SmartGallery」この本のPART5の「DVDタイトルを再生する」をご覧ください。

TVモデルガイド

VALUESTAR



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR

初版 2002年5月

NEC

P

853-810576-010-A

Printed in Japan